

地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会 口頭発表プログラム

第 1 日 6 月 4 日 (月) 午後

会場	IC	C101	C102	C108	C310	C311
13 : 30	<p>A0 : (放射性廃棄物地層処分) 座長: 渡辺邦夫・吉田英一</p>	<p>So : (地震活動) 座長: 青木元</p>	<p>S0 : (グローバル観測) 座長: 浜野洋三</p>	<p>A1 : (湖沼と水循環) 座長: 森和紀</p>	<p>Sm : (地震に伴う諸現象) 座長: 佃為成</p>	<p>Jm : (活断層と古地震) 座長: 都司嘉宣</p>
	<p>13:30-13:40 はじめに</p> <p>13:40-13:55 A0-001 サイト選定における領域絞り込みについての一考察 齋藤 茂幸</p> <p>13:55-14:10 A0-002 地質環境長期予測における時間枠 楠瀬 勤一郎</p> <p>14:10-14:25 A0-003 中期中新世花崗岩体: 変動帯とされる日本列島における安定岩体 長谷川 修一, 澤田 臣啓</p> <p>14:25-14:40 A0-004 高レベル放射性廃棄物地層処分の安全性を保证する鍵(地震の影響に関連して) 石橋 克彦, 藤村 陽</p> <p>14:40-14:55 A0-005 Geochemical approaches to evaluate groundwater flow system stability: implications of research at Sellafield, UK and Aspö Sweden Metcalf, Richard</p>	<p>13:30-13:45 So-001 地震の空間分布と規模分布のフラクタル性について 野口 伸一</p> <p>13:45-14:00 So-002 地震活動のベイズ型時空間過程モデルとその「残差」解析 尾形 良彦</p> <p>14:00-14:15 So-003 M5以上の地震で見た1926年以降の日本とその周辺の地震活動 吉田 明夫, 原田 智史, 高山 博之 ほか</p> <p>14:15-14:30 So-004 日本列島内陸部の地震活動の長期間にわたる変化 青木 元, 吉田 明夫</p> <p>14:30-14:45 So-005 更に大きな地震の発生は予測できるか?(その2) 高山 博之, 吉田 明夫, 吉川 一光</p> <p>14:45-15:00 So-006 東海地域推定固着域における地震活動状況の変化(その3) 松村 正三</p>	<p>13:30-13:45 挨拶と趣旨説明</p> <p>13:45-14:00 S0-001 海半球広帯域地震観測網の現状と将来: ベトナムにおける広帯域地震観測の例 - 対蹠点地震観測 森田 裕一</p> <p>14:00-14:15 S0-002 Magnetotelluric法を用いたフィリピン海プレート下の地下構造の推定 多田 訓子, 島 伸和, 馬場 聖至 ほか</p> <p>14:15-14:30 S0-003 スタグナントスラブと始新世プレート大再編 深尾 良夫, 大林 政行</p> <p>14:30-14:45 S0-004 ホットスポットとマンテルブルームの深部構造と起源 趙 大鵬</p> <p>14:45-15:00 S0-005 D 層内の低速度層の成因について 栗田 敬, 並木 敦子</p>	<p>13:30-13:35 趣旨説明</p> <p>13:35-14:15 A1-001 湖沼の水循環システムについて 堀内 清司</p> <p>14:15-14:35 A1-002 汽水湖における水温の連続データからみた水温成層の形成および循環機構 渡辺 真木</p> <p>14:35-14:55 A1-003 雄池と雄池の水質と水循環 飯泉 佳子, 小倉 紀雄</p>	<p>13:30-13:45 Sm-001 茂住地電位臨時観測 山田 守, 中山 武</p> <p>13:45-14:00 Sm-002 地震波の通過に伴う地電位の変化 山田 功夫, 齊藤 実, 山田 守 ほか</p> <p>14:00-14:15 Sm-003 トルコ・イスマット地震に関連する地磁気・地電位の変化について 本蔵 義守, 松島 政貴, 大志万 直人 ほか</p> <p>14:15-14:30 Sm-004 Variations of the geomagnetic transfer functions associated with Kagoshima earthquakes 才田 亮昭, 湯元 清文, 角村 悟 ほか</p> <p>14:30-14:45 Sm-005 石英英結晶粒間超薄膜水の電気的物性の数値シミュレーション 佐久間 博, 河村 雄行, 大槻 憲四郎</p> <p>14:45-15:00 Sm-006 野島断層シェードタキライトのESR解析: 断層発熱の新しい指標 福地 龍郎</p>	<p>13:30-13:48 Jm-001 北海道 石狩平野, 当別断層の最近の活動 大津 直, 田近 淳, 廣瀬 亘</p> <p>13:48-14:06 Jm-002 反射法地震探査と地質調査から見た千屋断層系(太田断層)の浅部地質構造 佐藤 久美子, 筒井 智樹, 松本 聡 ほか</p> <p>14:06-14:24 Jm-003 歴史史料から見た1978年宮城県沖地震の再帰性 都司 嘉宣</p> <p>14:24-14:42 Jm-004 光波測距による草薙・麻機断層活動監視結果とフィリピン海プレートの運動 新妻 信明</p> <p>14:42-15:00 Jm-005 福井県越前海岸沿い活断層群の活動履歴 山本 博文, 木下 慶之</p>
15 : 15	<p>A0 : (放射性廃棄物地層処分) 座長: 楠瀬勤一郎</p>	<p>So : (地震活動) 座長: 平松良浩</p>	<p>S0 : (グローバル観測) 座長: 深尾良夫</p>	<p>A1 : (湖沼と水循環) 座長: 小林正雄</p>	<p>Sm : (地震に伴う諸現象) 座長: 山田功夫</p>	<p>Jm : (活断層と古地震) 座長: 杉山雄一</p>
	<p>15:15-15:30 A0-006 サイト特性調査におけるナチュラルアナログの活用について 吉田 英一</p> <p>15:30-15:45 A0-007 放射性廃棄物地層処分の性能評価に及ぼす不連続面の影響について 井尻 裕二, 澤田 淳, 坂本 和彦 ほか</p> <p>15:45-16:00 A0-008 高レベル放射性廃棄物地層処分に向けた安全裕度増大と信頼性向上に向けた水理上の取り組み 内田 雅大</p> <p>16:00-16:15 A0-009 地層処分性能評価のための岩盤情報改良システム 渡辺 邦夫</p> <p>16:15-16:30 A0-010 水圧破壊データによる国内の深部岩盤初期応力状態 長 秋雄</p> <p>16:30-16:45 総合討論</p>	<p>15:15-15:30 So-007 余震活動の時間空間変化 鳥取県西部地震と兵庫県南部地震 塚越 利光, 吉田 明夫</p> <p>15:30-15:45 So-008 兵庫県南部地震以後の淡路島北部におけるクラスターの地震活動 永井 悟, 平田 直</p> <p>15:45-16:00 So-009 平成12年(2000年)鳥取県西部地震と兵庫県北部の地震 橋本 徹夫, 青木 重樹, 上野 寛 ほか</p> <p>16:00-16:15 So-010 兵庫県北部地震と周辺の地震活動 西田 良平</p> <p>16:15-16:30 So-011 「兵庫県北部地震」は中新世のカルデラ内で発生した!? 平松 良浩, 本多 亮, 河野 芳輝</p> <p>16:30-16:45 So-012 サハリン南部・北海道北部地域における最近の地震活動 田村 慎, Sen, Rak Se, Kim, Choon Ung ほか</p>	<p>15:15-15:30 S0-006 電磁気トモグラフィによるコア・マンテル境界近傍の動的構造の探査 浜野 洋三</p> <p>15:30-15:45 S0-007 松代伸縮計記録によるコア・マンテル境界D層サイレント地震 布野 健太郎, 原 誠, 川崎 一朗 ほか</p> <p>15:45-16:00 S0-008 地球自由振動を用いた未知のイベント探索 大鳥井 咲恵, 須田 直樹, 名和 一成</p> <p>16:00-16:15 S0-009 GGPネットワークデータから得られた重力潮汐ファクターと潮汐理論値 佐藤 忠弘, 田村 良明, 松本 晃治 ほか</p> <p>16:15-16:30 S0-010 PKPdfの周波数依存性からみた内核の構造 飯高 隆, 深尾 良夫, 杉岡 裕子</p> <p>16:30-16:45 S0-011 GGP-Japanネットワークと衛星重力ミッション 佐藤 忠弘, 福田 洋一</p>	<p>15:15-15:35 A1-004 閉鎖湖沼における水収支と水質特性 四尾進湖を例として 龍田 優美, 小倉 紀雄</p> <p>15:35-15:55 A1-005 湧水・河川水の出発源としての湿潤地域漏出湖の特性 森 和紀</p> <p>15:55-16:15 A1-006 琵琶湖周辺地下水と湖水との交流 谷口 真人</p> <p>16:15-16:35 総合討論</p>	<p>15:15-15:30 Sm-007 茂住祐延断層帯周辺岩盤の地質学的特徴 野原 社, 田中 秀実, 渡辺 邦夫 ほか</p> <p>15:30-15:45 Sm-008 深部断層破砕帯に地震に伴う地表水の流入: 野島断層を例に 林 愛明, 田中 菜摘, 宇田 進一 ほか</p> <p>15:45-16:00 Sm-009 兵庫県南部地震に伴う地下深部からの熱水上昇 佃 為成</p> <p>16:00-16:15 Sm-010 熱帯降雨観測衛星 TRMM 雷光観測装置 LIS データを用いた日本周辺における地震日と雷日の統計分析 市橋 正生</p>	<p>15:15-15:33 Jm-006 地中レーダで芦屋市街にのびる甲陽断層をさぐる 宮田 隆夫</p> <p>15:33-15:51 Jm-007 野島断層破砕帯における断層岩分布 - 平林 NIED コア 1300, 1800m 破砕帯部の解析 - 小村 健太郎, 小林 健太, 池田 隆司 ほか</p> <p>15:51-16:09 Jm-008 阿蘇カルデラ内で見いだされた落差1mの新鮮な活断層と最近の地震活動 須藤 靖明, 池辺 伸一郎</p> <p>16:09-16:27 Jm-009 車籠埔断層中部, 草屯地区におけるトレンチ調査 太田 陽子, 草屯断層トレンチ調査グループ</p> <p>16:27-16:45 Jm-010 台湾西部と南海トラフ域との比較 - 類似点(鏡像性)と相違点(セグメント化の成熟度) 杉山 雄一</p>

注) 発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

地球惑星科学関連学会 2001年合同大会 口頭発表プログラム

第1日 6月4日(月)午後

会場	C401	C402	C403	C409	C416	C417
13:30	<p>A2:(情報地球惑星科学) 座長:豊田英司</p> <p>13:30-13:45 A2-001 テラコンピューティング時代の気象数値シミュレーション 室井 ちあし</p> <p>13:45-14:00 A2-002 地球シミュレータにおける正二十面体格子大気循環モデルのデータ構造 後藤 浩二, 富田 浩文, 津川 元彦 ほか</p> <p>14:00-14:15 A2-003 都市温暖環境解析における分散オブジェクト手法の適用 近藤 裕昭, 石井 隆</p> <p>14:15-14:30 A2-004 VSI/VLBI標準インターフェースにより実現する科学データのG-bitデータ伝送 中島 潤一, 近藤 哲朗, 関戸 衛ほか</p> <p>14:30-14:45 A2-005 美星スペースガードセンターにおけるデータ処理 寺園 淳也, 吉川 真, 磯部 瑛三</p> <p>14:45-15:00 A2-006 統計モデルを利用したデータセット全探索と知識発見支援システム:地球大規模電流系の自動同定 樋口 知之</p>	<p>A3:(岩石物性と孔内計測) 座長:広野哲朗</p> <p>13:30-13:35 はじめに</p> <p>13:35-14:00 A3-001 地質調査所野島断層コアと孔内計測のまとめ 伊藤 久男</p> <p>14:00-14:15 A3-002 防災科学技術研究所野島断層コアの物理検査データと岩石コア解析 松田 達生, 池田 隆司, 小村 健太郎</p> <p>14:15-14:30 A3-003 速度データから推定した野島断層のクラックパラメータ 木口 努, 伊藤 久男</p> <p>14:30-14:45 A3-004 台湾集断層掘削における孔内内検層 伊藤 久男, 氏家 恒太郎, 田中 秀実 ほか</p> <p>14:45-15:00 A3-005 雲仙火山体掘削における孔内内計測:測定例と課題 池田 隆司, 小村 健太郎, 山本 俊也 ほか</p>	<p>A4:(地学教育) 座長:川上紳一・岡本義雄 根本泰雄</p> <p>13:30-13:35 地学教育の現状セッション趣旨説明</p> <p>13:35-13:47 A4-001 2000年鳥取県西部地震やその他最近のイベントを例にしたK-net(強震ネット)データの教育活用 南島 正重</p> <p>13:47-13:59 A4-002 大学における地球科学教育について 杉 憲子</p> <p>13:59-14:11 A4-003 自然史教育のユニバーサルデザインを目指して 小出 良幸</p> <p>14:11-14:23 A4-004 触覚による岩石観察から導かれる地学教育の新しい観点 平田 大二, 小出 良幸</p> <p>14:23-14:35 A4-005 地球史データベース-研究者と市民をつなぐデジタルライブラリ- 堀井 雅恵, 川上 紳一, 竹村 真一 ほか</p> <p>14:35-14:58 総合討論 研究者・教育者の取り組み</p> <p>14:58-15:00 セッション閉会にあたって</p>	<p>A5:(海底拡大系) 座長:佐藤暢・後藤忠徳</p> <p>13:45-14:00 A5-001 Initial Report of the Japan-Russian Cooperative Cruise at the Knipovich Ridge in the Arctic Ocean 玉木 賢策, チェルカソフゲオルギー, K2K乗船研究者一同</p> <p>14:00-14:15 A5-002 Preliminary report of petrology and mineralogy of Mid-Ocean Ridge Basalts from the slow-spreading Knipovich Ridge 佐藤 暢, K2K乗船研究者一同</p> <p>14:15-14:30 A5-003 クニボピッチ海嶺の地形とセグメンテーション-超低速拡大系のマグマ活動 沖野 郷子, 玉木 賢策, 浅田 美穂 ほか</p> <p>14:30-14:45 A5-004 STRUCTURAL ANALYSIS OF THE KNIPOVICH RIDGE, 74-78N, NORTH ATLANTIC OCEAN. Curewitz, Daniel, 沖野 郷子, 浅田 美穂 ほか</p> <p>14:45-15:00 A5-005 クニボピッチ海嶺の地磁気3成分異常 野木 義史, 沖野 郷子, 浅田 美穂 ほか</p>	<p>Jn:(長期火成活動と火山発達史) 座長:佐野貴司・田村芳彦</p> <p>13:30-13:45 Jn-001 ハワイ火山の進化と同位体比の関係 兼岡 一郎</p> <p>13:45-14:00 Jn-002 ハレアカラ火山海底リフト:2001年調査に向けて 任 鍾元, 高橋 栄一</p> <p>14:00-14:15 Jn-003 ハワイ・オアフ島・コーラウ火山成長史 高橋 栄一, 篠崎 健, 任 鍾元ほか</p> <p>14:15-14:30 Jn-004 大陸下リソフェアマントルは鉛に富みホウ素に枯渇している:デカン洪水玄武岩を例とした研究 佐野 貴司, 福岡 孝昭, 長谷中 利昭</p> <p>14:30-14:45 Jn-005 西南日本横田山成火山群の地球化学 木村 純一, 國清 智之</p> <p>14:45-15:00 Jn-006 松浦玄武岩類の組成変化の"ELTS"による検討 横山 麗子, 柳 暁</p>	<p>Sn:(地震発生の物理) 座長:Morii, James</p> <p>13:30-13:45 Sn-001 南海トラフ巨大地震発生サイクルシミュレーション-ブロック-パネモデルによる断層セグメントのパラメータ化- 光井 能隆, 平原 和朗</p> <p>13:45-14:00 Sn-002 シミュレーションから予想される東海地域の中・長期の地殻変動 黒木 英州, 伊藤 秀美, 吉田 明夫</p> <p>14:00-14:15 Sn-003 改良されたすべり速度・状態依存摩擦法則を用いた地震サイクルシミュレーション 加藤 尚之, Tullis, Terry E.</p> <p>14:15-14:30 Sn-004 地震発生サイクルと断層間相互作用 橋本 千尋, 松浦 充宏</p> <p>14:30-14:45 Sn-005 自発的断層成長の動力学的シミュレーション-2断層間相互作用の効果 安藤 亮輔, 多田 卓, 山下 輝夫</p> <p>14:45-15:00 Sn-006 Thermal pressurizationから熔融へスイッチする断層滑りの数値シミュレーション 門澤 伸昭, 大槻 憲四郎</p>
	15:15	<p>A2:(情報地球惑星科学) 座長:寺園淳也</p> <p>15:15-15:30 A2-007 気象衛星画像に対する時空間知識発見支援システムの構築-自己組織化マップによるインデクシングと時間依存ルールの発見 瀧本 裕一, 本田 理恵, 小西 修</p> <p>15:30-15:45 A2-008 大規模惑星画像からの特徴地形のマイニングシステムに対する検討 クレーターの抽出・分類 本田 理恵, 飯島 祐一, 小西 修</p> <p>15:45-16:00 A2-009 ネットワークを用いた惑星探査データ検索・解析の可能性について-Desktop Planetary Exploitation (DPLEX)実現へ向けて 齋藤 潤, 寺園 淳也</p> <p>16:00-16:15 A2-010 XMLを活用した知見情報共有システムの構築 河野 仁之</p> <p>16:15-16:45 討論 「データの産が要求するもの」</p>	<p>A3:(岩石物性と孔内計測) 座長:家長将典</p> <p>15:15-15:30 A3-006 沈み込む海洋プレートからの脱水フラックスの定量的見積もり 広野 哲朗</p> <p>15:30-15:45 A3-007 X線CT装置を用いた微小構造と断層における密度・間隙率変化量の算出 氏家 恒太郎, 中野 司, 久光 敏夫</p> <p>15:45-16:00 A3-008 剪断作用を受けた堆積岩の帯磁率異方性 久光 敏夫, 徐 垣</p> <p>16:00-16:15 A3-009 高圧下における岩石の地震波速度測定:コヒスタン島弧下部地殻岩の例 河野 義生, 石川 正弘, 有馬 真</p> <p>16:15-16:30 A3-010 様々な歪速度における高温高圧下での玄武岩の破壊・変形特性 大田 恭史, 林 為人, 高橋 学</p> <p>16:30-16:45 A3-011 石英の点接触変形-以上に速いエッチング速度について 増田 俊明, 松尾 弥生, 原 由生子 ほか</p>	<p>A4:(地学教育) 座長:川上紳一・岡本義雄 根本泰雄</p> <p>13:30-13:35 地学教育の現状セッション趣旨説明</p> <p>13:35-13:47 A4-001 2000年鳥取県西部地震やその他最近のイベントを例にしたK-net(強震ネット)データの教育活用 南島 正重</p> <p>13:47-13:59 A4-002 大学における地球科学教育について 杉 憲子</p> <p>13:59-14:11 A4-003 自然史教育のユニバーサルデザインを目指して 小出 良幸</p> <p>14:11-14:23 A4-004 触覚による岩石観察から導かれる地学教育の新しい観点 平田 大二, 小出 良幸</p> <p>14:23-14:35 A4-005 地球史データベース-研究者と市民をつなぐデジタルライブラリ- 堀井 雅恵, 川上 紳一, 竹村 真一 ほか</p> <p>14:35-14:58 総合討論 研究者・教育者の取り組み</p> <p>14:58-15:00 セッション閉会にあたって</p>	<p>A5:(海底拡大系) 座長:佐藤暢・後藤忠徳</p> <p>15:15-15:30 A5-006 Reconstruction of a Collapsed Lava Lake at Southern East Pacific Rise and its Implication to the Mechanism of Lava Lake Formation 田中 明子, Rosat, Severine, 岸本 清行ほか</p> <p>15:30-15:45 A5-007 東太平洋海部下の電気伝導度異方性 後藤 忠徳, 藤 浩明, 本間 佐和子 ほか</p> <p>15:45-16:00 A5-008 海底地震計を用いた九州西方東シナ海における、上部マントル-地殻地震波速度構造 中東 和夫, 篠原 雅尚, 鈴木 貞臣 ほか</p> <p>16:00-16:15 A5-009 浅発地震のメカニズム解から推定される沖縄トラフ近傍(九州西方-台湾東方)の応力場 久保 篤規, 福山 英一</p> <p>16:15-16:30 A5-010 南部マリアナトラフの地形と現在の海底熱水活動 益田 晴恵, 溝澤 巨彦, 島 伸和ほか</p> <p>16:30-16:45 A5-011 中部および南部マリアナトラフのテクトニクス 島 伸和, 長谷川 裕一, 中瀬 香織 ほか</p>	<p>Jn:(長期火成活動と火山発達史) 座長:木村純一</p> <p>15:15-15:30 Jn-007 The petrology and geochemistry of calc-alkaline andesites on Shodo-Shima Island 巽 好幸, 中島 剛, 田村 芳彦</p> <p>15:30-15:45 Jn-008 有機物の痕跡から見た高マグネシア安山岩とそれに伴われる流紋岩の成因 沢田 順弘, 三瓶 良和, 高田裕二 ほか</p> <p>15:45-16:00 Jn-009 海洋島弧における安山岩地殻の再溶融:伊豆ボーン弧の例 田村 芳彦, 巽 好幸</p> <p>16:00-16:15 Jn-010 九頭竜火山列経ヶ岳火山に共存するソレライト系列とカルクアルカリ系列の岩石学 田中 康博, 田村 芳彦</p> <p>16:15-16:45 討論:マントルウェッジ</p>

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。 演題番号に 印が付いている演題は、基調講演です。

地球惑星科学関連学会 2001年合同大会 口頭発表プログラム

第2日 6月5日(火)午前

会場	IC	C101	C102	C108	C310	C311	C401	C402
	Sm:(地震に伴う諸現象) 座長:阿部邦昭	So:(地震活動) 座長:本谷義信	Sn:(地震発生の物理) 座長:川方裕則	A7:(キッチン地球科学) 座長:栗田敬	E0:(地殻活動予測) 座長:弘原海清・服部克巳	Sq:(テクトニクス) 座長:新妻信明	A2:(情報地球惑星科学) 座長:林祥介	Gm:(地域地質と構造発達史) 座長:山北聡
9:00	09:00-09:15 Sm-011 ACROSSによる鳥取県西部地震(Mw6.6)に伴う、淡路島での地震波S波異方性変動の検出 生田 領野, 山岡 耕春 09:15-09:30 Sm-012 3次元地震波速度構造の時間変化-長野県西部稠密地帯観測から- 井橋 俊光, 飯尾 能久, 小林 洋二ほか 09:30-09:45 Sm-013 GEONETのデータを用いた移動性地震変動の検出の試み 伊藤 武男, 橋本 学 09:45-10:00 Sm-014 1998年ババアニューギニア地震・津波に見られる巨大斜面崩壊痕と広域テクトニクス 松本 剛, Tappin, David, SOS-4乗船研究チーム 10:00-10:15 Sm-015 1998年ババアニューギニア・Sissano潟湖津波の発生原因の考察-斜面上の粘塑性堆積層の滑落メカニズム 都司 嘉宣 10:15-10:30 Sm-016 1998年ババア・ニューギニア津波に関する数値計算によるパラメータスタディ(SOS-4) 松山 昌史, 佐竹 健治, 松本 剛	09:00-09:15 So-013 千島海溝南部のプレート間巨大地震の時空間分布の再検討 原田 晋也, 石橋 克彦 09:15-09:30 So-014 北海道浦河周辺の地震活動(1885-2000年) 本谷 義信 09:30-09:45 So-015 十和田湖周辺域における浅部地震活動 渡邊 和俊, 大谷 佳子, 小菅 正裕ほか 09:45-10:00 So-016 エアガン人工地震探査を用いた1994年三陸はるか沖余震域の地殻構造推定 桑野 亜佐子, 日野 亮太, 西野 美ほか 10:00-10:15 So-017 西表島およびその周辺域における最近の地震活動 馬場 久紀, 岩下 篤, 飯塚 達ほか 10:15-10:30 So-018 ・Sissano潟湖津波の発生原因の考察-斜面上の粘塑性堆積層の滑落メカニクス 大内 徹, 張 泰雨	09:00-09:15 Sn-013 震源核形成・成長に伴うAEの波形変化をとらえる試み(1)-実験概要と圧電素子の校正 川方 裕則, 西澤 修, 長 秋雄ほか 09:15-09:30 Sn-014 摩擦すべりに伴うAEの震源サイズ 矢部 康男 09:30-09:45 Sn-015 断層近傍の応力から推定される破砕帯の弾性定数:深さ依存性 山本 清彦, 佐藤 凡子, 矢部 康男 09:45-10:00 Sn-016 ガス圧式高温高压変形実験装置による高温高压下での摩擦・変形実験 増田 幸治, 藤本 光一郎 10:00-10:15 Sn-017 地震発生環境条件下におけるせん断破砕機構成則の温度・圧力依存性 加藤 翼太郎, 大中 康賢, 望月 裕峰 10:15-10:30 Sn-018 マイクロクラックの3次元定量解析による花崗岩質岩石の脆性破壊 竹村 貴人, 小田 匡寛	09:00-09:10 A7-001 Invitation to Kitchen Earth Science 栗田 敬, 渡辺 了 09:10-09:30 A7-002 サラダレッシングが語る地球内部物質の混合と分化のプロセス 熊谷 一郎, 柳澤 孝寿 09:30-09:50 A7-003 ゲルによる部分熔融系の再現 高嶋 晋一郎, 栗田 敬 09:50-10:10 A7-004 マグマ発生領域のアナログ・モデルをつくる 渡辺 了 10:10-10:30 A7-005 寒天と地球内部のマグマ移動-粘弾性物質の破壊- 平田 隆幸	09:00-09:15 E0-001 鳥取県西部地震前での微小地震活動と大気イオン濃度変化の相関関係 岡本 和人, 原口 竜一, 弘原海清 09:15-09:30 E0-002 鳥取県西部地震の前兆異常現象としての大気イオン濃度変化 原口 竜一, 岡本 和人, 弘原海清 09:30-09:45 E0-003 異常大気イオン密度と地震マグニチュードとの関係W・Hダイアグラム-鳥取県西部地震(2000年10月6日,M7.3)での例- 弘原海清, 原口 竜一, 岡本 和人 09:45-10:00 E0-004 環境電磁波とナマズの生体電位観測の試み 山陰地方の連鎖地震を見据えて 浅原 中, 横井 佐代子, 山中 千博ほか 10:00-10:15 E0-005 デジタルFMチューナ・2周波観測法による鳥取県西部地震に呼応した電磁波の観測 吉田 彰顕, 西 正博 10:15-10:30 E0-006 デジタルFMチューナ・2周波観測法によるFM放送反射波の観測 西 正博, 吉田 彰顕	09:15-09:30 Sq-001 北海道西部における最近の地震変動-北海道西部地震のアフタースリップで説明できるか?- 福田 淳一, 和田 直人, 笠原 稔 09:30-09:45 Sq-002 東北日本の地震変動シミュレーション-1900年以降の上下変動について- 水藤 尚, 飯塚 幹夫, 平原 和朗 09:45-10:00 Sq-003 関東プレートとM8級地震発生場としての鹿島海底産および中央構造線 新妻 信明 10:00-10:15 Sq-004 南九州下に沈み込むプレート上面境界で変換したSp波 福満 修一郎, 後藤 和彦, 角田 寿喜 10:15-10:30 Sq-005 稍深発地震の地震記録に見られる変換波を用いた九州地方における変換面の推定 中村 めぐみ, 松本 聡, 植平 賢司ほか	09:00-09:15 A2-011 数値予報標準データセットシステム NuSDas 豊田 英司 09:15-09:30 A2-012 自己記述的多次元数値データ間の演算での次元対応の自動化の試行-ドラッグアンドドロップであるゆえデータ演算ができるか? 豊田 英司, 地球流体電脳倶楽部 Davis Project 09:30-09:45 A2-013 オブジェクト指向言語Rubyによる多次元データの解析-可視化環境の開発 川那辺 直樹, 堀之内 内武, 塩谷 雅人ほか 09:45-10:00 A2-014 科学技術分野における知見共有のためのプラットフォーム 芦野 俊宏, 齊藤 隆之 10:00-10:15 A2-015 XMLを利用した地球惑星科学データベースの考え方 寺岡 淳也, 齋藤 潤 10:15-10:30 討論 「データの嵐を越えて」	09:00-09:18 Gm-001 北部北上山地、葛巻-釜石帯ジュラ紀付加体の地質構造-山田西方地域- 永広 昌之, 川島 信一, 鈴木 紀敏ほか 09:18-09:36 Gm-002 美濃帯のペルム系チャート中の炭酸塩岩層の岩相・層序・年代 小嶋 晋, 平井 恵祐, 佐野 弘好 09:36-09:54 Gm-003 北小松地域の地質-特にジュラ紀付加コンプレックスについて- 木村 克己 09:54-10:12 Gm-004 四国西部秩父帯北縁部の原成堆積岩シゲンヌスの岩相 原 友和雄, 齊藤 圭一郎 10:12-10:30 Gm-005 四国西部に分布する四方十帯の地質と年代 小柳 薫, 三浦 健一郎, 田中 利治ほか
10:45	10:45-11:00 Sm-017 リアルタイム津波観測データを用いた波源の推定 樋渡 康子, 今村 文彦 11:00-11:15 Sm-018 RTK-GPSを用いた津波計測システムの開発-大船渡市沖実験について- 加藤 照之, 寺田 幸博, 木下 正生ほか 11:15-11:30 Sm-019 三重県尾鷲市須賀利浦大池の湖底津波堆積物 都司 嘉宣, 岡村 真, 松岡 裕美 11:30-11:45 Sm-020 鮎川検潮所における津波の卓越周期 阿部 邦昭 11:45-12:00 Sm-021 南米沿岸における津波エネルギー分布 羽島 徳太郎	10:45-11:03 Jm-011 中国天山山脈南縁部Yanqi盆地における活断層の第四紀後期の横ずれ変位速度 林 愛明, 付 碧宏, 狩野 謙一ほか 11:03-11:21 Jm-012 河谷屈曲量と上流の長さとの線形比例関係を用いた山地内横ずれ活断層の活動性の評価 丸山 正, 林 愛明 11:21-11:39 Jm-013 古地磁気方位から見た横ずれ活断層近傍における回転運動-高山盆地南東縁江名子断層を例として- 木村 治夫, 伊藤 康人, 堤 浩之 11:39-11:57 Jm-014 陸域のM5以上の地震と活断層の分布関係 松田 時彦	10:45-11:00 Sn-019 大地震に先行する小地震のEnergy Indexからみえる地震発生場の応力-南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験(27) 川方 裕則, 小笠原 宏, 南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同グループ 11:00-11:15 Sn-020 1998年9月3日岩手県内陸北部地震(M6.1)前後の地震波速度変化 内田 直希, 西村 太志, 吉本 和生ほか 11:15-11:30 Sn-021 高サンプリング地震観測による、地震波速度変化の検出(1) 検出精度について 堀内 茂木, 関口 涉次, 高井 香里ほか 11:30-11:45 Sn-022 砂山崩しの実験 SOCと固有地震 吉岡 直人 11:45-12:00 Sn-023 前兆現象に関する一考察 藤森 邦夫, 向井 厚志 12:00-12:15 Sn-024 1999年アテネ地震は、これまでの地震と違うのか? 國分 桂子, 須藤 研	10:45-11:05 A7-006 ゼラチン中の液体で満たされたクラックからの噴出実験-人工噴火のアナログ実験- 高田 亮 11:05-11:25 A7-007 ピーカーの中の噴火 マグマの発泡とマグマ溜りの対流の再現- 並木 敦子, 扇山 唯達, 栗田 敬 11:25-11:40 A7-008 カルメ焼きの発泡構造と軽石との比較 栗田 敬, 郭 寶敬 11:40-12:00 A7-009 ピーカーの中の玄武洞-片栗粉を用いた柱状節理のアナログモデル実験- 赤石 和幸, 山本 仁 12:00-12:15 総合討論	10:45-11:00 E0-007 電離層ゾンデとFM波散乱観測による地震に関連した電離層擾乱観測について 藤原 博伸, 鴨川 仁, 劉 正彦ほか 11:00-11:15 E0-008 地震に関連したVHF TV放送伝播異常の観測 坂井 来人, 山田 篤, 日笠 謙ほか 11:15-11:30 E0-009 VLF/LF伝播異常を用いた地震に伴う電離層擾乱の検出 早川 正士 11:30-11:45 E0-010 地中波源によるELF/VLF帯電磁波のFDTD解析 林 惠孝, 酒井 智弥, 島倉 信 11:45-12:00 E0-011 地震に関連する電離層擾乱の発生メカニズムについて 鴨川 仁, 藤原 博伸, 劉 正彦ほか 12:00-12:15 E0-012 ELF周波数帯、特に4Hz以下に観測される磁気変動について 瀬戸 正弘, 渡辺 寛也, 北村 保夫	10:45-11:00 Sq-006 南西沖縄トラフ中軸部における断層の深部形状 中村 衛, 松本 剛 11:00-11:15 Sq-007 西南日本とメキシコの類似性について 瀬野 徹三, Singh, Shri K. 11:15-11:30 Sq-008 スラブ浅部大地震はどこで起きるのか? 瀬野 徹三, 吉田 晶樹 11:30-11:45 Sq-009 高ヒマラヤ下のデータメントにおけるランブ構造の時間発展メカニズム 高田 陽一郎, 松浦 充宏 11:45-12:00 Sq-010 不均一な断層スリップデータから複数の応力を分離する新手法の開発 山路 敦 12:00-12:15 Sq-011 力学的異常-地震波解析から推定される琵琶湖西縁のモホ面オフセット 工藤 健, 多田 明希子, 平原 和朗	10:45-11:03 Gm-006 飛騨外縁帯の層序系列:その構造発達史における意義 栗原 敬之 11:03-11:21 Gm-007 日本列島の砂岩の碎屑物の供給源について 横山 三己, 齋藤 靖二 11:21-11:39 Gm-008 白亜紀左横ずれ運動の結果としてのテラス型動物群の産出-関東山地十石峠の山中層群- 一瀬 めぐみ, 久田 健一郎 11:39-11:57 Gm-009 三重会合点の通過に伴う前弧スリパーの伸長変形・短縮変形:理論的考察と東アジアの白亜紀テクトニクスへの適用可能性 山北 聡, 大藤 茂, 佐々木 みぎわ 11:57-12:15 討論	

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

会場	C403	C405	C409	C416	C417	C501	C510	C513
9:00	Gn:(古気候・古海洋) 座長:林田明		A5:(海底拡大系) 座長:中西正男・山中寿朗	Jn:(長期火成活動と火山発達史) 座長:山元孝広・宮本毅	Sp:(強震動・地震災害) 座長:干場充之	A9:(レオロジーと物質移動) 座長:中村美千彦	Em:(宇宙・惑星観測) 座長:小嶋浩嗣	K0:(ロディニア・ゴンドワナ) 座長:有馬眞・金屋政紀
	09:00-09:15 Gn-001 日本の湖沼年輪編年と古気候復元・1年に明確なミナセットが何枚できるか? 福澤仁之 09:15-09:30 Gn-002 木崎湖湖底堆積物中の有機炭素・窒素量とそれを支配する要因について 金丸 絹代, 公文 富士夫 09:30-09:45 Gn-003 珪藻化石による年輪の現行形成過程・長野県深見池の湖底堆積物を例として 石原 園子, 加藤 めぐみ, 谷村 好洋ほか 09:45-10:00 Gn-004 中国吉林省南龍湾マールの年輪堆積物と主要元素組成 小森 次郎, 加藤 めぐみ, 福澤仁之ほか 10:00-10:15 Gn-005 尻尻湖湖底堆積物の有機炭素・窒素含有率から見た更新世後半の気候変動 公文 富士夫 10:15-10:30 Gn-006 水湖における湖水環境変化に対する珪藻群集の生態学的応答・1664年以降の汽水化を事例として 加藤 めぐみ, 谷村 好洋, 福澤仁之ほか		09:15-09:30 A5-012 インド洋における熱水噴出孔生物群集の発見と生物地理学的特性 橋本 惲, 太田 秀, 蒲生 俊敬ほか 09:30-09:45 A5-013 インド洋ロドリゲス三重点白鳳海山から採取されたシンカイヒバリガイの生物地球化学 山中寿朗, 満田智俊, 満田智俊, 千葉仁ほか 09:45-10:00 A5-014 インド洋中央海嶺ロドリゲス三重点付近で発見された海底熱水活動の化学的性質 蒲生 俊敬, 千葉仁, 山中寿朗ほか 10:00-10:20 ポスター発表概要 (P1-P10, 各2分)	09:00-09:15 Jn-011 浸食谷を含む火山地形を用いた複合火山の年代推定 長谷中 利昭, 林 信太郎, 石川 央季 09:15-09:30 Jn-012 K-Ar年代からみたフィリピン海溝での沈み込み開始と伝播 松村 純子, 田上 高広, Listanco, Eddieほか 09:30-09:45 Jn-013 重力異常から推定された兵庫県美作郡の中新世カルデラ・2001年M5.4兵庫県西部地震との関係 河野 芳輝, 本多 亮, 平松 長浩 09:45-10:00 Jn-014 古第三紀桜江コールドロンに発見された二重陥没構造 青山 美樹, 小室 裕明, 大平 寛人 10:00-10:15 Jn-015 深遠地帯地震の活動度の変化 火火山フロント 細野 耕司, 吉田 明夫 10:15-10:30 Jn-016 火山岩のストロンチウム同位体組成から見られる日本列島下部地殻の更新 柳 暉	09:00-09:15 Sp-001 宮城県沖で発生したプレート境界巨大地震の震源過程と強震動・ウィーヘルト地震計による1936年金華山沖地震の記録 藤原 宏志 09:25-09:40 Sp-002 屋久島花崗岩の岩石組織とAMS組織の研究 安間了 09:40-09:55 Sp-003 部分熔融系における固液界面エネルギーの非平衡条件下での挙動 田田 進 09:55-10:10 Sp-004 マッシュ中の液輸送と固液反応過程・細沙布嶺貫入岩体の斜長石結晶からの制約 志村 玲子 10:10-10:25 Sp-005 地殻内マグマ溜り底部のassimilation with fractional crystallization過程によるマグマの熟物質進化 金子 克哉, 小屋川 剛博 10:15-10:30 Sp-006 震源・パス・サイトをConvolution表現した時の振幅のパラソキ(その2) 干場 充之	09:00-09:05 はじめに 09:05-09:25 A9-001 マグマ溜りの固化に伴う熱水の放出過程 藤原 宏志 09:25-09:40 A9-002 屋久島花崗岩の岩石組織とAMS組織の研究 安間了 09:40-09:55 A9-003 部分熔融系における固液界面エネルギーの非平衡条件下での挙動 田田 進 09:55-10:10 A9-004 マッシュ中の液輸送と固液反応過程・細沙布嶺貫入岩体の斜長石結晶からの制約 志村 玲子 10:10-10:25 A9-005 地殻内マグマ溜り底部のassimilation with fractional crystallization過程によるマグマの熟物質進化 金子 克哉, 小屋川 剛博 10:15-11:00 A9-006 格子ボルツマン法による粘性体複合系の濡れに依り出した内部構造とその変形過程 新村 裕昭 11:00-11:15 A9-007 部分熔融物質の浸透率と電気伝導度 高嶋 晋一郎, 栗田 敬 11:15-11:30 A9-008 ペリドタイト中の硫化鉄メルトの3次元構造 芳野 極, 中野 司, 上杉 健太郎ほか 11:30-11:45 A9-009 Wadsleyiteの陽イオン拡散に与える水の効果 下宿 彰, 久保 友明, 大谷 栄治 11:45-12:00 A9-010 高温高圧下における蛇紋岩の脱水とVs-Vp/Vsダイヤグラムによる流体分布の解析 佐藤 博樹, 伊東 和彦 12:00-12:15 A9-011 流体を含む異方性岩石におけるS波スプリッティングの特徴 西澤 修, 金川 久一, 安永 健太郎ほか	09:00-09:15 Em-001 Geotail衛星電位から推定される電子密度への電子温度の影響 石坂 晋吾, 岡田 敬美, 鶴田 浩一ほか 09:15-09:30 Em-002 時間差計測型円形1次元位置検出 MCPアーロドの開発 滝藤 義文, 田中 宏樹, 清村 和史ほか 09:30-09:45 Em-003 リングコア型フラックスゲート磁力計の雑音特性 馬場 計樹, 田中 竜太, 鳥居 靖子ほか 09:45-10:00 Em-004 デカメータ電圧長距離干渉計網の開発とアンドロメダ星雲ブラックホール探査への応用 大家 寛, 飯島 雅英 10:00-10:15 Em-005 SELENE計画 月レーダサウンダ(LRS)による月地形観測 小林 敬生, 小野 高幸, 大家 寛 10:15-10:30 Em-006 宇宙飛行体搭載用ソフトウェア波動受信機の開発 若井 宏徳, 橋本 弘義, 松本 弘ほか	09:00-09:05 挨拶 09:05-09:20 K0-001 Growth and Disruption of Supercontinents: The Rodinia and Gondwana Puzzle SANTOSH, M 09:20-09:35 K0-002 Configuration of Crustal Blocks surrounding Central India during the Proterozoic 吉田 勝 09:35-09:50 K0-003 南極・東ドロンニングモードランドにおけるパンアフリカン変動のタイミング 白石 和行 09:50-10:05 K0-004 ロディニア超大陸の復元と分裂: 北部クイーンズランド年代学からの規制 渡辺 唯夫, 西谷 達郎 10:10-10:25 K0-005 ゴンドワナ大陸縁域における大規模な横ずれ運動 波田 照熙 10:25-10:30 ポスター概要の発表
10:45	Gn:(古気候・古海洋) 座長:公文富士夫	Mn:(鉱物物理学) 座長:赤松直一・篠田圭司・三宅亮	A5:(海底拡大系) 座長:中西正男・山中寿朗	Jn:(長期火成活動と火山発達史) 座長:長谷中利昭	Sp:(強震動・地震災害) 座長:古村孝志	A9:(レオロジーと物質移動) 座長:新村裕昭・芳野極	En:(太陽圏) 座長:羽田亨	K0:(ロディニア・ゴンドワナ) 座長:白石和行・渡辺唯夫
	10:45-11:00 Gn-007 千島海溝沿岸の湖沼堆積物中に認められる、過去9000年間の20枚の津波?イベント堆積物 七尾 大, 牧野 彰人, 重野 聖之 11:00-11:15 Gn-008 青銅器時代における黄土高原および雲南の気候・環境変化・黄土高原と長江・雲南地域の連関性に注目して 福澤 仁之, 山田 和芳, 松岡 裕美ほか 11:15-11:30 Gn-009 中国北西部、蘭州における後期更新世レシス-古土壌堆積物の堆積学的研究 山田 和芳, 興相 千春, 奥野 充ほか 11:30-11:45 Gn-010 カトマンズ盆地堆積物に記録された過去30万年の古気候変動 藤井 理恵, 酒井 治孝 11:45-12:00 Gn-011 カトマンズ盆地堆積物中の粘土鉱物に記録された古気候変動の復元 - XRD decomposition法による検討 - 桑原 義博, 増留 由起子, 藤井 理恵ほか 12:00-12:15 Gn-012 表層花粉データセットをもちいた、日本の植生と気候の定量的な復元について 中川 毅, 五反田 亮也, Tarasov, Pavel O.ほか	10:45-11:00 Mm-001 カルシウム角閃石の赤外OH伸縮振動バンドの微細構造 石田 清隆 11:00-11:15 Mm-002 SPring-8赤外放射光を用いた、高温高圧下でのブルーサイト(Mg(OH)2)の赤外吸収スペクトル測定 篠田 圭司, 山片 正明, 難波 孝夫ほか 11:15-11:30 Mm-003 Rb長石(RbAlSi3O8)の結晶構造精密化と長石構造に及ぼすRbとH2Oの寄与 奥野 純, 木股 三善 11:30-11:45 Mm-004 含水フォスフェイト存在の可能性について 工藤 康弘 11:45-12:00 Mm-005 非経験的分子軌道法による含水珪酸塩中のOH基のO-17, H-1, 及び H-2 NMRパラメータの計算 薛 献宇, 神崎 正美 12:00-12:15 Mm-006 軽密度の低いケイ酸塩メルトにおける水の新しい溶解機構 含水ダイオキサイドガラスのNMR結果 薛 献宇, 川本 竜彦, 神崎 正美	10:45-11:00 A5-015 白鳳丸アデン湾観測航海(Aden New Century Cruise)の成果 玉木 賢策, 藤本 博巳, Aden New Century航海乗船研究者一同 11:00-11:15 A5-016 アデン湾における低速度海底拡大テクトニクス: KH-00-5次研究航海レグ2, 3における海底地形および地磁気探査 中西 正男, 玉木 賢策, 藤本 博巳ほか 11:15-11:30 A5-017 大陸分裂域下のマントルダイナミクス 藤 浩明, 後藤 忠徳 11:30-11:45 A5-018 アデン湾の重力異常マップ 藤本 博巳, 玉木 賢策, 小泉 金一郎 11:45-12:00 A5-019 低速度大海嶺の地震活動 - アデン湾東経49度付近 - 山田 知朗, 玉木 賢之, 望月 公廣ほか 12:00-12:15 A5-020 アデン湾西部のホットスポット海山付近における活発な熱水噴出の証拠 蒲生 俊敬, 蓮本 浩志, 岡村 慶ほか	10:45-11:00 Jn-017 民族伝承中に残された白頭山10世紀噴火 宮本 毅, 成澤 勝, 大場 司ほか 11:00-11:15 Jn-018 富士山形成史の再検討 - 南西山腹でのボーリング掘削調査 山元 孝広, 高田 亮, 宮地 直道 11:15-11:30 Jn-019 富士山北西斜面における最新期の地質層序と噴火史 鈴木 直吉, 小山 真人, 宮地 直道 11:30-11:45 Jn-020 富士山火山のマグマ供給システムとテクトニクス場 高橋 正樹 11:45-12:15 討論: 富士山火山の噴火様式予測	10:45-11:00 Jn-017 群遅延時間の分散スペクトルによる位相特性のモデル化(その12) 波線理論に基づく異方散乱モデルによる分散遅延時間スペクトル 澤田 純男, 片岡 慶太 11:00-11:15 Sp-008 西日本におけるLg波と表面波(Rg, Love波)の伝播特性 古村 孝志, Kennett, Brian L. N., 蛸崎 一規 11:15-11:30 Sp-009 トルコジョアエリ地震におけるアズバザル市の強震動評価 神野 達夫, 工藤 一嘉 11:30-11:45 Sp-010 早期地震検知における震央距離とマグニチュードの新しい推定法(1) 原理 小高 俊一, 戸谷 公移, 東田 進也ほか 11:45-12:00 Sp-011 京都大学原子炉実験所における準リアルタイム強震観測システムの構築 赤川 隆士, 釜江 克宏, 香川 敬生 12:00-12:15 Sp-012 Seismic Kantoプロジェクト(その1)首都圏強震動観測ネットワーク 藤野 澄, 山中 佳子, 菊地 正幸ほか	10:45-11:00 A9-006 格子ボルツマン法による粘性体複合系の濡れに依り出した内部構造とその変形過程 新村 裕昭 11:00-11:15 A9-007 部分熔融物質の浸透率と電気伝導度 高嶋 晋一郎, 栗田 敬 11:15-11:30 A9-008 ペリドタイト中の硫化鉄メルトの3次元構造 芳野 極, 中野 司, 上杉 健太郎ほか 11:30-11:45 A9-009 Wadsleyiteの陽イオン拡散に与える水の効果 下宿 彰, 久保 友明, 大谷 栄治 11:45-12:00 A9-010 高温高圧下における蛇紋岩の脱水とVs-Vp/Vsダイヤグラムによる流体分布の解析 佐藤 博樹, 伊東 和彦 12:00-12:15 A9-011 流体を含む異方性岩石におけるS波スプリッティングの特徴 西澤 修, 金川 久一, 安永 健太郎ほか	10:45-11:00 En-001 火星探査衛星のぞみ搭載ライマフ フォトメータによる星間水素観測の初期結果 川中 広務, 福西 浩, 渡部 重十ほか 11:00-11:15 En-002 ブラジルにおける宇宙線ミュオン観測 宗像 一起 11:15-11:30 En-003 Bow Shock上流の波を用いた衝撃波の厚さの計測方法 栗原 英介, 川中 朋子 11:30-11:45 En-004 準垂直衝撃波における反陽イオン 岡光夫, 寺沢 敬夫, 野田 寛大ほか 11:45-12:00 En-005 Studies of shock phenomena related to the electron foreshock 笠野 康正, 松本 誠, 向井 利典 12:00-12:15 En-006 太陽方向に伝播するアルファン波を利用した惑星間空間磁場の構造解析 湯村 智子, 中川 朋子	10:45-11:00 K0-006 東南極リュットオ・ホルム岩体を中心とした学際的構造研究による地殻進化過程 金尾 政紀, SEAL計画ジオトランセクトグループ 11:00-11:15 K0-007 高密度人工地殻観測から推定された、東南極大陸縁部、エンダービーランドの地殻構造 岡井 智樹, 村上 寛史, 宮町 宏樹ほか 11:15-11:30 K0-008 南極ピアア岩体超高温変成岩の地殻深さ推定: みずほ高原の地殻構造とテクトニクス 新開 英介, 石川 正弘, 有馬 眞 11:30-11:45 K0-009 Advective Heat Transfer in Gondwana Crust: The Role of Magmas SANTOSH, M, 吉倉 紳一, 有馬 眞ほか 11:45-12:00 K0-010 原生代東ゴート帯のチャールノイカイト: ゴンドワナ大陸復元における意義 Paramata, Saradhi, 有馬 眞 12:00-12:15 K0-011 原生代海洋性島弧とロディニアの成長: 南アフリカナタール帯の構造発達史 有馬 眞

注) 発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

地球惑星科学関連学会 2001年合同大会 口頭発表プログラム

第2日 6月5日(火)午後

会場	IC	C101	C310	C311	C401	C402	C403
13:30	S3:(鳥取県西部地震) 座長:西田良平	Dm:(GPS) 座長:畑中雄樹	E0:(地殻活動予測) 座長:吉田真吾・長尾年泰	S2:(最新の南海トラフ研究) 座長:氏家恒太郎	A8:(全地球ダイナミクス) 座長:末次大輔・森下律生	Gm:(地域地質と構造発達) 座長:君波和雄	Gn:(古気候・古海洋) 座長:福澤仁之
	13:30-13:48 S3-001 2000年鳥取県西部地震の概要と地震発生環境 梅田 康弘, 松村 一男, 渡谷 拓郎ほか 13:48-14:06 S3-002 鳥取県西部地震周辺の地震活動の整理 西田 良平, 松山 和也 14:06-14:24 S3-003 2000年鳥取県西部地震に先行して発生した1989年,1990年および1997年の群発的地震活動 渡谷 拓郎, 中尾 節郎, 西田 良平ほか 14:24-14:42 S3-004 鳥取県西部地震に先行した深部低周波地震 大見 士郎, 小原 一成 14:42-15:00 S3-005 稠密余震観測による2000年鳥取県西部地震の精密余震分布について 2000年鳥取県西部地震合同稠密余震観測グループ	13:30-13:45 Dm-001 基線連結によるキネマティックGPS測位の長距離化 近添 裕司, 田部 隆雄, 辻井 利昭ほか 13:45-14:00 Dm-002 海底地殻変動モニタリングシステム開発に向けたkinematic GPSの位置決定精度評価:(1)基線長別精度評価 佐藤 一敏, 橋本 学, 細 善信ほか 14:00-14:15 Dm-003 PRECISE NAVIGATION ENABLES VERY LARGE AREA REMOTE SENSING SURVEYS Colombo, Oscar L. 14:15-14:30 Dm-004 VRS方式によるRTK-GPS測位実験 今給黎 哲郎, 西 修二郎, 吉木 和夫ほか 14:30-14:45 Dm-005 Does GPS decorrelation work? 埴 達彦 14:45-15:00 Dm-006 GLONASS 衛星の軌道決定・比較および光学応答特性 大坪 俊通, Appleby, Graham	13:30-13:45 E0-013 ULF Geomagnetic Anomalies Associated with Earthquakes 服部 克巳, 後藤 薫, 早川 正士ほか 13:45-14:00 E0-014 理研・地震国際フロンティアにおける電磁界高密度観測 長尾 年泰, 服部 克巳, 佐柳 敬造ほか 14:00-14:15 E0-015 火山マグマ移動の接近・噴出と自然電位変動 藤縄 幸雄, 松本 拓己, 高橋 耕三ほか 14:15-14:30 E0-016 湿潤状態と乾燥状態の岩石におけるAEに伴う電磁放射 吉田 真吾 14:30-14:45 ボスター講演の概略紹介 14:45-15:00 地震電磁現象の解明に向けて	13:30-13:45 S2-001 南海トラフの地殻構造(レビュウ)と巨大地震発生との関係 仲西 理子 13:45-14:00 S2-002 西部南海トラフにおける巨大逆断層帯の3次元イメージング 中村 恭之, 倉本 真一, 平 朝彦ほか 14:00-14:15 S2-003 1946年南海地震の震源過程と南海トラフ巨大地震のセグメンテーション Cummins, Phil, 金田 義行, 馬場 俊孝ほか 14:15-14:30 S2-004 室戸岬南海トラフの地震活動:海底地震計による繰返し観測の成果 尾鼻 浩一郎, 望月 公廣, 篠原 雅尚ほか 14:30-14:45 S2-005 南海トラフ付加体におけるデコルマの初期発達過程:ODP Leg 190掘削コア解析成果 氏家 恒太郎, 久光 敬夫, 平 朝彦 14:45-15:00 S2-006 帯磁率, 帯磁率異方性解析および古環境からみたデコルマの起源について 久光 敬夫, 氏家 恒太郎, 平 朝彦	13:30-13:45 A8-001 全マントル・トモグラフィーから見た地球深部ダイナミクス 趙 大鵬 13:45-14:00 A8-002 Direct Solution法により推定した上部マントルS波速度の次数16までのモデル 原辰彦 14:00-14:15 A8-003 南太平洋マントル遷移層の地震学的構造 末次 大輔, Niu, Fenglin 14:15-14:30 A8-004 レンジャー関数法を用いたマントル地震学的不連続面の深さの推定 齊田 智治, 末次 大輔, 竹中 博士ほか 14:30-14:45 A8-005 P-s変換波を用いた日本列島下におけるマントル遷移層の深さと厚さの推定 三田 亮平, 趙 大鵬 14:45-15:00 A8-006 マントルブルーム:ハワイ火山からのアプローチ 高橋 栄一	13:30-13:48 Gm-010 ゴンドワナ起源Baoshan地塊から発見されたベルム紀の漂塊 久田 健一郎, 杉山 哲男, 上野 勝美ほか 13:48-14:06 Gm-011 西九州古第三系のシーケンス層序と呼子ノ瀬川断層の運動像 坂井 卓, 石下 洋平 14:06-14:24 Gm-012 九州南東部の地質と新生代後期テクトニクス 斎藤 真 14:24-14:42 Gm-013 長崎変成岩類の重複変形-その三要素と三波川の要素- 重野 未来, 松尾 和明, 井上 和男ほか 14:42-15:00 討論	13:30-13:45 Gn-013 バイカル湖1200万年前の湖底堆積物記録から得られた長周期地球環境変動 相合 健二, 落合 伸也, 酒井 英男ほか 13:45-14:00 Gn-014 海洋酸素同位体ステージ6.5の230Th/234U年代 北村 晃秀 14:00-14:15 Gn-015 ODP Leg 188の底生有孔虫群集に基づく三陸沖の古環境変遷 岡本 恵, 長谷川 四郎 14:15-14:30 Gn-016 更新世後期の北西太平洋シャットラー川における生物起源物質と無機元素の堆積変動 前田 玲奈, 川幅 穂高, 野原 昌人 14:30-14:45 Gn-017 北西部北太平洋のセグメントラップ観測における浮遊性有孔虫の季節変化と海洋環境 黒柳 あずみ, 川幅 穂高, 西 弘嗣ほか 14:45-15:00 Gn-018 植物バイオマーカー記録からの中部日本沖の過去12万年前の生物生産変動の復元 沢田 健
15:15	S3:(鳥取県西部地震) 座長:福山英一	Dm:(GPS) 座長:市川隆一	Aa:(惑星大気圏・電磁圏) 座長:小野高幸	S2:(最新の南海トラフ研究) 座長:村達午	A8:(全地球ダイナミクス) 座長:木戸元之・原辰彦	Gm:(地域地質と構造発達) 座長:永広昌之	Gn:(古気候・古海洋) 座長:多田隆治
	15:15-15:33 S3-006 2000年鳥取県西部地震の震源過程と地震発生環境 関口 春子, 岩田 知孝, 杉山 雄一ほか 15:33-15:51 S3-007 2000年鳥取県西部地震の詳細断層構造 福山 英一, Ellsworth, William L., Waldhauser, Felixほか 15:51-16:09 S3-008 2000年鳥取県西部地震に伴う地殻変動と断層モデル 鷺谷 威, 福山 英一, Ellsworth, William L. 16:09-16:27 S3-009 鳥取県西部地震震源域における稠密GPS観測(2周波観測)GPS大学連合 16:27-16:45 S3-010 鳥取県西部地震震央近傍における1周波GPS稠密観測網による余効変動観測 中尾 茂, 加藤 愛太郎, 平田 安廣ほか	15:15-15:30 Dm-007 VLBIとの比較によるGPS電離層TEC分布推定の精度評価 関口 春子, 近藤 哲朗, 川合 栄治ほか 15:30-15:45 Dm-008 日本における大気山岳波によるGPS観測点位置解の系統誤差(I) 島田 誠一, 瀬古 弘, 中村 一ほか 15:45-16:00 Dm-009 数値モデルによる測位誤差の長期的評価 畑中 雄樹 16:00-16:15 Dm-010 2001年インド西部大地震に伴う余効地殻変動のGPS観測-序報- 宮下 芳, 加藤 照之, 青木 陽介ほか 16:15-16:30 Dm-011 GEONETデータに見られる基線長の年周的变化について 瀧口 博士, 福田 洋一 16:30-16:45 Dm-012 解けた年周地殻変動の謎 日置 幸介	15:15-15:33 Aa-001 BepiColombo/MMOの科学目的 早川 基, 向井 利典 15:33-15:51 Aa-002 BepiColombo/MMOにおける大気観測イメージャー 吉川 一朗, 三澤 昭, 森岡 昭ほか 15:51-16:09 Aa-003 BepiColombo MMOによる水星磁気圏プラズマ波動観測 小嶋 浩嗣, 大村 善治, 松本 結ほか 16:09-16:27 Aa-004 Bepi-Colombo/MMOにおける水星磁場観測 松岡 彩子 16:27-16:45 Aa-005 水星周回衛星Bepi-Colombo MMOによるプラズマ粒子観測 斎藤 義文, 平原 聖文, 高島 健ほか	15:15-15:30 S2-007 室戸沖南海トラフにおける高熱流量異常 山野 誠, 木下 正高, 後藤 秀作 15:30-15:45 S2-008 南海トラフ-沈み込み四国海盆側の事情 沖野 郷子, 玉木 賢策, 佐藤 暢 15:45-16:00 S2-009 南海トラフ反射法地殻探査データのAVO解析 朴 連午, 鶴 哲郎, 濱嶋 多志ほか 16:00-16:45 総合討論	15:15-15:30 A8-007 Records of Brunhes/Matuyama geomagnetic polarity transition and its precursor from Ocean Drilling Program Site 768, Sulu Sea 小田 啓邦 15:30-15:45 A8-008 南太平洋におけるGPS連続観測 松坂 茂, 宮崎 真一, 原田 靖ほか 15:45-16:00 A8-009 一次元フォワードボックスモデルによる地球の熱, 物質進化の数値シミュレーション 森下 律生, 戎崎 俊一 16:00-16:15 A8-010 新しいトモグラフィーを用いたジオイド-粘性インバージョン 木戸 元之 16:15-16:45 討論	15:15-15:33 Gm-014 北上帯の前期白亜紀火成活動の変遷と海嶺沈み込みの役割 佐々木 加奈子, 土谷 高行, 木村 純一 15:33-15:51 Gm-015 畑川マロナイトの微細変形組織と帯磁率異方性 武藤 潤, 長濱 裕幸 15:51-16:09 Gm-016 早池峰帯の地質構造と重力構造 千葉 智章, 永広 昌之, 長濱 裕幸 16:09-16:27 Gm-017 日本列島の地質構造を最も良く反映した重力異常(コンラッド・モホ・スラブ残差重力異常:CMS-RGA) 河野 芳輝, 源内 直美 16:27-16:45 討論	15:15-15:30 Gn-019 オホーツク海における数千年規模の急激で突然な寒冷化イベントと海水変動 坂本 彦彦, 田辺 竜男, 清水 弘智ほか 15:30-15:45 Gn-020 ODP 1151地点(西部北太平洋親潮域)における過去20万年間の気候・環境変遷 藤根 和穂, 山本 正伸, 坂本 彦彦ほか 15:45-16:00 Gn-021 キューバ北西部K/T境界深海堆積層の形成機構 後藤 和久, 田近 英一, 多田 隆治ほか 16:00-16:15 Gn-022 西キューバ・モンカグにおける白亜紀第三紀境界津波堆積層について 中野 陽一, 多田 隆治, Iturralde-Vinent, Manuel A.ほか 16:15-16:30 Gn-023 KT衝突起源崩壊堆積物-キューバ・カラヒヒラ層の特徴3- 清川 昌一, 多田 隆治, 田近 英一ほか 16:30-16:45 Gn-024 P/T境界深海底の古酸化還元環境 真鉄結中への微量元素の濃集 加藤 拓弥, 多田 隆治, 田近 英一ほか

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

会場	C405	C409	C416	C501	C510	C513
13:30	<p>Mm:(鉱物物理化学) 座長:赤松直・篠田圭司 三宅亮</p> <p>13:30-13:45 Mm-007 低温型メラノプロジタイトの結晶構造 中川 武志, 木原 昭昭</p> <p>13:45-14:00 Mm-008 ゾルゲル法で作製された2成分系ゲルの加熱により出現するTiO₂の多形について 小暮 敏博, 梅沢 卓, 小谷 佳範ほか</p> <p>14:00-14:15 Mm-009 エンスタタイトの融点までの高温X線その場観察 降 大壽, 藤野 清志, 富岡 尚敬ほか</p> <p>14:15-14:30 Mm-010 熱水条件におけるMnO-SiO₂-H₂O系鉱物の相関係 磯部 博志, 井上 奈保美, 尾崎 正陽</p> <p>14:30-14:45 Mm-011 X線その場観察におけるドロマイトの合成・分解実験:ドロマイト=アラゴナイト+マグネサイトの相境界の決定 白坂 瑞樹, 西原 遊, 松影 香子ほか</p> <p>14:45-15:00 Mm-012 透過微分干涉法によるH₂O-iceの顕微鏡観察と融解曲線測定について 奥地 拓生, 栗田 典明</p>	<p>Ab:(火山と水) 座長:風早康平</p> <p>13:30-13:35 「火山と水」セッションについて</p> <p>13:35-13:37 ポスターセッション概要(P000959)</p> <p>13:39-13:57 Ab-001 地下水位変動から推定したマグマ上昇量-有珠火山2000年噴火- 松本 則夫, 佐藤 努, 松島 喜雄ほか</p> <p>13:57-14:15 Ab-002 九重火山における1995年噴火後の重力変動 西島 潤, 藤光 康宏, 江原 幸雄</p> <p>14:15-14:33 Ab-003 1995年九重山系硫黄山噴火前後の湯辺湧水の動向 河野 忠</p> <p>14:33-14:51 Ab-004 柳津西山地熱発電所周辺の温泉の同位体組成について 高橋 正明</p>	<p>Jp:(活動的火山) 座長:山本希・木殿文昭</p> <p>13:30-13:45 Jp-001 噴火後の熱的・力学的状態の回復過程-九重火山1995年噴火の例- 江原 幸雄, 藤光 康宏, 西島 潤</p> <p>13:45-14:00 Jp-002 南九州の活火山における自然電位異常 神田 径, 森 真陽</p> <p>14:00-14:15 Jp-003 低周波地震の複素周波数から推定される草津白根火山の熱水システムの時間発展 熊谷 博之, Choquet, Bernard, 中野 優</p> <p>14:15-14:30 Jp-004 crack wave理論の拡張と阿蘇火山長周期微動への応用 山本 希, 川勝 均</p> <p>14:30-14:45 Jp-005 口永良部島火山における火山性地震活動 2000年集中総合観測 井口 正人, 山本 圭吾, 高山 鉄朗ほか</p> <p>14:45-15:00 Jp-006 ネバドデルルイス火山の速度構造と地震活動 Londono, John, 須藤 靖明</p>	<p>A9:(レオロジーと物質移動) 座長:渡辺了</p> <p>13:30-13:50 A9-012 圧電効果による石英-水系の微細構造形成 平井 誠, 桂 友子</p> <p>13:50-14:05 A9-013 圧電効果による石英-水間の界面エネルギーの変化と物性への影響 桂 友子, 平井 誠, 池谷 元向</p> <p>14:05-14:25 A9-014 鉱物表面近傍の水と水溶液の分子シミュレーション 河村 雄行</p> <p>14:25-14:40 A9-015 岩石-水反応における同位体交換と化学輸送機構 中村 美千彦, 本本 尚義, Watson, E. Bruce</p> <p>14:40-15:00 A9-016 地球内部境界薄膜水の分布と物性-地球内部の「かたい」水? 中嶋 悟</p>	<p>En:(太陽圏) 座長:中川朋子</p> <p>13:30-13:45 En-007 太陽風中の磁気流体乱流のいくつかの新しい解析 羽田 亨, 山本 英子</p> <p>13:45-14:00 En-008 太陽風MHDシミュレーションとIPS観測データの結合により求めた太陽風の三次元構造 林 啓志, 小島 正宜, 徳丸 宗利ほか</p> <p>14:00-14:15 En-009 太陽風速度とコロナ磁場の膨張率IV 袴田 和幸, 小島 正宜, 大見 智亮ほか</p> <p>14:15-14:30 En-010 「のぞみ」Xバンド電波を用いた太陽風加速域の惑星間空間シンチレーション観測 藤牧 秀一, 徳丸 宗利, 小島 正宜ほか</p> <p>14:30-14:45 En-011 探査機電波の位相揺らぎを用いた太陽近傍プラズマ擾乱の観測 今村 剛, 野口 克行, 小山 孝一郎ほか</p> <p>14:45-15:00 En-012 のぞみ衛星が観測した高エネルギーの沿磁力線電子(100keV)から磁気フラックスロープの太陽表面接続の状態を探る 井原 亜紀史, 道家 忠義, 長谷部 信行ほか</p>	<p>P1:(惑星系形成) 座長:渡邊誠一郎・城野信一</p> <p>13:30-13:33 はじめに</p> <p>13:33-14:00 P1-001 原始太陽系円盤における物質大循環モデル 倉本 圭, 本本 尚義</p> <p>14:00-14:30 P1-002 原始惑星系円盤の化学進化 相川 祐理</p> <p>14:30-15:00 P1-003 太陽風速度と隕石の起源に対する有機質星間塵の影響 香内 晃, 工藤 達行, 中野 英之</p>
	15:15	<p>Mm:(鉱物物理化学) 座長:赤松直・篠田圭司 三宅亮</p> <p>15:15-15:30 Mm-013 CaSiO₃-CaGeO₃系ペロプスカイト固溶体の熱量測定 梶谷 浩, 赤荻 正樹, Navrotsky, Alexandra</p> <p>15:30-15:45 Mm-014 (Ca_{1-x}Sr_x)TiO₃ペロプスカイトの単結晶構造解析による高圧構造変化 山中 高光</p> <p>15:45-16:00 Mm-015 第一原理計算によるMgSiO₃ペロプスカイトの圧縮機構 山本 知之, 森下 律生, 戎崎 俊一</p> <p>16:00-16:15 Mm-016 アルカリ土類金属酸化物の弾性特性 土屋 卓久, 河村 雄行</p> <p>16:15-16:20 休憩時間</p> <p>16:20-16:36 ポスター概要発表(1ポスター当り1-2分)</p>	<p>Ab:(火山と水) 座長:高橋正明</p> <p>15:15-15:33 Ab-005 富士山麓の地下水中の微量元素特性 興水 達司, 小林 浩, 京谷 智裕</p> <p>15:33-15:51 Ab-006 三宅島における天然水の水文化学的研究 町田 功</p> <p>15:51-16:09 Ab-007 複成火山の山体構造に規定された地下水流動 鈴木 秀和, 田瀬 則雄</p> <p>16:09-16:27 Ab-008 雲仙火山とその周辺地域の地下水の水質・同位体組成 安原 正也, 風早 康平, 稲村 明彦</p> <p>16:27-16:45 Ab-009 イタリヤ・エトナ火山の地下水流動系に関する地球化学的・同位体的研究 Bellia, Carmelo, 安原 正也, 風早 康平</p>	<p>Jp:(活動的火山) 座長:山本希・木殿文昭</p> <p>15:15-15:30 Jp-007 Deformation Monitoring of Kalud and Batur Volcanoes, Indonesia Using GPS, Leveling, and EDM Surveys 木殿 文昭</p> <p>15:30-15:45 Jp-008 火道内の圧力変化がもたらす地震変動-有限要素法解析と火道流れのモデルとの融合の試み 常松 佳恵, 栗宮 昭彦, 小屋口 剛博</p> <p>15:45-16:00 Jp-009 火山爆発にともなう発生する噴石の弾道放出と爆風伝播の数値シミュレーション 江口 友章, 谷口 宏充, 齋藤 務ほか</p> <p>16:00-16:15 Jp-010 火山岩とHClおよびSO₂ガスの反応により生成する水溶性物質 赤木 誠司, 山本 雅弘</p> <p>16:15-16:30 Jp-011 鳥海火山東部に分布する平安時代の灰色粘土質火山灰 林 信太郎, 毛利 春治, 伴 雅雄</p> <p>16:30-16:45 Jp-012 ラバウル1994年噴火に伴う津波の発生過程 西村 裕一, 中川 光弘, Kudon, Jonathan</p>	<p>A9:(レオロジーと物質移動) 座長:奥平敏元</p> <p>15:15-15:30 A9-017 粒界移動速度から推定される粒界水の拡散係数 渡辺了</p> <p>15:30-15:45 A9-018 天然石英岩における転位クリーブから圧力溶解 沈殿クリーブへの転移の物理条件 竹下 徹</p> <p>15:45-16:00 A9-019 エシェロン状石英脈の形態的特徴と微細組織 石井 和彦</p> <p>16:00-16:15 A9-020 高温熱水条件石英ガウジの摩擦挙動 金川 久一</p> <p>16:15-16:30 A9-021 剪断帯形成に伴う石英・長石のフリップ変化 重松 紀生, Prior, David J., Wheeler, John</p> <p>16:30-16:45 A9-022 X線CT装置を用いた移流像その場観測透水試験 広野 哲朗, 高橋 学, 中嶋 悟</p>	<p>En:(太陽圏) 座長:徳丸宗利</p> <p>15:15-15:30 En-013 太陽風磁気ロープのグローバル形状 丸橋 克英</p> <p>15:30-15:45 En-014 IPS θ 値を使用した太陽風擾乱の三次元構造の推定 山下 真弘, 徳丸 宗利, 小島 正宜</p> <p>15:45-16:00 En-015 非均質な惑星間空間におけるタイプIII電波バースト -- GEOTAIL 衛星による観測 -- 笠原 禎也, 松本 紘, 小嶋 浩嗣</p> <p>16:00-16:15 En-016 Origin of a CME in the lower corona: a study of the 23 April 1998 event 宮脇 崇, 増田 智</p> <p>16:15-16:30 En-017 太陽フレアのアーケード形成における dawn-dusk asymmetry 磯部 洋明, 柴田 一成, 町田 忍</p> <p>16:30-16:45 En-018 電波および硬X線でとらえるフレアの非熱的粒子加速:98年11月10日のフレアの多波長解析 浅井 歩, 磯部 洋明, 森本 太郎ほか</p>

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

地球惑星科学関連学会 2001年合同大会 口頭発表プログラム

第3日 6月6日(水)午前

会場	IC	C101	C102	C108	C309	C310	C311	C401	
	S3:(鳥取県西部地震) 座長:西上欽也	Jo:(地殻変動) 座長:田部井隆雄	S2:(最新の南海トラフ) 座長:木村学	C1:(流域水文・生物地球化学) 座長:谷誠	P2:(太陽系小天体) 座長:安部正真・城野信一	Aa:(惑星大気圏・電磁圏) 座長:竹内寛	Sr:(地震の理論・解析法) 座長:坪井誠司	Ad:(宇宙惑星物質進化) 座長:山本哲生・永原裕子	
9:00	09:00-09:18 S3-011 240チャンネルアレイによる鳥取県西部地震の余震観測と地殻不均質構造の推定 中川 茂樹, 佐藤 比呂志, 岩崎 貴哉ほか 09:18-09:36 S3-012 3成分アレイ観測による鳥取県西部地震震源域の地殻不均質構造 浅野 陽一, 中村 綾子, 堀 修一郎ほか 09:36-09:54 S3-013 鳥取県西部地震震源域周辺におけるアレイ観測 小原 一成, 松本 聡, 木村 尚紀ほか 09:54-10:12 S3-014 アレイ観測に基づく鳥取県西部地震震源域周辺における地殻内散乱体分布のイメージング 松本 聡, 小原 一成, 木村 尚紀ほか 10:12-10:30 S3-015 破砕帯トラップ波の観測による2000年鳥取県西部地震の断層構造の推定 西上 欽也, 水野 高志, 吉井 弘治	09:15-09:33 Jo-001 GPS観測に基づくフィリピン海プレートの相対運動の再推定 小竹 美子, 加藤 照之 09:33-09:51 Jo-002 東アジアのテクニクスと応力伝播のメカニズム 岩国 真紀子, 加藤 照之, 小竹 美子 09:51-10:09 Jo-003 GPS速度場から見たフィリピン-インドネシア東部の地殻変動 大庭 健太郎, 田部井 隆雄, 木股 文昭 ほか 10:09-10:27 Jo-004 GPSデータから推定したアレイ観測による伊豆マイクロプレートの運動と二重沈み込み帯 田部井 隆雄, 木股 文昭, 瀬川 爾朗 10:45-11:03 Jo-005 GPS精密観測から得られた東北地方南部の地殻変動 西村 卓也, 鷲谷 威, 宮崎 真一ほか 11:03-11:21 Jo-006 湯河原観測点の最近の水温と筈の変化傾向について 吉川 澄夫, 山本 剛靖, 小林 昭夫 11:21-11:39 Jo-007 駿河湾西岸域のGPSデータから推定される地殻変動と水準データとの比較 高山 寛美, 吉田 明夫 11:39-11:57 Jo-008 月平均潮位から見た駿河湾周辺域の地殻変動 小林 昭夫, 吉田 明夫, 小沢 慎三郎 11:57-12:15 Jo-009 中央構造線におけるすべり分布の推定 宮崎 真一, 田部井 隆雄, 恵口 泰秀ほか	09:00-09:15 S2-010 東海沖南海トラフの地震発生帯のイメージング 徳山 英一 09:15-09:30 S2-011 GPS観測による東海地域の上下変動 - 1996 - 1999年 - 木股 文昭 09:30-09:45 S2-012 過去の付加体における沈み込みから底付け付加に至るプレート境界に沿った流体移動と温度圧力履歴 橋本 善孝, 円城寺 守, 坂口 有人ほか 09:45-10:00 S2-013 四万十付加体中に発達する過去の海溝型震源断層探査 坂口 有人, 池澤 栄誠, 川淵 訓代ほか 10:00-10:15 S2-014 四万十帯と南海トラフ再考 - 沈み込み帯・震源域物質科学のために 木村 学, 朴 進午, 橋本 善孝ほか 10:15-10:30 総合討論	09:00-09:15 C1-001 森林土壌中の不飽和鉛直浸透過程の定量化手法 小杉 賢一郎 09:15-09:30 C1-002 山地源流域の水の流出経路に関する考察 内田 太郎 09:30-09:45 C1-003 花崗岩丘陵地の降雨流出過程における飽和地表流の特性 浅井 和由, 辻村 真貴, 竹井 理絵 09:45-10:00 C1-004 丘陵地源流域における降雨流出過程にともなうトレーサー成分の変動 辻村 真貴, 浅井 和由, 竹井 理絵 10:00-10:15 C1-005 山地斜面における自然電位測定による地下水流動系の推定 安部 豊, 後藤 忠徳, 近藤 和也ほか 10:15-10:30 C1-006 森林流域における地下水帯の変動と基底流水質形成機構との関連性 勝山 正則, 大手 信人, 壁谷 直記	09:00-09:15 C1-001 森林土壌中の不飽和鉛直浸透過程の定量化手法 小杉 賢一郎 09:15-09:30 C1-002 山地源流域の水の流出経路に関する考察 内田 太郎 09:30-09:45 C1-003 花崗岩丘陵地の降雨流出過程における飽和地表流の特性 浅井 和由, 辻村 真貴, 竹井 理絵 09:45-10:00 C1-004 丘陵地源流域における降雨流出過程にともなうトレーサー成分の変動 辻村 真貴, 浅井 和由, 竹井 理絵 10:00-10:15 C1-005 山地斜面における自然電位測定による地下水流動系の推定 安部 豊, 後藤 忠徳, 近藤 和也ほか 10:15-10:30 C1-006 森林流域における地下水帯の変動と基底流水質形成機構との関連性 勝山 正則, 大手 信人, 壁谷 直記	09:00-09:14 P2-001 太陽系内へ飛来する星間塵の分布を支配する力についての考察 直井 隆浩, 佐々木 晶 09:14-09:28 P2-002 斜め衝突におけるレゴリス層からの衝突放出物の速度測定 山本 聡 09:28-09:42 P2-003 Eグループ鉄隕石 Mont Dieu中のケイ酸塩鉱物とその形成過程 武田 弘, 石井 輝秋 09:42-09:56 P2-004 D型小惑星に対応する隕石の発見と小惑星物質を隕石中に見つける試みの将来 廣井 孝弘 09:56-10:10 P2-005 近地球型小惑星 1998 SF36の分光観測 大場 庸平, 安部 正真, 石橋 之宏ほか 10:10-10:24 P2-006 Investigation on meteoroids in the EUSO space mission. Scarsi, Paolo, 戎崎 俊一, 海老塚 昇ほか 10:24-10:30 短い口頭発表	09:00-09:18 Aa-006 金星オービターは惑星気象研究をどう変えるか 今村 剛, 金星探査計画ワーキンググループ 09:18-09:36 Aa-007 金星大気における熱潮波 高木 征弘, 松田 佳久 09:36-09:54 Aa-008 連続した衛星雲画像から得られる風速ベクトルの誤差導出法について 村地 哲徳, 今村 剛, 中村 正人 09:54-10:12 Aa-009 金星における雷放電発生 の証明に向けて 高橋 幸弘 10:12-10:30 Aa-010 金星電離圏におけるプラズマ流動及びサウンダー観測 小野 高幸	09:30-09:45 Sr-001 Tomographic Imaging of Thermally Induced Fractures in Granite using Bayesian Inversion Debski, Wojciech 09:45-10:00 Sr-002 ウェーブレットを用いたWigner分布からの波形合成 本田 利器, 大濱 吉礼 10:00-10:15 Sr-003 離散波数法による静的変位まで含めた波形合成-波数積分のパラメータに関する研究- 本多 亮, 蓮田 清 10:15-10:30 Sr-004 地球外核における有限の剛性率について - 自由振動スペクトルの考察 坪井 誠司, 齋藤 正徳	09:00-09:05 宇宙惑星物質進化の最近の進展について Ad-001 分子雲における星間物質の進化 相川 祐理 09:30-09:42 Ad-002 高圧下でのPAHとケロジェンの安定性とその氷天体内部への適用 赤川 健一, 大谷 栄治, 近藤 忠ほか 09:42-10:07 Ad-003 有機質星間塵の起源と進化 香内 真 10:07-10:19 Ad-004 珪酸塩メルト界面近傍での宇宙塵形成過程の微小重力環境下における「その場観察」 小島 秀和, 塚本 勝男, 塚本 尚義 10:19-10:30 Ad-005 すばる望遠鏡中間赤外線高分散分光観測装置 (IRHS)プロトタイプ光学設計 小林 英臣, 平原 靖大
10:45	S3:(鳥取県西部地震) 座長:塩崎一郎	Jo:(地殻変動) 座長:西村卓也	Eq:(地球内部電磁気学) 座長:村上英記・高倉伸一	C1:(流域水文・生物地球化学) 座長:田中正	P3:(月) 座長:松本晃治	Aa:(惑星大気圏・電磁圏) 座長:佐々木晶	Ss:(地震計測・処理システム) 座長:松島健	Ad:(宇宙惑星物質進化) 座長:山本哲生・永原裕子	
	10:45-11:03 S3-016 2000年鳥取県西部地震(M7.3)の地震断層のトラップ波観測 梶原 保人, 今西 和俊, 伊藤 久男 11:03-11:21 S3-017 鳥取県西部地震震源域における小スパンアレイ観測波形のゼンブランズ解析 水野 高志, 西上 欽也, 田所 敬一ほか 11:21-11:39 S3-018 2000年鳥取県西部地震の震源域におけるS波偏角異方性 中村 武史, 竹中 博士, 渡邊 篤志ほか 11:39-11:57 S3-019 山陰地方東部の深部比抵抗構造研究-鳥取県西部地震震源域の地殻深部に低比抵抗領域は存在するか- 塩崎 一郎, 大志万 直人 11:57-12:15 S3-020 鳥取県西部地震震源域における重力異常 本多 亮, 平松 良浩, 河野 芳輝	10:45-11:03 Jo-005 GPS精密観測から得られた東北地方南部の地殻変動 西村 卓也, 鷲谷 威, 宮崎 真一ほか 11:03-11:21 Jo-006 湯河原観測点の最近の水温と筈の変化傾向について 吉川 澄夫, 山本 剛靖, 小林 昭夫 11:21-11:39 Jo-007 駿河湾西岸域のGPSデータから推定される地殻変動と水準データとの比較 高山 寛美, 吉田 明夫 11:39-11:57 Jo-008 月平均潮位から見た駿河湾周辺域の地殻変動 小林 昭夫, 吉田 明夫, 小沢 慎三郎 11:57-12:15 Jo-009 中央構造線におけるすべり分布の推定 宮崎 真一, 田部井 隆雄, 恵口 泰秀ほか	10:45-11:00 Eq-001 流動電流係数とゼータ電位の温度依存性 吉田 真吾 11:00-11:15 Eq-002 千屋断層周辺の自然電位分布の特徴 村上 英記 11:15-11:30 Eq-003 火山ガス上昇に伴う電場発生 石戸 綾士 11:30-11:45 Eq-004 有珠火山地域における空中物理探査 大熊 茂雄, 中塚 正, 森尻 理恵ほか 11:45-12:00 Eq-005 高密度電気探査による地熱地域の精密な浅部比抵抗調査および比抵抗モニタリング 高倉 伸一	10:45-11:00 C1-007 北海道北部の森林河川近傍の間隙水域での小出水時における地下水の溶存窒素動態 柴田 英昭, 中村 太士, 菅原 修 11:00-11:15 C1-008 対照流域法を用いた森林伐採前後における渓流水硝酸イオン濃度の変動 蔵治 光一郎, 尾阪 景子, 鈴木 祐紀ほか 11:15-11:30 C1-009 酸塩平衡の季節変化に及ぼす降水量、植生の影響 瀬戸内海沿岸流域の例 小野寺 真一 11:30-11:45 C1-010 森林の窒素循環に及ぼすと水文プロセスの影響 大手 信人, 徳地 直子 11:45-11:50 ポスター概要説明(1ポスターあたり2分) 11:50-12:15 総合討論	10:45-10:49 はじめに 10:49-11:02 P3-001 SELENE搭載XRSによる月面元素組成マップとその方法 岡田 達明, 白井 慶, 山本 幸生ほか 11:02-11:15 P3-002 月の表面及び外気圏からの荷電粒子の放出について 横田 裕一郎, 齋藤 義文, 浅村 和史ほか 11:15-11:28 P3-003 LISM(月面探査/分光機器)のデータと、その処理・解析 春山 純一, 大竹 真紀子, 平田 成ほか 11:28-11:41 P3-004 LISM(月面探査/分光機器)データを用いた月表層鉱物同定および鉱物化学組成推定のための地上実験とアルゴリズムの研究 大竹 真紀子, 杉原 孝亮 11:41-11:54 P3-005 月分光観測装置と月地質用画像解析ソフトウェアの開発 佐伯 和人, 坪井 直 11:54-12:15 POSTER:P1-P7	10:45-11:03 Aa-011 惑星大気散逸の科学 - 金星探査計画が目指す上層大気・プラズマの観測 - 阿部 琢美, 金星探査計画ワーキンググループ 11:03-11:21 Aa-012 On Atmospheric Loss of Oxygen Ions from Earth Through Magnetospheric Processes 関 華奈子, Elphic, Richard C., 平原 聖文ほか 11:21-11:39 Aa-013 広視野CCDカメラによる夜光連続光成分の観測 中村 良介 11:39-12:15 ポスター概要発表	10:45-11:03 Ss-001 ICA(独立成分分析)の地震波への適用(その2)-Blind Source Deconvolution- 川崎 宣昭 11:03-11:21 Ss-002 松代群列地震観測システムで決定された震央位置のSライン間数による補正法 西村 裕司, 尾形 良彦, 高山 博之ほか 11:21-11:39 Ss-003 帯広における地震動振幅の並進成分と回転成分の関係 森谷 武男 11:39-11:57 Ss-004 兩種構造探査用ペネトレータ地震計の開発 松島 健, 渋谷 和雄, 金尾 政紀ほか 11:57-12:15 Ss-005 半導体レーザー干渉計を用いた高精度広帯域地震計の性能評価 新谷 昌人, Wielandt, Erhard, Zuern, Walter	10:45-10:57 Ad-006 ベリリウム-ポロン系による初期太陽系の年代測定 杉浦 直治 10:57-11:09 Ad-007 原始太陽系星雲内における非平衡凝縮: 難揮発性金属塊の形成 田中 今日子, 田中 秀和, 中澤 清 11:09-11:34 Ad-008 宇宙塵表面上での水素分子形成と新しい天文学的プローブ光 高橋 順子 11:34-11:46 Ad-009 ガス存在下におけるフォトルステアットの蒸発と凝縮過程への応用 永原 裕子, 横 省吾, 福業 治美ほか 11:46-12:11 Ad-010 ハイパーリング・メルトよりのコンドリユール形成 塚本 勝男, 佐藤 久夫, 小島 秀和ほか	

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

地球惑星科学関連学会 2001年合同大会 口頭発表プログラム

第3日 6月6日(水)午前

会場	C402	C403	C405	C416	C417	C501	C510	C513
9:00	Go:(変形岩・変成岩) 座長:竹下徹	Qm:(第四紀) 座長:鈴木毅彦	S4:(計算機の中の地球惑星) 座長:吉田茂生・中川貴司	Jp:(活動的火山) 座長:中道治久・鬼澤真也	U0:(21世紀の諸問題) 座長:松浦充宏	Ae:(海底に開く窓) 座長:石橋純一郎・金沢敏彦	Eo:(宇宙プラズマ) 座長:白井英之・中林潤哉	Ep:(電離圏・熱圏) 座長:山本衛
	09:25-09:30 あいさつ 09:30-09:45 Go-001 柳井地域領家変成帯の斜方輝石を含む塩基性変成岩 池田剛 09:45-10:00 Go-002 中央ナールカトランドック地域のナックテクトニクス: シングルナック?、ダブルナック? 在田一則, 高須晃 10:00-10:15 Go-003 ヒマラヤの隆起を抑制するMCT帯の正断層運動-ランタン地域の例 高木秀雄, 在田一則, 渥口隆ほか 10:15-10:30 Go-004 マイクロブーティンの産状から変成岩の冷却変形過程を想つ 増田俊明, 木村希生, 原由生子	09:00-09:18 Qm-001 富山県砺波平野南部における河成段丘面の形成年代と変位地形の分布 中村洋介 09:18-09:36 Qm-002 羽田山丘陵で見出された焼岳起源火山泥流堆積物 田村 系子, 山縣 耕太郎, 及川 輝樹ほか 09:36-09:54 Qm-003 上高地の地形発達史-火山活動史- 礫組成から見た梓川上流部の流路変遷- 及川 輝樹 09:54-10:12 Qm-004 糸魚川 静岡構造線活断層系北部セグメントの活動史: 特に断層の周辺に分布する更新統の古地磁気層厚に基づいて 植木 岳雪 10:12-10:30 Qm-005 信濃川中部, 十日町盆地における活断層とその変位速度 金 幸隆	09:00-09:15 S4-001 3次元電磁気不均質構造を持つ地球による電磁誘導過程のシミュレーション 浜野 洋三 09:15-09:30 S4-002 回転流体球内のマグネットコンベクションと地球磁場 桜庭 中 09:30-09:45 S4-003 コア・マントル境界の熱的不均衡による外核の流れの線形応答: エクマン数の効果 吉田 茂生 09:45-10:00 S4-004 D'層の安定性とコア・マントル境界の地形への影響 中川 貴司, 本多 了, 中久喜 伴益ほか 10:00-10:15 S4-005 応力履歴に依存する粘性率を持った流体の熱対流に於けるプレート運動のレジーム 小河 正基 10:15-10:30 S4-006 降伏応力の水平方向変化と過去の降伏の歴史を考慮したマントル対流 本多 了, 中久喜 伴益	09:00-09:15 Jp-013 有珠山の噴火活動のモニタリング(2000年7月-9月)と1995年九重硫黄山水蒸気爆発との比較 福岡 晃一郎, 江原 幸雄, 藤光 康宏ほか 09:15-09:30 Jp-014 噴煙活動の解析に基づく有珠山2000年噴火活動の終息時期予測の試み 福井 敬一 09:30-09:45 Jp-015 有珠山2000年噴火で形成された噴気地帯の火山ガス 大場 武, 平林 順一, 野上 健治ほか 09:45-10:00 Jp-016 有珠火山地域の3次元地震波速度構造 鬼澤 真也, 大島 弘光, 森 清ほか 10:00-10:15 Jp-017 西山新山地における人工地磁探査 大島 弘光, 松本 聡, 松原 由和ほか 10:15-10:30 Jp-018 北海道駒ヶ岳歴史時代噴火のマグマ供給系 高橋 良, 吉本 充宏, 中川 光弘	09:00-09:10 コンビーナ-挨拶(大会委員長 松浦充宏) 09:10-09:30 科学史としてみた20世紀の地球科学 阿部 豊 09:30-10:00 「21世紀に開く地質学の新しい地平」日本地質学会平朝彦 10:00-10:30 「第四紀の高精度換年に向けて-加速器質量分析による高精度14C年代測定」日本第四紀学会 中村俊夫 日本第四紀学会 中村俊夫 10:00-10:15 Ae-005 自己浮上式海底観測機器の問題点とその克服 島村 英紀, 村井 芳夫, 西村 裕一ほか 10:15-10:30 ポスター 口頭発表(P1-P9)	09:00-09:15 Ae-001 相模湾における海底重力測定とハイパードールフィンによる重力計の回収 小泉 金一郎, 西野 実, 藤本 博己ほか 09:15-09:30 Ae-002 海底差圧観測 玉木 崇之, 藤本 博己, 日野 亮太ほか 09:30-09:45 Ae-003 海底湧水流速計の開発 谷口 真人 09:45-10:00 Ae-004 海半球ネットワーク海底孔内地震観測点WVP-1及びWVP-2 篠原 雅尚, 金沢 敏彦, 望月 将志ほか 10:00-10:15 Ae-005 自己浮上式海底観測機器の問題点とその克服 島村 英紀, 村井 芳夫, 西村 裕一ほか 10:15-10:30 ポスター 口頭発表(P1-P9)	09:15-09:30 Eo-001 1999年10月の太陽風動圧変化に対する地球磁気圏の応答のMHDシミュレーション 今井 優司, 朴 京香, 萩野 電樹 09:30-09:45 Eo-002 Three-dimensional instability of reconnection jet in the magnetotail 中村 雅夫, 藤本 正樹, 松本 敏 09:45-10:00 Eo-003 磁気共役点における磁気再結合現象に対する初期By成分の効果(2): 空間構造の南北非対称 中林 潤哉 10:00-10:15 Eo-004 リコネクションジェット先端領域における不安定の流体力学的研究 丹所 良二 10:15-10:30 Eo-005 Three-Dimensional Dynamics of Magnetic Reconnection in Two-Dimensional Equilibria 宮城 幸子, 藤本 正樹, 中村 雅夫	09:00-09:15 Ep-001 電通大において構築中の短波ドップラ観測用送受信システム 富澤 一郎, 柴田 喬, 奥澤 隆志ほか 09:15-09:30 Ep-002 流星および大気発光現象観測用紫外-近赤外線高感度カラービデオカメラの開発 海老塚 昇 09:30-09:45 Ep-003 磁気共役点で受信されたVLF帯電波による磁気圏ダクトの観測 酒井 智弥, 宇治川 智, 島倉 信 09:45-10:00 Ep-004 ブラジル磁気異常帯の光学観測(2) 巻田 和男 10:00-10:15 Ep-005 電離圏の長期観測データの解析 廣瀬 哲也, 野崎 憲則, 丸山 隆ほか 10:15-10:30 Ep-006 レーザー観測から推定されるEs層QPエコーの生成機構 小川 忠彦, 高橋 理, 山本 衛ほか 11:15-11:30 Ep-009 計算機シミュレーションによる中緯度電離圏イレギュラリティの生成に関する研究 横山 竜安, 山本 衛, 深尾 昌一郎 11:30-11:45 Ep-010 ロケット軌跡におけるプラズマ擾乱と軌跡内UHR波動の発生メカニズム 山本 真行, 小野 高幸, 大家 寛 11:45-12:00 Eo-010 EXOS-D(あけぼの)衛星観測によるプラズマ圏波動粒子相互作用に関する研究 白井 英之, 小野 高幸, 大家 寛 12:00-12:15 Ep-011 WAVE2000キャンペーンで観測された電子密度分布の形成機構について 吉村 玲子, 岩上 直幹, 村山 泰啓ほか 12:00-12:15 Ep-012 GEONET全電子数観測による大規模広域性電離圏擾乱の統計的研究 津川 卓也, 齊藤 昭則, 大塚 雄一ほか
10:45	Go:(変形岩・変成岩) 座長:池田剛	Qm:(第四紀) 座長:中村俊夫	S4:(計算機の中の地球惑星) 座長:竹内希・奥野淳一	Jp:(活動的火山) 座長:中道治久・鬼澤真也	U0:(21世紀の諸問題) 座長:松浦充宏	Ae:(海底に開く窓) 座長:島村英紀・田所敬一	Eo:(宇宙プラズマ) 座長:白井英之・中林潤哉	Ep:(電離圏・熱圏) 座長:藤原均
	10:45-11:00 Go-005 石英の微細構造から推察される変形物理条件: 三波川帯上昇テクトニクスへの応用 竹下 徹 11:00-11:15 Go-006 天然の組成を用いた角閃石の活動度の最適解 岡本 敦, 鳥海 光弘 11:15-11:30 Go-007 ザク石の化学組成累帯構造形成の前進モデル 乾 乾子 11:30-11:45 Go-008 P-T-D-R pathとオロゲンの進化 鳥海 光弘 11:45-12:00 Go-009 沈み込み帯における火成-変成作用の温度 圧力場と変形場 岩森 光	10:45-11:03 Qm-006 飛騨山脈における水成堆積物のルミネッセンス年代測定 近藤 玲介, 塚本 すみ子, 岩田 修二 11:03-11:21 Qm-007 Single grain法によるTL年代測定の基礎的研究 林下 京子, 印牧 もとこ, 遠藤 邦彦 11:21-11:39 Qm-008 石英格子欠陥中心のUV照射による減衰特性: 堆積年代測定のための基礎 福地 龍郎, 西村 剛志 11:39-11:57 Qm-009 鳥海 光弘 石英を用いた神津島流紋岩のESR(電子スピン共鳴)年代測定と風化による放射性元素の損出が年代算出に与える影響の評価 横山 正, 豊田 新 11:57-12:15 Qm-010 始良Tn火山灰のC-14年代のクロスチェック 宮入 陽介, 吉田 邦夫, 宮崎 ゆみ子ほか	10:45-11:00 S4-007 Direct Solution法を用いた理論地震波形の3次元構造に対する偏微分係数計算の効率の改善について 原 辰彦 11:00-11:15 S4-008 グリッド間に不連続面のある媒質に対する高精度理論波形状計算手法の定式化 水谷 宏光, Geller, Robert J., 竹内 希 11:15-11:30 S4-009 数値グリッド上でない点震源に対する高精度理論波形状計算手法の定式化 竹内 希, Geller, Robert J. 11:30-11:45 S4-010 3次元動弾性解析のための領域分割型ボクセル有限要素法 藤原 広行, 藤枝 忠臣 11:45-12:00 S4-011 氷床サイクルに伴う極移動: 670km密度不連続面とリソスフェアの粘性率の役割 中田 正夫 12:00-12:15 S4-012 1998年南極地震と post-glacial reboundの関係 奥野 淳一, 中田 正夫	10:45-11:00 Jp-019 北海道駒ヶ岳2000年噴火: その推移と意味 中川 光弘, 野上 健治, 石塚 吉浩ほか 11:00-11:15 Jp-020 低周波地震と地震波速度構造から推定された岩手山の深部マグマ活動 中道 治久, 浜口 博之, 田中 聡ほか 11:15-11:30 Jp-021 2000年岩手山人工地震探査-実験の概要- 浜口 博之, 岩手山構造探査グループ 11:30-11:45 Jp-022 2000年岩手山人工地震探査-3次元P波速度構造- 田中 聡, 宮町 宏樹, 岡井 智樹ほか 11:45-12:00 Jp-023 岩手山における人工地震を用いた速度変化検出の試み(その2) 山脇 輝夫, 浜口 博之 12:00-12:15 Jp-024 磐梯山で観測された長周期成分を含む火山性微動の活動 西村 太志, 植木 貞人, 浜口 博之	10:45-11:15 地震学の新たな展開-固体地球科学の深化と地震災害軽減への貢献 入倉 次郎 11:15-11:45 火山学のこれから 千葉ととき 11:45-12:15 地球測地学から惑星測地学へ-意義, 可能性 瀬川 潤朗 10:45-11:10 Ae-006 海底の高精度位置計測 浅田 昭, 矢吹 哲一朗 11:10-11:25 Ae-007 The long distance Kinematic GPS positioning for the observation of sea bottom crustal movements 浅吹 哲一朗, 浅田 昭, Colombo, Oscar L. 11:25-11:45 Ae-008 海底地殻変動の将来計画 安藤 雅孝, 田所 敬一, 藤井 直之ほか 11:45-12:00 Ae-009 ハワイ島の海底地滑りモニタリング- スクリップス海洋研の取り組み 藤本 博己, 長田 幸仁, Hildebrand, John A.ほか 12:00-12:15 Ae-010 海底地殻変動観測システム- kinematic GPS解析による船位測定の精度評価- 三浦 哲, 藤本 博己, 日野 亮太ほか	10:45-11:00 Eo-006 太陽圏と金星非磁化電離圏との相互作用のグローバルハイブリッドシミュレーション: 太陽風イオンの電離圏入射角分布 寺田 直樹, 町田 忍, 品川 裕之 11:00-11:15 Eo-007 電子慣性の効果を含む新しい磁気流体コードの開発 林 大輔, 藤本 正樹 11:15-11:30 Eo-008 プラズマ中和器を用いた宇宙機の帯電緩和に関する計算機実験 白井 英之, 安木 慎, 松本 敏ほか 11:30-11:45 Eo-009 ロケット軌跡におけるプラズマ擾乱と軌跡内UHR波動の発生メカニズム 山本 真行, 小野 高幸, 大家 寛 11:45-12:00 Eo-010 EXOS-D(あけぼの)衛星観測によるプラズマ圏波動粒子相互作用に関する研究 白井 英之, 小野 高幸, 大家 寛 12:00-12:15 Eo-011 SCに伴う磁気圏内プラズマ波動擾乱域の発生と伝播に関する研究 新堀 淳樹, 小野 高幸, 大家 寛	10:45-11:00 Ep-007 赤道域シンチレーション発生の地磁気活動依存性 鏡 裕行, 菅良 尚紀, 五十嵐 晋也 11:00-11:15 Ep-008 レーダー観測から推定されるEs層QPエコーの生成機構 小川 忠彦, 高橋 理, 山本 衛ほか 11:15-11:30 Ep-009 計算機シミュレーションによる中緯度電離圏イレギュラリティの生成に関する研究 横山 竜安, 山本 衛, 深尾 昌一郎 11:30-11:45 Ep-010 ロケット軌跡におけるプラズマ擾乱と軌跡内UHR波動の発生メカニズム 山本 真行, 小野 高幸, 大家 寛 11:45-12:00 Eo-010 EXOS-D(あけぼの)衛星観測によるプラズマ圏波動粒子相互作用に関する研究 白井 英之, 小野 高幸, 大家 寛 12:00-12:15 Ep-011 WAVE2000キャンペーンで観測された電子密度分布の形成機構について 吉村 玲子, 岩上 直幹, 村山 泰啓ほか 12:00-12:15 Ep-012 GEONET全電子数観測による大規模広域性電離圏擾乱の統計的研究 津川 卓也, 齊藤 昭則, 大塚 雄一ほか	

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会 口頭発表プログラム

第 3 日 6 月 6 日 (水) 午後

会場	IC	C101	C102	C108	C309	C310	C311	C401
13:30	S3:(鳥取県西部地震) 座長:若田知孝	Jo:(地殻変動) 座長:深川幸俊	Eq:(地球内部電磁気学) 座長:上嶋誠・市來雅啓	G0:(海洋性島弧の発生と進化) 座長:湯浅真人	P3:(月) 座長:大竹真紀子	Aa:(惑星大気圏・電磁圏) 座長:今村剛	St:(地震予知) 座長:藤森邦夫	Ad:(宇宙惑星物質進化) 座長:北村良美・橋元明彦
	13:30-13:48 S3-021 2000年鳥取県西部地震の震源近傍強震動シミュレーション 若田 知孝, 三宅 弘恵, 関口 春子ほか 13:48-14:06 S3-022 経験的グリーン関数法を用いた2000年鳥取県西部地震の震源の特性化と強震動シミュレーション 池田 隆明, 釜江 克宏, 三輪 滋ほか 14:06-14:24 S3-023 2000年鳥取県西部地震時の震源断層近傍における基底地震の推定と神戸基盤波との比較 永野 正行, 加藤 研一, 武村 雅之 14:24-14:42 S3-024 鳥取県西部地震の余震記録によるウケ浜半島の基底構造の推定 吉川 大智, 盛川 仁, 赤松 純平ほか 14:42-15:00 S3-025 鳥取県西部地震余震観測:日野町下郷地区の地震動増幅特性と木造建物被害 松波 孝治, 藤原 佛三, 森井 雄史	13:30-13:48 Jo-010 空港座標管理システムによって検出された特異な位置変化 藤井 陽一郎, 田中 穰 13:48-14:06 Jo-011 岩手火山周辺で観測された傾斜データへの歪混入とクロスカップリング補正 佐藤 峰司, 三正 正明, 浜口 博之 14:06-14:24 Jo-012 Crustal deformation at Miyakejima Volcano on June 26 - June 27, 2000 obtained from kinematics GPS method. Meilano, Irwan, 木股 文昭, 藤井 直之ほか 14:24-14:42 Jo-013 球体 Dislocation理論と地球の曲率及び成層構造の影響に関する研究 - 点震源の場合 孫 文科, 大久保 修平 14:42-15:00 Jo-014 粘弾性応答関数を用いた地殻変動データのインバージョン解析 - その2: 先験的拘束条件の選択と解の関係 深川 幸俊, 松浦 充宏	13:30-13:45 Eq-006 日本列島付近のSqの位相のずれについて 市來 雅啓, 歌田 久司, 小山 泰夫 13:45-14:00 Eq-007 GEOMAGNETIC INDUCTION BY Sq ALONG THE 210°0 MAGNETIC MERIDIAN Enamundram, Chandrasekhar, 大志 万直人, 湯元 清文 14:00-14:15 Eq-008 淡路島における電磁気観測 望月 英志, 角村 悟, 山田 雄二ほか 14:15-14:30 Eq-009 淡路島の電磁場ノイズの周期特性 藤井 郁子, 山田 雄二, 角村 悟ほか 14:30-14:45 Eq-010 九州におけるネットワークMT観測(第4報) 上嶋 誠, 市來 雅啓, 橋本 武志ほか 14:45-15:00 Eq-011 伊豆大島 伊東間海底ケーブルによる電磁界変動観測 藤嶋 幸雄, 松本 拓己, 高橋 耕三ほか	13:35-13:55 G0-001 伊豆・小笠原弧の基底リソスフェアの性質とその起源:大町海山の蛇紋岩 新井田 清信, 湯浅 真人, 西村 昭ほか 13:55-14:15 G0-002 伊豆・小笠原弧、端緒岩構造線周辺の地形・地質学的特徴 坂本 泉, 富士原 敬也, 石塚 治 14:15-14:35 G0-003 北部伊豆・小笠原弧, 延宝海山列における背弧雁行海山列の火成活動 町田 嗣樹, 石井 輝秋 14:35-14:55 G0-004 海形海山の火山地質再調査 熊谷 英憲, 土田 真二, 石橋 謙一郎ほか 14:55-15:00 ポスター 概要発表	13:30-13:43 P3-006 Global lunar gravity field recovery for SELENE (I) van der Meulen, Wencke, 松本 晃治, 日置 幸介 13:43-13:56 P3-007 Global lunar gravity field recovery for SELENE (II) 松本 晃治, van der Meulen, Wencke, 日置 幸介 13:56-14:09 P3-008 LUNAR-A ミッションの概要 白石 浩章, 山下 靖幸, 田中 智ほか 14:09-14:22 P3-009 LUNAR-A・ベネトレータによる月熱流量計測システムと開発の現状 田中 智, 吉田 信介, 白石 浩章ほか 14:22-14:35 P3-010 LUNAR-A月震計測実験の概要と現状 村上 英記, 石原 靖, 小林 直樹ほか 14:35-14:48 P3-011 月の地盤構造の解明及び月震が月面構造物に与える影響の研究 芝浦工業大学 土木工学科	13:30-13:48 Aa-014 火星における大気潮汐波の数値シミュレーション 高橋 芳幸, 藤原 均, 福西 浩 13:48-14:06 Aa-015 火星大気対流の2次元数値計算:対流の風によるガスの巻き上げ 小高 正嗣, 中島 健介, 石渡 正樹ほか 14:06-14:24 Aa-016 CCSR/NIES AGCMを用いた火星大気シミュレーション 黒田 剛史 14:24-14:42 Aa-017 イオプラズマトラスの撮像観測 野澤 宏大, 三澤 浩昭, 高橋 慎ほか 14:42-15:00 Aa-018 衛星イオ近傍領域におけるナトリウム雲分布の研究 野澤 宏大ほか 14:48-15:00 POSTER:P8-P11	13:30-13:45 St-001 2001年兵庫県北部地震の活動予測の試み 山科 健一郎 13:45-14:00 St-002 中規模地震前の微小地震b値低下-関東地域の地震について- 井元 政二郎 14:00-14:15 St-003 東海地域における近年の地殻変動及び地震活動の変化についての数値シミュレーションによる検討 有吉 貴久, 加藤 尚之, 長谷川 昭 14:15-14:30 St-004 地震予知の可能性 藤森 邦夫, 向井 厚志 14:30-14:45 St-005 ギリシャ国におけるVANの「認知」過程(序) 岡分 桂子, 須藤 研 14:45-15:00 St-006 超低周波地電場振幅時系列と地震発生の因果関係についての点過程モデルによる解析 荘 建倉, 尾形 良彦, 丸 麗	13:30-13:42 Ad-011 組成の異なる結晶質バイロキシンの赤外線スペクトル 茅原 弘毅, 小池 千代枝, 土山 明 13:42-13:54 Ad-012 バルス超音速自由噴流中でのStep-Scanフーリエ変換吸収分光 平林 慎一, 平原 靖大 13:54-14:06 Ad-013 Mn-Cr法を用いたIIIAB鉄隕石の年代測定 星野 宏和, 杉浦 直治 14:06-14:18 Ad-014 Kennaクレイライト中の炭素質化合物の顕微レーザーラマンイメージング 村江 達士 14:18-14:43 Ad-015 宇宙赤外線天文台ISOによる星周ダストの観測 山村 一誠 14:43-15:00 Ad-016 プレソラー・グレインの生成 山本 哲生
15:15	S3:(鳥取県西部地震) 座長:吉岡敏和	Jo:(地殻変動) 座長:五十嵐丈二	Eq:(地球内部電磁気学) 座長:大志万直人・坂中伸也	G0:(海洋性島弧の発生と進化) 座長:坂本泉	P3:(月) 座長:岡田達明	Aa:(惑星大気圏・電磁圏) 座長:小野高幸	Su:(地震一般) 座長:森井互	
	15:15-15:33 S3-026 2000年10月6日鳥取県西部地震による液状化現象 林 聡明, 狩野 謙一, 丸山 正 15:33-15:51 S3-027 鳥取県西部地震により発生した境港市竹内工業団地の液状化について 平田 由紀子 15:51-16:31 ポスター 概要発表	15:15-15:33 Jo-015 地殻応力の臨界状態の検出-東海地方の測地データを例に- 五十嵐 丈二 15:33-15:51 Jo-016 応力原位置測定のためのブレイクアウト法適用条件の確立と同法を用いた地殻応力方位の解析-北海道基礎試験群における事例- 高山 徳次郎 15:51-16:09 Jo-017 造塊地域における地殻変動異常モードの検出 田中 穰	15:15-15:30 Eq-012 辺要素有限要素法を用いた3-D球体に対する電磁誘導シミュレーションについて-解の比較- 吉村 令慧, 大志 万直人 15:30-15:45 Eq-013 応力地磁気変化の地形による影響(2) 坂中 伸也 15:45-16:00 Eq-014 地殻岩石の圧電性によるコサイスミックな電磁場変動の評価:有限断層運動の場合のケース・スタディ 小河 勉, 歌田 久司 16:00-16:15 Eq-015 高安定鉛・塩化鉛()非分極電極の開発 領木 邦浩, かぎ 谷 知, 白重 誠 16:15-16:30 Eq-016 地殻内温度・圧力条件下のグラニユライトの電気伝導度測定 藤田 清士, 桂 智男, 新名 亨 16:30-16:45 Eq-017 花崗岩折曲げ破砕時に発生する電気パルス(3) 富澤 一郎, 中山 慎一郎	15:15-15:35 G0-005 駒橋第二海山及び丹沢地塊産トナライト質深成岩体の岩石学的比較研究 - 岩石学的差異・島弧地殻発達・テクトニクス - 原口 悟, 石井 輝秋 15:35-15:55 G0-006 小笠原諸島母島島嶼に分布する高Mg玄武岩類のSr・Nd同位体組成の多様性について 前原 恒祐, 前田 仁一郎 15:55-16:15 G0-007 IBM - 初期島弧 - ボニナイト - 鍵はオマーンオフィオライトにあり? 海野 進, 石川 剛志, 永石 一弥 16:15-16:35 G0-008 IBM as a principal research target of IFREE 巽 好幸, 田村 芳彦	15:15-15:28 P3-012 月面天測望遠鏡(ILOM)の開発と技術的課題 花田 英夫, 坪川 恒也, 日置 幸介ほか 15:28-15:41 P3-013 惑星測地の対象と手法 荒木 博志, 日置 幸介, 花田 英夫 15:41-15:54 P3-014 マスコン再考 菅野 貴之, 日置 幸介 15:54-16:07 P3-015 原始月円盤におけるダストの沈降 町田 亮介, 阿部 豊 16:07-16:20 P3-016 月周辺におけるpick up ion 二 六 喜文, 町田 忍, 高藤 義文ほか 16:20-16:33 P3-017 月面の光散乱関数:クレメンタイン画像解析によるモデル適用性と波長・地質依存性の検討 横田 康弘, 本田 理恵, 飯島 祐一ほか 16:33-16:45 POSTER:P12-P15	15:15-15:33 Aa-019 Jovian Anomalous Continuum (JAC) 放射の出現特性とその放射メカニズム 湯浅 健志, 森岡 昭, 三澤 浩昭ほか 15:33-15:51 Aa-020 GEONET TECデータを用いた、木星電波干渉計用TEC変動推定手法の開発 大矢 克, 中城 智之, 小野 高幸ほか 15:51-16:09 Aa-021 自動処理による木星デカメータ電波アーク構造の画像解析 服部 真, 小野 高幸 16:09-16:27 Aa-022 モジュレーションレーン法による木星デカメータ電波電波源の超微細構造の測定 今井 一雅, 亀田 千絵 16:27-16:45 Aa-023 新たに設立された惑星電波観測用大型メートル・デシメートル帯電波望遠鏡装置 三澤 浩昭, 森岡 昭, 土屋 史紀ほか	15:15-15:29 Su-001 遠隔地で発生する地震の高精度の震源決定法について 高山 博之, 関田 康雄, 長谷川 洋平ほか 15:30-15:44 Su-002 短周期地震計アレイによる阿蘇山火山性微動の震源決定 高木 惠朗, 金嶋 聡 15:45-15:59 Su-003 常時地球自由振動の日変化パターンとの季節変動について 森井 互	

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

会場	C402	C403	C405	C416	C417	C501	C510	C513
13:30	<p>Gp:(深成岩・マグマ) 座長:川野良信</p> <p>13:30-13:45 Gp-001 古期頤家花崗岩類/新期頤家花崗岩類の今時の意味 中島 隆</p> <p>13:45-14:00 Gp-002 北上帯のアダカイト質花崗岩類の成因と大陸地殻の急速な成長 土谷 信高, 木村 純一, 加々美 真雄</p> <p>14:00-14:15 Gp-003 カナダ橋状地スベリオル地帯ウビゲン帯北西部(約2.7Ga)シヨシヨナイトの成因 氏家 治</p> <p>14:15-14:30 Gp-004 丹沢トナル岩体の貫入メカニズム 金丸 龍夫, 高橋 正樹</p> <p>14:30-14:45 Gp-005 新潟県北部, 蒲島山塊における花崗岩質複合岩体(岩船花崗岩類)の形成と進化 加々島 慎一</p> <p>14:45-15:00 ポスター概要発表 1ポスター当たり2分</p>	<p>Cm:(アーキアンパーク計画) 座長:島仲和・丸茂克美 石井浩介</p> <p>13:30-14:00 Cm-001 アーキアン・パーク計画(海底熱水系における生物・地質相互作用の解明に関する国際共同研究)の目指すもの 浦辺 徹郎, 島 仲和, 石橋 純一郎ほか</p> <p>14:00-14:12 Cm-002 水曜海山熱水系の表面堆積物中全脂酸組成からみた生物地球化学的環境 山中 寿朗, 横尾 頼子, 浦辺 徹郎ほか</p> <p>14:12-14:24 Cm-003 海底火山で観測される地震 - 伊豆小笠原弧水曜海山の例 海宝 由佳, 西澤 あずさ</p> <p>14:24-14:36 Cm-004 伊豆小笠原弧、水曜海山における高温熱水活動の地球化学的特徴 石橋 純一郎, 上妻 史宣, 角首 潤ほか</p> <p>14:36-14:48 Cm-005 伊豆小笠原弧、海形海山における低温熱水活動の地球化学的特徴 岸田 剛一, 石橋 純一郎, 岡村 慶ほか</p> <p>14:48-15:00 Cm-006 中央海嶺の熱水系の数値シミュレーション:海水の相分離に注目して 川田 佳史, 吉田 茂生, 渡邊 誠一郎</p>	<p>S4:(計算機の中の地球惑星) 座長:本間高弘・村上裕</p> <p>13:30-13:45 S4-013 プリウム存在によるマントル内電気伝導度の異常分布で誘導される磁場の数値シミュレーションの目指すもの 田島 文子, 松元 亮治, Chou, Wenchien</p> <p>13:45-14:00 S4-014 数値シミュレーションによる地殻の強度分布の考察 村上 裕</p> <p>14:00-14:15 S4-015 三角形要素を用いた半解析的境界積分方程式法で3次元電磁動力学問題を解くには 多田 卓</p> <p>14:15-14:30 S4-016 固体地球シミュレーション並列ソフトウェアの開発(その1):非線形接触問題としての岩石実験シミュレーション 本間 高弘, Xing, Huitlin, 宮村 倫司ほか</p> <p>14:30-14:45 S4-017 固体地球シミュレーション並列ソフトウェアの開発(その2):地殻データの管理・編集のための地殻データベースシステム 大石 善雄, 金井 素, 牧野内 昭武ほか</p> <p>14:45-15:00 S4-018 固体地球シミュレーション並列ソフトウェアの開発(その3):地殻CADシステムによるシミュレーションとの接続 金井 素, 大石 善雄, 牧野内 昭武ほか</p>	<p>Jp:(活動的火山) 座長:丸茂健・藤光康宏</p> <p>13:30-13:45 Jp-025 富士山の最近の地震活動 気象庁地震火山部</p> <p>13:45-14:00 Jp-026 富士山の深部低周波地震活動 鶴川 元雄, 藤田 英輔, 菊池 昌江</p> <p>14:00-14:15 Jp-027 Mapping the b-value beneath Mt. Fuji volcano: Indication for magma at 12-14 km depth Wiemer, Stefan, 吉田 明夫, 細野 耕司</p> <p>14:15-14:30 Jp-028 1998年伊豆東方沖群発地震活動の震源過程 - 高精度震源分布からの推定 林 能成, 森田 裕一</p> <p>14:30-14:45 Jp-029 高精度震源分布と地殻変動データから推定した1998年伊豆東方沖群発活動のダイク貫入モデル 森田 裕一, 中尾 茂, 林 能成</p> <p>14:45-15:00 Jp-030 雲仙火山の熱的観測と火道冷却状態の推定 藤光 康宏, 江原 幸雄, 西島 潤</p>	<p>U0:(21世紀の諸問題) 座長:阿部豊</p> <p>13:30-14:00 惑星系研究 - 実証・発見の時代へ 井田 茂</p> <p>14:00-14:30 地球電磁気学・超高層物理学・太陽惑星物理学の発展 荒木 徹</p> <p>14:30-15:00 地球化学における二つの課題 - 時間自盛りと反応プロセス 松久 幸敏</p> <p>15:15-15:45 確率差分モデルを利用した波動観測データからのプラズマ圏電子密度分布推定法 佐藤 由貴, 笠原 禎也, 有馬 眞</p> <p>15:45-16:15 物質大循環と地殻・マンツルの進化 メタロジェネシスとバイオジェネシス:環境進化史的背景と因果連鎖の統合理解に向けて 梶原 良道</p> <p>16:15-16:45 桜島火山周辺の重力測定における海洋潮汐補正 山本 圭吾, 大久保 修平, 石原 和弘ほか</p> <p>16:30-16:45 桜島火山における爆発地殻の震源過程と爆発的噴火の力学過程 丸茂 健, 井口 正人, 石原 和弘</p>	<p>Er:(磁気圏物理) 座長:笠原禎也</p> <p>13:30-13:45 Er-001 中緯度地磁気擾乱指数ASYの意味およびその特性 家森 俊彦, 山下 哲, 中野 慎也</p> <p>13:45-14:00 Er-002 Dst, AE 指数の算出状況とQL指数 亀井 豊永, 杉浦 正久, 荒木 徹ほか</p> <p>14:00-14:15 Er-003 A statistical study of geomagnetic disturbances in terms of probabilistic nonlinear processes 渡辺 佑治, 白井 仁人, 上出 洋介</p> <p>14:15-14:30 Er-004 カスプ・LLBL領域の過渡現象に伴うPc1波動の励起機構 福西 浩, 片岡 龍峰, Lanzerotti, Louis J.</p> <p>14:30-14:45 Er-005 磁気インパルス現象の発生と太陽風不連続の関係 片岡 龍峰, 福西 浩, Lanzerotti, Louis J.ほか</p> <p>14:45-15:00 Er-006 磁気嵐に伴う放射線帯外帯近傍のコーラスの強度変化と到来方向に関する研究 内山 宏樹, 後藤 由貴, 笠原 禎也ほか</p>	<p>Eo:(宇宙プラズマ) 座長:上野玄太・中村匡</p> <p>13:30-13:45 Eo-012 GEOTIL衛星とPOLAR衛星によるbanded AKRの観測とその生成機構 橋本 弘敏, 松本 紘, Anderson, Roger R.</p> <p>13:45-14:00 Eo-013 静電孤立波からの電磁波放射射に関する二次元計算機実験 梅田 隆行, 大村 善治, 白井 英之ほか</p> <p>14:00-14:15 Eo-014 任意の分布関数に対する線形分散関係の算出法 中村 匡</p> <p>14:15-14:30 Eo-015 MHDパルスと荷電粒子の非線形相互作用 蔵浦 康浩, 羽田 亨</p> <p>14:30-14:45 Eo-016 プラズマ中の電子・イオンビーム不安定性によって生成されるポテンシャル構造 大村 善治, 二宮 啓輔, 梅田 隆行ほか</p> <p>14:45-15:00 Eo-017 宇宙空間のある磁場中でのゆらぎの垂直拡散: パーコレーション統計 大塚 史子, 羽田 亨</p>	<p>Ep:(電離圏・熱圏) 座長:久保田実</p> <p>13:30-13:45 Ep-013 信索のファブリ・ペロー分光計による熱圏・中間圏の風速・温度観測の現状 - 4 塩川 和夫, 門田 拓郎, 江尻 省ほか</p> <p>13:45-14:00 Ep-014 630.0nm大気光イオンリング観測データを用いた中緯度TID活動度の季節変化 猪原 智昭, 塩川 和夫, 大塚 雄一ほか</p> <p>14:00-14:15 Ep-015 アラスカにおける全天イオンリング観測によって得られた大気光波長構造の解析 - アラスカプロジェクトASI報告その2 - 久保田 実, 石井 守, 村山 泰啓</p> <p>14:15-14:30 Ep-016 中緯度電離圏の年変化に及ぼす中性大気風の影響 川村 誠治, Balan, Nanan, 大塚 雄一ほか</p> <p>14:30-14:45 Ep-017 Simultaneous Mesosphere and Thermosphere Observations Balan, Nanan, 川村 誠治, 中村 卓司ほか</p> <p>14:45-15:00 Ep-018 電離圏高度での準2日周期波の空間構造について 山田 雄二, 竹田 雅彦</p>
	15:15	<p>Gr:(地球年代学) 座長:板谷徹丸</p> <p>15:15-15:35 Gr-001 シュードタキライトのESR年代測定 豊田 新, 高見 玄太, 高木 秀雄ほか</p> <p>15:35-15:55 Gr-002 チョモランマ、イエローバンドの成白雲母の40Ar-39Ar, Rb-Sr年代 瀧上 豊, 酒井 治孝, 折橋 裕二</p> <p>15:55-16:15 Gr-003 断層ガウジ中の雲母粘土鉱物におけるK-Ar年代の意義と問題点 淡路 勲太, 岩村 陽, 高木 秀雄ほか</p> <p>16:15-16:35 Gr-004 宮崎県高千穂町上村のペルム系岩層および三田井層の層序:古海山頂部の石灰岩に記録された超海洋環境 太田 彩乃, 磯崎 行雄</p> <p>16:35-16:45 ポスター概要発表</p>	<p>Cm:(アーキアンパーク計画) 座長:石橋純一郎・丸山明彦 山中寿朗</p> <p>15:15-15:27 Cm-007 コントロールソースを用いた海底電磁気探査装置の開発(1) 島 仲和, 下泉 政志, 松田 滋夫ほか</p> <p>15:27-15:39 Cm-008 32億年前、熱水起源黒色頁岩/錳鉄鉱層とバクテリアの産状 - 西オーストラリア・ビルバラ・クリパール層群の例 - 清川 昌一, 池原 実, 前橋 千里ほか</p> <p>15:39-15:54 Cm-009 深海底熱水微生物群集と熱水孔下微生物圏及びHyperSLIME 高井 研, 稲垣 史生</p> <p>15:54-16:06 Cm-010 AP計画による北海道豊羽鉱山での陸上掘削の概要 丸茂 克美</p> <p>16:06-16:18 Cm-011 北海道豊羽鉱山の熱水中硫黄種を介した無機生物の硫化鉱物形成:バイオモダルの硫黄安定同位体組成 掛川 武</p> <p>16:18-16:30 Cm-012 北海道豊羽鉱山熱水変質岩中のリン及び生体微量元素の熱水変質時に伴う挙動 野田 雅一, 掛川 武</p> <p>16:30-16:45 Cm-013 豊羽鉱山地下熱水環境中の微生物群集解析 東 陽介, 丸山 明彦</p>	<p>Jp:(活動的火山) 座長:丸茂健・藤光康宏</p> <p>15:15-15:30 Jp-031 雲仙火山における地殻内地震波反射面 栗山 都, 松本 聡, 松島 健ほか</p> <p>15:30-15:45 Jp-032 差分走時計算に基づく雲仙火山浅部3次元P波速度構造の推定 相澤 幸司, 戸松 稔貴, 熊谷 博ほか</p> <p>15:45-16:00 Jp-033 雲仙山下におけるマグマ溜りの3次元構造 浅森 浩一, 趙 大鵬</p> <p>16:00-16:15 Jp-034 霧島火山浅部の3次元地震波速度構造 西澤, 石原 和弘</p> <p>16:15-16:30 Jp-035 桜島火山周辺の重力測定における海洋潮汐補正 山本 圭吾, 大久保 修平, 石原 和弘ほか</p> <p>16:30-16:45 Jp-036 桜島火山における爆発地殻の震源過程と爆発的噴火の力学過程 丸茂 健, 井口 正人, 石原 和弘</p>	<p>U0:(21世紀の諸問題) 座長:阿部豊</p> <p>15:15-15:45 確率差分モデルを利用した波動観測データからのプラズマ圏電子密度分布推定法 佐藤 由貴, 笠原 禎也, 有馬 眞</p> <p>15:45-16:15 物質大循環と地殻・マンツルの進化 メタロジェネシスとバイオジェネシス:環境進化史的背景と因果連鎖の統合理解に向けて 梶原 良道</p> <p>16:15-16:45 桜島火山周辺の重力測定における海洋潮汐補正 山本 圭吾, 大久保 修平, 石原 和弘ほか</p> <p>16:30-16:45 桜島火山における爆発地殻の震源過程と爆発的噴火の力学過程 丸茂 健, 井口 正人, 石原 和弘</p>	<p>Er:(磁気圏物理) 座長:白井仁人</p> <p>15:15-15:30 Er-007 確率差分モデルを利用した波動観測データからのプラズマ圏電子密度分布推定法 佐藤 由貴, 笠原 禎也, 有馬 眞</p> <p>15:30-15:45 Er-008 AKEBONO衛星データ解析に基づく地球プラズマ圏密度構造の変動に関する検討 辻 健夫, 小野 高幸, 大家 寛</p> <p>15:45-16:00 Er-009 磁気嵐時のプラズマ圏電子温度変動について 今川 隆司, 阿部 琢美, 小山 孝一郎</p> <p>16:00-16:15 Er-010 "ロバの耳"現象に伴う電磁波放射の発生領域について 佐藤 学, 小野 高幸, 大家 寛ほか</p> <p>16:15-16:30 Er-011 GEOTAIL衛星によるマグネトシース及びハウショック近傍におけるプラズマ波動の特性 新造一, 松本 紘, 小嶋 浩嗣ほか</p> <p>16:30-16:45 Er-012 地球磁気圏パウショック上流領域における波動励起に関する計算機実験 岩田 元希, 松本 紘, 小嶋 浩嗣</p>	<p>Eo:(宇宙プラズマ) 座長:上野玄太・中村匡</p> <p>15:15-15:30 Eo-018 低域温成帯ドリフト波不安定性における磁場湾曲の効果 上野 玄太</p> <p>15:30-15:45 Eo-019 自己励起ホイスターモードサイドバンド波を生成する準共鳴電流の位相合成 田池 慎</p> <p>15:45-16:00 Eo-020 天体シミュレーションラポラトリーの構築 松元 亮治, 中村 賢仁, ネットラポラトリーチーム</p> <p>16:00-16:15 Eo-021 Generation of non-thermal particles in reconnection of e+e- plasmas 鎌谷 誠司, 星野 真弘</p> <p>16:15-16:30 Eo-022 相対論的リング分布により励起されるk=0モードの準安定平衡状態 松浦 修一, 羽田 亨</p> <p>16:30-16:45 Eo-023 原始星周辺における高温プラズマ流形成の磁気流体数値実験 林 満, 柴田 一成, 松元 亮治</p>	<p>Ep:(電離圏・熱圏) 座長:大山伸一郎</p> <p>15:15-15:30 Ep-019 ニューラルネットワークによる宇宙電波雑音強度からの上層電離圏電子密度推定 丸山 隆</p> <p>15:30-15:45 Ep-020 極域上部熱圏における鉛直風の発生 - 2 - オールラオパールの位置との関係 - 大山 伸一郎, 石井 守, 島川 裕之ほか</p> <p>15:45-16:00 Ep-021 極域電離圏電流の位置と下部熱圏鉛直風の関係 石井 守, Conde, Mark, Krynicki, Matthew P.ほか</p> <p>16:00-16:15 Ep-022 極域熱圏鉛直風のグローバル構造のモデリング 島川 裕之, 大山 伸一郎, 石井 守</p> <p>16:15-16:30 Ep-023 EISCAT Tromsø レーダーとSvalbard レーダーで測定されたイオン温度と中性温度の比較 前田 佐和子, 野澤 徳徳, 杉野 正彦</p> <p>16:30-16:45 Ep-024 オーロラ電子・プロトンの降り込みによる熱圏大気加熱のモデリング 藤原 均, 鈴木 美譽, 前田 佐和子ほか</p>

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会 口頭発表プログラム

第 4 日 6 月 7 日 (木) 午前

会場	IC	C101	C102	C309	C310	C311	C401	C402
	Af:(地球内部科学) 座長:鈴木敏弘		Sw:(地盤構造・地盤 震動) 座長:早川崇	Pm:(惑星科学) 座長:田近英一	V0:(三宅島噴火) 座長:中田節也・木股文昭 宇平幸一	Co:(固体地球化学・ 惑星化学) 座長:橋爪光・鈴木勝彦	Es:(地磁気・古地磁気) 座長:田中秀文	Eu:(磁気圏電離圏結合) 座長:門倉昭・菊池雅行 浅村和史
9:00	09:00-09:18 Af-001 カップリング振動モデル に基づく共振周波数の荷 重補正法II 米田 明 09:18-09:36 Af-002 ウルトラマイクローム法 による超高圧物質の電顕 解析 藤野 清志, 佐々木 洋平, 小森 豊久ほか 09:36-09:54 Af-003 CaOの状態方程式に基づ くCaSiO ₃ -perovskiteの圧 力分解の検討 山中 高光, 永井 隆哉, 橋高 弘一 09:54-10:12 Af-004 下部マントル物質の溶融 実験 伊藤 英司, 久保 敦, 桂 智男ほか 10:12-10:30 Af-005 外熱式ダイアモンドアン ビルセルを用いた安山岩 質メルトとH ₂ Oフリード の混和現象のその場観察 川本 竜彦, 松野 香子		09:00-09:15 Sw-001 微動データを用いた分散 曲線解析手法の再検討: 円過程解析法の実用性を 吟味するための数値実験 長 郁夫 09:15-09:30 Sw-002 周波数波数パワースペク トル特性とコヒーレンス から推定される位相速度 との関係について 早川 崇, 佐藤 俊明 09:30-09:45 Sw-003 堆積層のS波速度構造の推 定における Receiver Functionの逆解析の適用性 の検討 黒瀬 健, 山中 浩明 09:45-10:00 Sw-004 鳥取平野における微動 アレー観測・稠密重力調 査と地盤構造 野口 竜也, 西田 良平 10:00-10:15 Sw-005 重力異常と脈動を用いた トルコ・アダバザル周辺 の地盤構造について 盛川 仁, 赤松 純平, 駒沢 正夫ほか 10:15-10:30 Sw-006 マニラ首都圏における微 動アレー観測によるS波速 度構造の推定 山中 浩明, 竹園 基, 衣笠 善博ほか	09:00-09:17 Pm-001 原始惑星による微惑星散乱 と中心星の重元素存在度 井田 茂, 小南 淳子 09:17-09:34 Pm-002 惑星円盤間相互作用と惑 星形成 田中 秀和, Ward, William R. 09:34-09:51 Pm-003 原始惑星の軌道安定性に 対するガス抵抗及び力学 的摩擦の効果について 岩崎 典一, 田中 秀和, 中澤 清ほか 09:51-10:08 Pm-004 原始惑星系円盤との重力 相互作用を考慮した地球 型惑星形成 小南 淳子, 井田 茂 10:08-10:25 Pm-005 円盤ガスとの重力相互作 用による原始惑星のラン ダム速度の減衰 酒井 圭, 井田 茂	09:00-09:15 V0-001 黒曜岩の水と実験と水と の層法による伊豆新島火 山の活動年代 江澤 友則, 谷口 宏充, 羽生 毅 09:15-09:30 V0-002 三宅島火山側山体の組成 変化トレンドと地下構造 伊藤 弘志, 吉田 武義, 木村 純一 09:30-09:45 V0-003 伊豆諸島三宅島火山の岩 石学的研究-西暦1469年 - 1983年のマグマ供給シ ステム- 宮坂 瑞穂, 中川 光弘 09:45-10:00 V0-004 地殻変動観測による三宅 島における1983年噴火お よびそれ以降のマグマ供 給システムの検討 木股 文昭 10:00-10:15 V0-005 三宅島2000 - 2001年火山 活動の概要 西脇 誠 10:15-10:30 V0-006 2000年新島 神津島群発 活動の前後の周辺海域に おける地震活動の変化 吉川 一光, 吉田 明夫, 小林 昭夫	09:00-09:18 Co-001 不均質な下部マントルの 証拠、レニウムオンホッ トスポットの希ガス同位体 組成より 羽生 毅 09:18-09:36 Co-002 大気希ガスはマントルへ リサイクルされるのか? 松本 拓也, 松田 准一 09:36-09:54 Co-003 マルチコレクターICP質量 分析装置による火山岩中 のリチウム同位体測定 西尾 嘉朗, 中井 俊一 09:54-10:12 Co-004 Cr同位体分析法の確立と 西グリーンランド、イスア 地方の構造鉄鉱層の成因 研究への応用 宮下 高幸, 山下 勝行, 中村 昇ほか 10:12-10:30 Co-005 微量元素の酸化還元状態 がもたらす地球化学的知 見 -セリウムを中心に- 高橋 嘉夫	09:00-09:15 Es-001 海底堆積物から得られた Dayプロット上の2つのトレ ンド 福岡 浩司 09:15-09:30 Es-002 北海道西方沖日本海堆積 物表層における初期続成 作用に伴う岩石磁気変化 山崎俊嗣, Abdelazim, Abdelaziz 09:30-09:45 Es-003 Sea level change, greigit e diagenesis and remagnetiz ation of continental shelf sedi ments off New Jersey (ODP Leg 174A) 小田 啓邦, 鳥居 雅之 09:45-10:00 Es-004 単磁区磁性粒子の交流消 磁・非履歴性残留磁化理論 細川 秀夫 10:00-10:15 Es-005 四国黒川川構造帯での地 磁気ダイバリュウム異常源 について 木戸 ゆかり, 藤岡 換太郎 10:15-10:30 Es-006 滑岩等火山噴出物上にお ける局所的磁気異常の空 間的特徴 深田 幸俊, 柳澤 孝寿, 栗田 敬ほか	09:00-09:15 En-001 Disappearance of proton auroral emission within sub- storm expanding bulge 門倉 昭 09:15-09:30 En-002 アイスランドと昭和基地で 観測されたWTSオーロラ の共役性 土井 寛子, 佐藤 夏雄, 村田 洋三ほか 09:30-09:45 En-003 南極昭和基地で受信した DMSP/OLSデータによる 高緯度オーロラ構造 宮岡 宏, 竹下 秀, 岡田 雅樹ほか 09:45-10:00 En-004 オーロライベントグラフ によるオーロラスペクトル 強度統計解析: INDEX衛 星搭載オーロラカメラの 感度決定 坂野 健, 岡野 章一, 小泉 尚子ほか 10:00-10:15 En-005 午後側カスプ/クレフト 域近傍で観測された準周 期的可視オーロラの特徴 村田 洋三, 佐藤 夏雄, 山岸 久雄ほか 10:15-10:30 En-006 電離圏カスプ領域にお ける極方向へ移動する高 電子密度領域の研究 河野 政樹, 藤井 良一, Buchert, Stephan C.ほか
	Af:(地球内部科学) 座長:久保友明	Dn:(重力・ジオイド) 座長:福田洋一・今西祐一	Sw:(地盤構造・地盤 震動) 座長:石原清	Pm:(惑星科学) 座長:荒川政彦	V0:(三宅島噴火) 座長:中田節也・木股文昭 宇平幸一	Co:(固体地球化学・ 惑星化学) 座長:三浦弥生・鍵裕之	Es:(地磁気・古地磁気) 座長:木戸ゆかり	Eu:(磁気圏電離圏結合) 座長:門倉昭・菊池雅行 浅村和史
10:45	10:45-11:03 Af-006 X線その場観察による FG-5型絶対重力計を用 いた精密重力測定に及 ぼす変形スピン相境界 の決定 山田 均, 桂 智男, 新名 亨ほか 11:03-11:21 Af-007 相転移境界に及ぼ すCO ₂ の影響 二神 曾夫, 井上 徹, 入船 徹男 11:21-11:39 Af-008 静水圧下でのmajoriteの弾 性波速度の精密測定 大迫 正弘, 藤澤 英幸, 伊藤 英司 11:39-11:57 Af-009 オルソ珪酸塩の高圧相 及び(Mg,Fe)2SiO ₄ の弾 性率とその温度変化 岡山 憲仁, 鈴木 功, 斎藤 俊明ほか 11:57-12:15 Af-010 オンファス輝石の高温高 圧状態方程式: 沈み込んだ 海洋地殻の密度精密決定 にむけて 西原 遊, 高橋 栄一, 井口 智裕ほか	10:45-10:57 Dn-001 FG-5型絶対重力計を用 いた精密重力測定に及 ぼす変形スピン相境界 の影響 小笠原 志歩里, 竹本 修三, 福田 洋一 ほか 10:57-11:09 Dn-002 小型絶対重力計FG5Lの フィールドへの適用 杉原 光彦 11:09-11:21 Dn-003 御前崎・掛川・春野間 における相対重力の非経 年変動成分の検討 シン トレックス重力計データ の高精度化 本田 大介, 小林 茂樹, 里村 幹夫ほか 11:21-11:33 Dn-004 ヘリコプター重力測定 - 2000年度の実定成果 瀬川 蘭朗, 橋本 成寿, 村瀬 圭ほか 11:33-11:45 Dn-005 Nonlinear gravity inversion across faults by direct search methods - A Case Study Ateya, Ismail Lukandu 11:45-11:57 Dn-006 Determination of Indonesian gravity fields from combina tion of surface gravity, satel lite altimeter and digital ter rain model data Heliani, Leni Sophia 11:57-12:09 Dn-007 Gravity Recovery by Recent and Future Satellite-to- Satellite Tracking Missions Foldvary, Lorant, 福田 洋一	10:45-11:00 Sw-007 K-net強震記録の初動走時 解析による堆積層構造の 推定に関する研究 梶谷 亜紀 11:00-11:15 Sw-008 南関東高密度地震観測網 による「やや長周期地震 動」の伝播特性 石原 清, 齋藤 正徳, 杉原 光彦 11:15-11:30 Sw-009 北摂地域における地下構 造推定と地震動アレー観 測(その2) 上林 宏毅, 堀家 正則, 竹内 吉弘 11:30-11:45 Sw-010 地震記録に見られるPS変 換波から推定された横浜 市の三次元深部地下構造 三浦 弘之, 齋川 三郎 11:45-12:00 Sw-011 新潟県中部とその周辺に おける浅発地震の震源特 性・伝播経路のQ値・K- NET地点のサイトファク ター 池浦 友則, 植竹 富一	10:45-11:02 Pm-006 火星内部構造モデルの再 検討 疋田 肇, 水谷 仁 11:02-11:19 Pm-007 季節変化モデルによる火 星気候システムの挙動解 析 中村 貴純, 田近 英一 11:19-11:36 Pm-008 火星大気・極冠システム の安定性 横島 徳太, 倉本 圭, 小高 正嗣ほか 11:36-11:53 Pm-009 金星の硫酸雲の存在高度 について つつみ タ香里, 山中 大 11:53-12:13 ポスター概要 発表:P1-P4, 発表時間5分	10:45-11:00 V0-007 三宅島諸島神津島地震に おける核崩落反応の観察 松本 高明 11:00-11:15 V0-008 2000年三宅島から新島・ 神津島近海の群発地震活 動に伴う時間遅れの地殻 変動 小林 昭夫, 吉田 明夫, 海津 優ほか 11:15-11:30 V0-009 伊豆諸島の岩礁における GPS観測結果 佐藤 まりこ, 矢吹 哲一朗, 仙石 新 11:30-11:45 V0-010 よすからYK00-12次航海 による神津島・新島沖海 域の微細海底地形と地殻 変動シミュレーションモ デル 徐 垣, 町山 栄章, 久保 雄介ほか 11:45-12:00 V0-011 神津島・三宅島付近の深 部構造探査(序報) 宇平 幸一, 小平 秀一, 鶴 智郎ほか 12:00-12:15 V0-012 重力の時空間変動からよ みとる2000年三宅島火山 活動の推移 大久保 修平, 古屋 正人, 孫 文科ほか	10:45-11:00 Co-006 西南日本に産する阿武 成火山群、青野火山群の Sr, Nd, Pb同位体組成に 関する研究: スラブメルト は起きたのか? 下田 玄, 能田 成 11:00-11:15 Co-007 Rb-Sr geochronology of dioritic stock and lampro phyre dike of Tsagaan Tsa hir Uul area, Mongolia. Sereenen, Jargalan 11:15-11:30 Co-008 ロドラナイトとアカプル コアイトの関連 矢内 桂三 11:30-11:45 Co-009 Vigarano隕石中 Type B2 CAIの酸素同位体分布 吉武 美和, 小出 良幸, 秋本 義樹 11:45-12:00 ポスターの ショートプレゼンテーション 12:00-12:15 総合討論	10:45-11:00 Es-007 最近のダイナモ・シミュ レーションと地球地場 河野 尚, Roberts, Paul H. 11:00-11:15 Es-008 一様磁場中の回転流体球 内の線形マグネットコン クション 桜庭 中 11:15-11:30 Es-009 並列有限要素法による回 転流殻における熱対流 シミュレーション・角運 動量保存則の検討 - 松井 宏晃 11:30-11:45 Es-010 オーランドエクスカー ションの古地磁気強度: エクスカーションに関 する新たな示唆 望月 伸哉, 網川 秀夫, 渋谷 浩 11:45-12:00 Es-011 アア溶岩流の古地磁気 星 博幸, 加藤 富士子 12:00-12:15 Es-012 タイ北部 Chiang Muan に 分布する中新統堆積岩の 古地磁気学的研究 菅沼 悠介, 長岡 信治, 福松 豊ほか	10:45-11:00 En-007 昼間側カスプ/クレフト域 における可視オーロラと SuperDARN HFレーダーと の同時観測 佐藤 夏雄, 村田 洋三, 山岸 久雄ほか 11:00-11:15 En-008 HFレーダーによって観測 される昼間側電離圏エコー の南北半球比較 細川 敬祐, 佐藤 夏雄, 行松 彰ほか 11:15-11:30 En-009 ESR観測によるカスプ近 傍の低電子温度領域 杉野 正彦, Buchert, Stephan C., 野澤 悟徳 ほか 11:30-11:45 En-010 あけぼの衛星が観測した 極冠域電離圏高密度プラ ズマ 市川 洋一, 阿部 琢美, 小山 孝一郎 11:45-12:00 En-011 Topside density profiles of the polar ionosphere observed by using the plasma sounder experiment on board the Akabono satellite 児玉 理, 小野 高幸 12:00-12:15 En-012 Seasonal variations of elec tron density and ion upflow in the topside ionosphere 藤井 良一, 小川 泰信, 杉野 正彦

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

会場	C403	C409	C416	C417	C501	C510	C513			
9:00	Gq:(堆積) 座長:安部寿男		Jq:(マグマシステムと噴火) 座長:藤林紀枝・大場司	Sy:(震源過程・発震機構) 座長:菊地正幸	Er:(磁気圏物理) 座長:家田章正	Eo:(宇宙プラズマ) 座長:中村雅夫	Et:(大気圏・熱圏下部) 座長:小池真・竹川暢之			
	09:00-09:05 挨拶: 堆積セッションの開設の意義		09:00-09:15 Jq-001 なぜ水底シート溶岩には陥没孔が多いのか? 海野 進	09:15-09:30 Sy-001 広帯域地震動のためのすべり速度時間関数 - 1995 年兵庫県南部地震への適用 - 三宅 弘恵, 岩田 知孝, 関口 春子ほか	09:00-09:15 Er-013 昼側 Magnetopause 電流層における運動及び厚みの朝夕非対称性 野和田 基晴, 向井 利典, 前沢 洸ほか	09:15-09:30 Eo-024 Electron heating influenced by Whistler wave packets at quasi-parallel shock waves 西村 晋純, 松本 誠, 小嶋 浩嗣	09:00-09:15 Et-001 1999-2000 年冬季北極下層成層圏における窒素酸化物の再分配 小池 真, 近藤 豊, 竹川 暢之			
10:45	Gq:(堆積) 座長:七山太	Cn:(大気圏と地球環境) 座長:川幡穂高・山田正俊	Jq:(マグマシステムと噴火) 座長:鈴木由希・真島英壽	X0:(2001 年芸予地震速報) 座長:石橋克彦	Er:(磁気圏物理) 座長:海老原祐輔		Et:(大気圏・熱圏下部) 座長:堤雅基・中村卓司			
	10:05-10:25 Gq-004 堆積物流体力学解析装置 新妻 信明	10:45-11:05 Cn-001 西部そして中部赤道太平洋における沈降粒子フラックスとエルニョ・南方振動(ENSO)への呼応 川幡 穂高, Gupta, Lallan, P.	10:45-11:00 Jq-007 噴煙の 2 次元数値シミュレーション: 火山灰の熱とエントレインメントの効果 鈴木 雄治郎, 小屋口 剛博, 小河 正基ほか	10:45-11:00 X0-001 2001 年芸予地震 - 防災科学技術研究所観測網による解析結果 - 汐見 勝彦, 小原 一成, 藤原 広行ほか	10:45-11:00 Er-019 磁気圏尾部のホール電流系の構造 長井 嗣信, 向井 利典	10:45-11:00 Et-007 信楽 MU 観測所レイリーライダーによる中層大気上部の温度の観測 大西 道隆, 澤井 志彦, 中村 卓司ほか	10:05-10:25 Gq-002 石狩湾沿岸における海底堆積物の主成分分析 (多変量解析法) による解析 菅 和哉	10:05-10:15 Cn-002 太平洋赤道域における Th-234 から推定する POC エクスポートフラックスについて 青野 辰雄, 山田 正俊, 河野 健	10:00-10:15 Jq-005 雲火山 1991 年 9 月 16 日火砕サージの垂直密度分布 草野 高志, 鎌田 桂子, 佐藤 博明ほか	10:00-10:15 Er-020 磁気圏遠尾端における一般化されたオームの法則のホール項について 竹井 康博, 向井 利典, 斎藤 義文ほか
10:45	Gq:(堆積) 座長:七山太	Cn:(大気圏と地球環境) 座長:川幡穂高・山田正俊	Jq:(マグマシステムと噴火) 座長:鈴木由希・真島英壽	X0:(2001 年芸予地震速報) 座長:石橋克彦	Er:(磁気圏物理) 座長:海老原祐輔		Et:(大気圏・熱圏下部) 座長:堤雅基・中村卓司			
	10:45-11:05 Gq-005 バプアニューギニア沖ピストンコア試料中のタービダイトからみた斜面崩壊と津波 池原 研, 金松 敬也, 松本 剛	10:45-11:05 Cn-003 天然および人工放射線核種を用いた陸棚縁辺部における粒子の輸送過程 山田 正俊, 青野 辰雄	10:45-11:00 Jq-008 神津島天上山噴火の火砕流発生機構 野口 聡, 遠藤 邦彦, 黄丸 敦志	10:45-11:00 X0-002 2001 年芸予地震と四国の地震との関係 木村 昌三, 川谷 和夫	10:45-11:00 Er-021 サブストーム時の磁気圏近尾端 X-line 近傍におけるカレントシートの構造 浅野 芳洋, 向井 利典, 斎藤 義文ほか	10:45-11:00 Et-009 トロムセ MF レーダーで観測した中間圏背景風逆転高度領域での大気重力波パワー変化 柴田 喬, 野澤 悟徳, Hall, Chris M.	10:05-11:25 Gq-006 黒島海丘における炭酸塩岩類 -メタンハイドレート- の分解と炭酸塩岩類形成の関係 - 武内 里香, 町山 栄章, 松本 良ほか	11:05-11:18 Cn-004 EPMA による富士五湖湖底堆積物中黄砂粒子の定量的識別 京谷 智裕, 奥水 達司	10:00-10:15 Jq-006 三宅島噴煙の到達高度における水蒸気凝結の効果 数値モデルによる検討 中島 健介, 水谷 文彦	10:00-10:15 Er-017 スローモード擾乱のサブストーム発達における意義: 証拠と統計 飯島 健, 中溝 葵
10:45	Gq:(堆積) 座長:七山太	Cn:(大気圏と地球環境) 座長:川幡穂高・山田正俊	Jq:(マグマシステムと噴火) 座長:鈴木由希・真島英壽	X0:(2001 年芸予地震速報) 座長:石橋克彦	Er:(磁気圏物理) 座長:海老原祐輔		Et:(大気圏・熱圏下部) 座長:堤雅基・中村卓司			
	11:05-11:25 Gq-006 黒島海丘における炭酸塩岩類 -メタンハイドレート- の分解と炭酸塩岩類形成の関係 - 武内 里香, 町山 栄章, 松本 良ほか	11:05-11:18 Cn-005 大気汚染による南極ブナの立ち枯れ 大森 禎子, 吉池 雄蔵	11:00-11:15 Jq-009 珪長質マグマの噴火時の上昇過程-特に噴火初期の段階の上昇について- 鈴木 由希, 中田 節也	11:15-11:30 X0-003 芸予地震と発生場のスラブ構造 中西 一郎, 宮川 康平, 大見 士郎ほか	11:15-11:30 Er-022 サブストーム時の太陽風に対する磁気圏尾端変化 宮下 幸長, 町田 忍, 斎藤 義文ほか	11:15-11:30 Et-011 南極域中間圏における大気重力波の特性 堤 雅基, 麻生 武彦, 江尻 全樹ほか	11:05-11:25 Gq-007 陸上生態系炭素循環と大気環境の相互作用に関するモデル解析 伊藤 昭彦	11:05-11:15 Cn-005 大気汚染による南極ブナの立ち枯れ 大森 禎子, 吉池 雄蔵	11:00-11:15 Jq-010 マッシュ状珪長質マグマの溜まりへの高温マグマの供給に伴う熱的進化 小屋口 剛博, 金子 克哉	11:15-11:30 Er-023 プラズモイドとオーロラ活動 家田 章正, Fairfield, Donald H., 向井 利典ほか

注) 発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会 口頭発表プログラム

第 4 日 6 月 7 日 (木) 午後

会場	IC	C309	C310	C311	C401	C402
	Af : (地球内部科学) 座長: 井上徹	P0 : (実験惑星学) 座長: 門野敬彦	Rn : (岩石・鉱物・資源) 座長: 今井亮	Sx : (地下温度構造・熱過程) 座長: 上嶋正人	Es : (地磁気・古地磁気) 座長: 渋谷秀敏	Eu : (磁気圏電離圏結合) 座長: 門倉昭・菊池雅行 浅村和史
13 : 30	13:30-13:48 Af-011 Vp, Vs and Poisson's ratio images beneath Japan Islands and their relationship to seismic and volcanic activity Salah, Mohamed, 趙大鵬 13:48-14:06 Af-012 アンテゴライトの高温分解反応の X線その場観察 駒林 鉄也, 廣瀬 敬, 丸山 茂徳ほか 14:06-14:24 Af-013 含水玄武岩の相平衡と沈み込むプレートによる下部マントルへの水の輸送 大谷 栄治, Litasov, Konstantin, 久保 友明 14:24-14:42 Af-014 超高压変成岩中の水を含んだ単斜輝石 片山 郁夫, 中嶋 悟 14:42-15:00 Af-015 下部マントル構成鉱物の含水量 村上 元彦, 廣瀬 敬, 丸山 茂徳ほか	13:30-13:50 P0-001 KT境界における巨大衝突蒸気雲内のSO ₂ /SO ₃ 比の推定 大野 宗祐, 杉田 精司, 五十嵐 丈二 13:50-14:10 P0-002 日本におけるガス静電加速器の開発 長谷川 直, 藤原 顕, 矢野 創ほか 14:10-14:30 P0-003 氷微粒子の静電場加速 荒川 政彦 14:30-14:42 ポスター概要発表 (1ポスターあたり3分)	13:30-13:45 Rn-001 稲田花崗岩に産する含コンドロ石炭酸塩岩の変成条件 谷内 勇介, 宮野 敬, 河野 雅英 13:45-14:00 Rn-002 Framboidal Pyriteの内部構造に関する電顕鉱物学的研究・特に20面体ドメイン構造とそれが示唆する形成環境について 大藤 弘明, 赤井 純治 14:00-14:15 Rn-003 空隙率を考慮した風化皮膜発達モデル 小口 千明 14:15-14:30 Rn-004 熱電対起電力の圧力依存性: 高温高压その場観察実験による異種熱電対の比較 井口 智裕, 西原 遊, 高橋 栄一	13:30-13:45 Sx-001 岩石-流体系の弾性波速度と地球内部の温度・流体分布の検討 佐藤 博樹, 長谷川 昭, 中島 淳一 13:45-14:00 Sx-002 自己浮上式装置による海底堆積物中の長期温度計測 清元 栄起, 山野 誠, 松林 修ほか 14:00-14:15 Sx-003 南極周辺海域における地殻熱流量データのコンパイルについて 上嶋 正人, 佐木 和夫, 長尾 年恭 14:15-14:30 Sx-004 野島断層掘削コア及び平林シールドタキライトから見出された野島断層近傍の温度異常 村上 雅紀, 田上 高広, 長谷部 徳子 14:30-14:45 Sx-005 高感度地震観測網(Hi-net)掘削孔における温度測定(その2) 松本 拓己 14:45-15:00 Sx-006 孔井内温度分布計測によるカムチャッカ半島における気候変動の復元(序報) 山野 誠, 長尾 年恭, カムチャッカ気候変動復元研究グループ	13:30-13:45 Es-013 古地磁気永年変化モデルにおける軸双極子磁場の変動 轟山 唯達, 河野 長 13:45-14:00 Es-014 双極子が卓越する古地磁気の永年変化統計モデル 田中 秀文 14:00-14:15 Es-015 北部フォッサマグナ, 高府向斜の褶曲形態と古地磁気 新妻 祥子 14:15-14:30 Es-016 LATE CRETACEOUS PALEOMAGNETIC RESULTS OF SIKHOTEALIN, FAREASTERN RUSSIA 乙藤 洋一郎, 松田 高明, 江南 亮ほか 14:30-14:45 Es-017 朝鮮半島大同累層群の古地磁気 宇野 康司, Chang, Ki-Hong 14:45-15:00 Es-018 中国江蘇省南京地域および湖北省南嶺地域に分布する三疊紀中期赤色砂岩の古地磁気 蘇 黎, 楊 振宇, 乙藤 洋一郎	13:30-13:45 Eu-013 EISCAT レーダーで冬季に観測されたイオンアップフローに伴うイオン温度異方性 小川 泰信, 藤井 良一, Buchert, Stephan C.ほか 13:45-14:00 Eu-014 SS-520-2ロケット実験: 全体概要 向井 利典 14:00-14:15 Eu-015 SS-520-2号機搭載 ESA/ISAによる荷電粒子観測 初期解析結果報告 田中 宏樹, 齋藤 義文, 浅村 和史ほか 14:15-14:30 Eu-016 ロケット SS-520-2 号機に搭載された極端紫外光観測器 (XUV) による酸素イオンの光学観測 山崎 敦, 田代 真一, 中村 正人ほか 14:30-14:45 Eu-017 SS-520-2号機による磁場観測実験 (速報) 遠山 文雄, 高橋 隆男, 田中 真ほか 14:45-15:00 Eu-018 極域カスプ領域SS-520-2ロケット実験で観測された プラズマ波動の初期解析報告 上田 義勝, 小嶋 浩嗣, 松本 誠ほか
15 : 15						

注) 発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会 口頭発表プログラム

第 4 日 6 月 7 日 (木) 午後

会場	C409	C416	C417	C501	C513
	CO : (地殻流体・火山流体) 座長: 森俊哉	Jq : (マグマシステムと噴火) 座長: 沢田順弘・後藤章夫	XO : (2001年芸予地震速報) 座長: 鷲谷誠	Er : (磁気圏物理) 座長: 田口聡	Et : (大気圏・熱圏下部) 座長: 野澤悟徳・高橋幸弘
13 : 30	<p>13:30-13:48 C0-001 御前崎の地下水溶存ガス成分にみられる潮汐応答について 五十嵐 丈二</p> <p>13:48-14:06 C0-002 近畿地方の温泉ガスの主成分および希ガス同位体組成 川畑 哲郎, 松本 良樹, 松本 拓也 ほか</p> <p>14:06-14:24 C0-003 葛根田地域の熱水系 - 熱源モデル 玉生 志郎, 藤本 光一郎</p> <p>14:24-14:42 C0-004 草津白根山北方斜面噴気地帯火山ガスの化学組成および安定同位体比 中村 一茂, 大場 武, 平林 順一 ほか</p> <p>14:42-15:00 C0-005 カメルーン・ニオス湖におけるガス抜き事業の開始 2001年ニオス湖ガス抜きチーム</p>	<p>13:30-13:45 Jq-012 樽前山1739年噴火における最初期噴火マグマ 竹内 晋吾</p> <p>13:45-14:00 Jq-013 珪長質メルトとその固結過程における酸化水素化合物に関する高温高压実験(予報) 沢田 順弘, 三原 良和, 川崎 智佑</p> <p>14:00-14:15 Jq-014 角閃石/メルト間のCl/OH分配: 雲仙岳デイサイトについての実験と, 1991-1995年噴火でのマグマの脱ガス過程への応用 佐藤 博明, Holtz, Francois</p> <p>14:15-14:30 Jq-015 含水メルトの粘性測定に向けたガラスの水和実験(序報) 後藤 章夫</p> <p>14:30-14:45 Jq-016 ビクライト中のカンラン石班晶転位組織 丸山 麻里, 高橋 栄一</p>	<p>13:30-13:45 X0-007 2001年芸予地震の強震動分布と深部地下構造 藤織 一 郎, 古村 孝志</p> <p>13:45-14:00 X0-008 芸予地震における被害状況と地質との関連について 北川 隆司, 地下 まゆみ, 宮原 正明</p> <p>14:00-14:15 X0-009 芸予地震に呼応したVHF帯自然電磁波の検出 吉田 彰顕, 西 正博</p> <p>14:15-14:30 X0-010 芸予地震におけるMF帯ノイズ観測装置(逆ラジオ)観測報告 犬伏 裕之, 熊谷 卓, 松永 昌太 ほか</p> <p>14:30-14:40 X0-011 プラス大イオン濃度変化による地震予知の基礎原理 弘原海 清, 原口 竜一, 岡本 和人 ほか</p> <p>14:40-14:50 X0-012 プラス大イオン濃度変化と芸予地震 井田 佳伸, 岡本 和人, 和佐 好智 ほか</p> <p>14:50-15:00 X0-013 大気イオン濃度変化と地震発生(2001年1月-3月) 原口 竜一, 弘原海 清, 岡本 和人 ほか</p>	<p>13:30-13:45 Er-025 磁気圏近尾部におけるバルーニング不安定と交換型不安定の対比と粒子の非断熱性の効果 三浦 彰</p> <p>13:45-14:00 Er-026 1999年10月の磁気嵐のMHDシミュレーション 朴 京善, 荻野 竜樹</p> <p>14:00-14:15 Er-027 ウェッジライク型イオン分散構造: Vikingによる観測とシミュレーション 海老原 祐輔, 山内 正敬, Nilsson, Hans ほか</p> <p>14:15-14:30 Er-028 オーロラ現象に伴う静止衛星磁場変動と低エネルギー粒子のダイナミクス 古賀 大樹, 坂 翁介, 羽田 亨 ほか</p> <p>14:30-14:45 Er-029 GEOTAIL-HEP観測による磁気圏中での高エネルギー粒子フラックス増大について 堀 智昭, 前沢 潤, 向井 利典 ほか</p> <p>14:45-15:00 Er-030 磁気嵐時における放射線帯電子の増大過程-1993年11月の2つの磁気嵐- 三好 由純, 森岡 昭, 小原 隆博 ほか</p>	<p>13:30-13:45 Et-013 Tidal and Planetary scale waves in the equatorial middle atmosphere Takahashi, Hisao, Buriti, Ricardo A., Gobbi, Delano ほか</p> <p>13:45-14:00 Et-014 極域超高層における大気潮汐波の振舞い(V) 新しい観測プラットフォーム 麻生 武彦, 堤 雅基, Hall, Chris M.</p> <p>14:00-14:15 Et-015 北極域における中間圏・下部熱圏相互作用: (1) プラネタリー波の季節変化 今井田 星子, 野澤 悟徳, 藤井 良一 ほか</p> <p>14:15-14:30 Et-016 Comparison of the lower thermospheric neutral winds derived with the EISCAT radar and predicted by NCAR TIME-GCM 野澤 悟徳, Liu, Hanli, Richmond, Art ほか</p> <p>14:30-14:45 Et-017 ロケット周辺の衝撃波構造と酸素原子密度測定精度 岩上 直幹, 鈴木 利和</p> <p>14:45-15:00 ポスター概要発表 (1件約1分)</p>
15 : 15					

注) 発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会 口頭発表プログラム

第 5 日 6 月 8 日 (金) 午前

会場	IC	C101	C102	C309	C310	C311	C401	C402
9:00	Af:(地球内部科学) 座長:山田朗	Do:(測地学一般) 座長:飛田幹男	SS:(内陸想定地震の強震動予測) 座長:島崎邦彦・香川敬生		A6:(生命・水・鉱物相互作用) 座長:佐藤秀・小暮敬博	S6:(広帯域地震学) 座長:金尾政紀・加藤謙	Ah:(地球惑星科学の新概念) 座長:羽田亨	K2:(地殻融融と花崗岩マグマ) 座長:池田剛・志村俊昭
	09:00-09:18 Af-016 分子動力学法による MgO の内因的自己拡散 伊藤 洋介, 鳥海 光弘 09:18-09:36 Af-017 Fe-(Mg0.9,Fe0.1)SiO3ペロブスカイトの高温高压下での化学反応 高藤 尚人, 八木 健彦 09:36-09:54 Af-018 昭和基地で観測された PKP先行波から推定される核-マントル境界近傍の不均質 東野 陽子, 中西 一郎 09:54-10:12 Af-019 水平方向に厚さの違う D''層がコアとマントルの熱的結合に与える影響 並木 敦子, 栗田 敬 10:12-10:30 Af-020 マントルブルームの内部構造に関する実験的研究 熊谷 一郎	09:00-09:15 Do-001 傾斜および鉛直線の変化におよぼす海洋底圧力の影響 角田 忠一, 坪川 恒也, 若館 健三郎 09:15-09:30 Do-002 東北奥羽脊梁山地稠密 GPS観測網により観測された地殻変動 佐藤 俊也, 三浦 哲, 立花 憲司ほか 09:30-09:45 Do-003 空港運賃管理システムにおける GPSの役割(3) 国土交通省 東京航空局, 国土交通省 大阪航空局, 株式会社 NTTデータ ほか 09:45-10:00 Do-004 高度精密測位システムの構築について 小山 泰弘, 近藤 哲朗, 市川 隆一ほか 10:00-10:15 Do-005 緩い束縛条件による SLR 地球基準座標系の構築と ITRF2000への寄与 大坪 俊通, 後藤 忠広 10:15-10:30 Do-006 SLR データのスペクトル解析による人工衛星あじさいのスピンドルの推定 大坪 俊通, 雨谷 純, 国森 裕生	09:00-09:05 趣旨説明 09:05-09:25 SS-001 強震動予測のための活断層分岐モデル-活断層の分岐形態と上下変位パターンに着目した破壊プロセスパラメータの推定- 隈元 崇, 中田 高 09:25-09:45 SS-002 強震動シミュレーションにおける断層浅部(深さ0-2km程度)の重要性-地表面断層は地震断層の何を見ているのか- 宮武 隆 09:45-10:00 SS-003 伏在断層による地震動と断層破壊の特徴について 香川 敬生, 宮藤 研, 入倉 孝次郎ほか 10:00-10:15 SS-004 断層破壊パラメータが広周帯域強震動シミュレーション結果に与える影響 Pulido, Nelson, 久保 哲夫 10:15-10:30 SS-005 1995年1月大阪平野北部地震(MJ5.4)の遺伝的アルゴリズムを用いた震源インバージョンおよび3次元強震動シミュレーション 川辺 秀憲, 堀家 正剛, 日下部 馨		09:00-09:20 A6-001 強震中における黒雲母(001)表面の溶解過程:原子間力顕微鏡によるその観察 鈴木 啓友, 小暮 敬博, 空間 丈史 09:20-09:40 A6-002 神津島における52,000年間の粘土鉱物の生成速度横山 正, Banfield, Jillian F., 村上 隆 09:40-10:00 A6-003 地球表層における親銅元素の循環 月村 勝宏, 高木 哲一 10:00-10:20 A6-004 25億年前の風化-大気酸素の急激な上昇はあったか? 村上 隆, 宇都宮 聡 10:20-10:28 ポスター概要説明、P1-P4、1件2分	09:25-09:30 セッション主旨説明 09:30-09:45 S6-001 南極域の広帯域地震学の現状と展望 神沼 克伊, 金尾 政紀 09:45-10:00 S6-002 Pacific21広帯域地震波形データベースの現状 坪井 誠司 10:00-10:15 S6-003 海域での広帯域地震観測 塩原 肇, 篠原 雅尚, 金沢 敬彦ほか 10:15-10:30 S6-004 海外大規模臨時観測に関して 大滝 壽樹, 神定 健二, 関口 涉次ほか	09:00-09:45 Ah-001 観測データのウェーブレット解析 山田 道夫 09:45-10:30 Ah-002 断層構造をもつ時系列モデルによる情報処理: ベイズ流自己調節と並列計算 樋口 知之 09:30-09:45 K2-003 アメリカ合衆国 Sierra Nevada Batholith - Donner Pass Region花崗閃緑岩体の岩石学的特徴とその形成プロセスについて 谷 健一郎 09:45-10:00 K2-004 中北部九州に産する Srに富むトータル岩-花崗閃緑岩の起源物質と残留固相 亀井 淳志, 大和田 正明 10:00-10:15 K2-005 超高温変成帯に産する花崗岩体, ベトナム中部コンツム地塊の Plei Man Ko花崗岩の例 大和田 正明, 小山内 康人, 角替 敬昭 ほか 10:15-10:30 K2-006 徳和花崗岩体周縁部に見られる接触変成作用と部分融解メルト 齊藤 哲, 有馬 眞, 中島 隆	09:00-09:15 K2-001 南スペイン, タジヤンテ地域のレルゾライト捕獲岩中に産する石英を含む珪長質脈の地球化学的特徴:その起源と変遷 森下 知見, 清水 洋平, 荒井 章司ほか 09:15-09:30 K2-002 南東スペイン Tallante地域からのかんらん岩捕獲岩中の石英を含む珪長質脈とその重要性 清水 洋平, 荒井 章司, Gervilla, Fernando 09:30-09:45 K2-003 アメリカ合衆国 Sierra Nevada Batholith - Donner Pass Region花崗閃緑岩体の岩石学的特徴とその形成プロセスについて 谷 健一郎 09:45-10:00 K2-004 中北部九州に産する Srに富むトータル岩-花崗閃緑岩の起源物質と残留固相 亀井 淳志, 大和田 正明 10:00-10:15 K2-005 超高温変成帯に産する花崗岩体, ベトナム中部コンツム地塊の Plei Man Ko花崗岩の例 大和田 正明, 小山内 康人, 角替 敬昭 ほか 10:15-10:30 K2-006 徳和花崗岩体周縁部に見られる接触変成作用と部分融解メルト 齊藤 哲, 有馬 眞, 中島 隆
10:45	Af:(地球内部科学) 座長:廣瀬敬	Do:(測地学一般) 座長:大坪俊通	SS:(内陸想定地震の強震動予測) 座長:島崎邦彦・香川敬生	Ag:(衝突イベント) 座長:海保邦夫・Winiarski, Deborah	A6:(生命・水・鉱物相互作用) 座長:佐藤秀・小暮敬博 掛川 武・長沼 毅	S6:(広帯域地震学) 座長:功刀卓・加藤謙	Ah:(地球惑星科学の新概念) 座長:羽田亨	K2:(地殻融融と花崗岩マグマ) 座長:小山内康人・森下知見
	10:45-11:03 Af-021 マントル対流モデルから推定した地震波速度構造 岩永 哲, 吉岡 祥一 11:03-11:21 Af-022 下部マントルに沈み込むスラブと660kmマントル境界に横たわるスラブの違い 新田 馨, 吉岡 祥一, 中久喜 伴益 11:24-11:39 Af-023 パイロプのポストガーネット相転移カINETIXのX線その場観察 久保 友明, 大谷 栄治, 近藤 忠ほか 11:39-11:57 Af-024 マントル遷移層最下部におけるガーネット層の存在可能性 入館 徹男 11:57-12:15 Af-025 マントル内660km不連続面における密度及びバルク音速変化について 松井 正典	10:45-11:00 Do-007 D-InSARを用いた火山性地殻変動の検出:1992-1998年の桜島及び始良カルデラ周辺域について 奥山 哲, 竹本 修三, 村上 亮ほか 11:00-11:15 Do-008 月周衛星(セレーネ)搭載用レーザ高度計(PM)の開発 坪川 恒也, 荒木 博志 11:15-11:30 Do-009 VERAの現状 真鍋 盛二, VERAグループ 11:30-11:45 Do-010 VERAによる測地観測 VERAグループ, 田村 良明 11:45-12:00 Do-011 KSP観測網の VLBI, SLR, GPS基線長時系列データの比較 吉野 泰造, 国森 裕生, 勝尾 双葉ほか 12:00-12:12 ポスター概要発表	10:45-11:05 SS-006 地殻不均質構造と地震断層の関係 趙 大鵬 11:05-11:25 SS-007 地下構造評価と強震動シミュレーション 堀家 正剛 11:25-11:40 SS-008 地震記録のシミュレーションによる大阪堆積盆地の3次元地下構造モデルの検証(2) 趙 伯明, 宮藤 研, 香川 敬生 11:40-11:55 SS-009 強震動シミュレーションのための関東平野における3次元S波速度構造モデルの構築 山田 伸之, 山中 浩明 11:55-12:10 SS-010 1997年鹿児島県北西部地震の震源域における大きなS波減衰 儘田 豊, 竹中 博士	10:45-10:50 はじめに 10:50-11:20 Ag-001 日本の衝突孔M(KT)における衝撃変成石英の研究 三浦 保範, 植戸 祐貴, Rampino, Michael 11:20-11:40 Ag-002 衛星データ解析による日本の衝突地形の研究 三浦 保範, Kvedes, Miklos 11:40-12:00 Ag-003 衝突孔と地質境界における衝突起源親鉄元素(Fe・Ni)の研究 三浦 保範, Kvedes, Miklos, 植戸 祐貴 12:00-12:15 Ag-004 コールドロンとしての高松クレーター:14Ma瀬戸内火山活動の産物 長谷川 修一, 佐藤 博明, 永原 裕子	10:45-11:05 A6-005 シュベルトマタイトの表面活性サイトのキャラクター化と表面錯体モデルの適用 福土 圭介, 佐藤 秀 11:05-11:25 A6-006 圧縮ペントナイト中の Sr2+およびイオンの実効拡散係数に対する塩濃度の影響 鈴木 寛 11:25-11:45 A6-007 東洋地域における地下微生物の現存量と種組成-脂質分析および脂肪酸分析による知見 長沼 毅, 岩月 輝希, 村上 由紀 11:45-12:05 A6-008 地下微生物圏に対する地球微生物学的アプローチ 福田 史生, 高井 研 12:05-12:15 ポスター概要説明、P5-P9、1件2分	10:45-11:00 S6-005 FREESIA広帯域地震波形データベース-これまでの成果と今後の可能性 福山 英一, 久保 篤規, 石田 瑞穂 11:00-11:15 S6-006 地震研のリアルタイム地震学戦略:即時解析と逐次更新データベース 菊地 正幸, 山中 佳子, 八木 勇治 11:15-11:30 S6-007 準リアルタイム遠地実地波解析-地震発生後15分を目標として- 功刀 卓, 山中 佳子, 菊地 正幸 11:30-11:45 S6-008 火山現象と広帯域地震観測 熊谷 博之 11:45-12:00 S6-009 地球自由振動の積雲による励起(4):励起源の特性と応答の空間構造 中島 健介, 野津 昭二 12:00-12:15 S6-010 常時地球自由振動研究の展開 須田 直樹	10:45-11:30 Ah-003 間欠性ゆらぎと超普遍性 藤坂 博一 11:30-12:15 Ah-004 ツァリス統計とその周辺 阿部 純義 11:00-11:15 K2-008 泥質変成帯における紅柱石から珪線石への相転移と部分融解:日高変成帯とナマク変成帯の例 廣井 美邦 11:15-11:30 K2-009 スコットランド北西-サウスハリス岩体における部分融融とサファイアリンシンプレクタイトの形成 馬場 丈太郎 11:30-11:45 K2-010 日高変成帯の黒雲母に認められるFe-Mg相互拡散の異方性の証拠 白村 直 11:45-12:15 ポスター概要発表(P1-P8:各3分程度)	

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

地球惑星科学関連学会 2001年合同大会 口頭発表プログラム

第5日 6月8日(金)午前

会場	C403	C405	C409	C416	C417	C501	C510	C513
9:00	Gs:(地質ハザード・地質環境) 座長:長谷川修一	K1:(オフィオライトと海洋地殻) 座長:松野香子	P4:(惑星表層の科学) 座長:栗田敬	V0:(三宅島噴火) 座長:鶴川元雄・古屋正人 宮城瑞治	Sz:(地殻構造) 座長:西上欽也	Eu:(磁気圏電離圏結合) 座長:篠原学・中田裕之	Ev:(宇宙天気) 座長:小原隆博・長妻努	Ai:(惑星地球システム) 座長:多田隆治
	09:00-09:05 あいさつとセッションの趣旨説明 09:05-09:20 Gs-001 1982年長崎豪雨災害における斜面崩壊の地質的特徴 西山賢一, 千木良雅弘 Gs-002 砂岩急斜面におけるタフオニークから不安定オーバーハング構造の形成 横田修一郎, 竹原和也, 西山賢一 09:50-10:05 Gs-004 海食崖における岩盤崩壊の地形地質要因:北海道積丹半島の場合 永田秀尚 10:05-10:20 Gs-005 有珠火山山麓で発生した地殻変動による災害 田近 淳, 廣瀬 亘, 八幡 正弘ほか	09:00-09:15 K1-001 北部オマーン・オフィオライトにおける2種類のハルツバータイトの意義 角島 和之, 荒井 章司, 松野 香子ほか 09:15-09:30 K1-002 オマーン・オフィオライト(北部)の発見:後期貫入構造と岩石組織の空間構造 岡安 冬恵, 高澤 栄一 09:30-09:45 K1-003 オマーン・オフィオライト、ヒクライトに伴うコマチアイトの発見:後期貫入岩類の新しいモデル 上杉 次郎, 荒井 章司 09:45-10:00 K1-004 幔洞カンラン岩の極端にAlの乏しい斜方輝石-メタソルマテシム時の流体組成変化の物証 荒井 章司 10:00-10:15 K1-005 伊豆・小笠原・マリアナおよびトンガ前弧海成層マントルカンラン岩の岩石学的特徴と陸上オフィオライト 石井輝枝, 佐藤 暢 10:15-10:30 K1-006 非火山性大陸縁辺に産する海洋-大陸遷移型マントルかんらん岩の岩石化学的性質: ODP Leg 173 (Return to Iberia)の例 阿部 なつ江	09:00-09:15 挨拶 (セッションの目的) 09:15-09:40 P4-001 太陽系天体表面の「色」の変化 佐々木 晶 09:40-10:05 P4-002 火星大気圧と地表面アルベドとの相互作用 早川 知範, 赤羽 徳英 10:05-10:30 P4-003 火星クレーターと表層環境 出村 裕英	09:00-09:15 V0-013 三宅島2000年噴火の推移と噴出物 中田 節也, 金子 隆之, 鎌田 桂子ほか 09:15-09:30 V0-014 三宅島火山2000年噴火の本質物質-磁鉄鉱組成からの制約 東宮 昭彦, 宮城 瑞治, 高藤 元治 09:30-09:45 V0-015 噴出物含水量からみた三宅島2000年7月14日および8月18日の噴火様式 宮城 瑞治, 森下 祐一 09:45-10:00 V0-016 三宅島火山2000年6月27日の海底噴火における噴火様式とマグマの脱水過程 嶋野 岳人, 金子 隆之, 中田 節也 10:00-10:15 V0-017 火山活動の色から火山弾の温度を推定する方法:三宅島2000年8月18日のカリフラワー状火山噴 宮城 瑞治, 東宮 昭彦 10:15-10:30 V0-018 2000年三宅島噴火の爆発性 井田 喜明	09:00-09:14 Sz-001 断層トラップ波の解析による野島断層の深部構造 水野 高志, 西上 欽也 09:15-09:29 Sz-002 近接して発生した地震に対する波形記録の相互相関係数の特徴 中原 恒 09:30-09:44 Sz-003 糸静線北部の広帯域MT法探査 小川 康雄, 高倉 伸一, 本 藤 義守ほか 09:45-09:59 Sz-004 高感度地震観測網(Hi-net)による日本列島の構造解析-(I) Hi-netデータの検証 趙 大鵬, 小原 一成, 三田 亮平ほか 10:00-10:14 Sz-005 短周期レシーバ開数で見える中部・西日本各地殻・最上部マントル構造 多田 明希子, 平原 和朗, 渡谷 拓郎 10:15-10:29 Sz-006 人工地震と重力異常にもとづく西日本の地殻構造 原 宏史, 河野 芳輝, 東方 外志彦	09:00-09:15 Eu-019 太陽風動圧が非常に低い時に観測された夕方側高速西向き対流(2) 西谷 望, 小川 忠彦, 佐藤 夏雄ほか 09:15-09:30 Eu-020 SuperDARN観測を用いた沿磁力線電流の時間空間スケールの評価 出口 大樹, 飯島 健, 佐藤 夏雄 09:30-09:45 Eu-021 サブストームの各 phase における、グローバルMHDシミュレーションとKRM法の電離層パラメータの比較(I) 篠原 学, 中田 裕之, 上出 洋介ほか 09:45-10:00 Eu-022 サブストームの各 phase における、グローバルMHDシミュレーションとKRM法の電離層パラメータの比較(II) 中田 裕之, 篠原 学, 上出 洋介ほか 10:00-10:15 Eu-023 Locations of "reversed" cross-tail current at the substorm onsets: GOES-5, GOES-6 and AMPTE/CCE magnetic field observations-(5) 岡田 興大, 湯元 清文 10:15-10:30 Eu-024 Role of Pi 2 Pulsations in Substorm Process 湯元 清文, 山口 類, 河野 英昭ほか	09:00-09:20 Ev-001 複合系の criticality と宇宙天気 田中 高史 09:20-09:40 Ev-002 地球磁気圏のMHDシミュレーションによる宇宙天気研究 荻野 竜樹 09:40-09:55 Ev-003 高精度非静水圧熱圏電離圏モデルを用いた極域超層大気の研究と予報 品川 裕之 09:55-10:10 Ev-004 地磁気ネットワーク観測に基づく宇宙環境変動の基礎的研究 湯元 清文 10:10-10:25 Ev-005 磁気圏電離圏三次元電流系によるSC地上磁場変動 菊池 崇, 角村 悟, 橋本 久美子ほか	09:00-09:10 挨拶 09:10-09:30 Ai-001 太陽系システムの化学進化と地球システムの化学組成の確立 永原 裕子 09:30-09:50 Ai-002 地球月系の形成と初期状態 阿部 豊, 玄田 英典, 町田 亮介 09:50-10:10 Ai-003 地球システム形成過程の物質科学 大谷 栄治 10:10-10:30 Ai-004 地球システム変動とスノーボール・アース現象 田近 英一
10:45	Gs:(地質ハザード・地質環境) 座長:横田修一郎	K1:(オフィオライトと海洋地殻) 座長:熊谷英恵	P4:(惑星表層の科学) 座長:荒川政彦	V0:(三宅島噴火) 座長:鶴川元雄・古屋正人 宮城瑞治	Sz:(地殻構造) 座長:岡田知己	Eu:(磁気圏電離圏結合) 座長:篠原学・中田裕之	Ev:(宇宙天気) 座長:長妻努・小原隆博	Ai:(惑星地球システム) 座長:浜野洋三
	10:45-11:00 Gs-006 鳥取県西部地震震域におけるリニメントと熱水変質帯との関係 長谷川 修一, 村田 明広, 吉田 鎮男 11:00-11:15 Gs-007 諫早湾閉め切り前後における底質の元素組成の変化 道前 香緒里, 石賀 裕明, 近藤 寛 11:15-11:30 Gs-008 ガンジデルタの地下水ヒ素汚染 石賀 裕明, 道前 香緒里, 奥野 充ほか 11:30-11:45 ポスター概要発表, 1件3分以内 11:45-12:15 総合討論等	10:45-11:00 K1-007 海洋地球物理データから見た南西インド洋海嶺アトランティス-IIノバラ断層帯の構造とテクトニクス 松本 剛, Hosford, Allegra, Dick, Henry J.B.ほか 11:00-11:15 K1-008 超低速大軸下の上部マントルの不均質性:南西インド洋海嶺, アトランティス-Iバンクにおける「かいこう」による潜航調査予報 荒井 章司, Dick, Henry J.B., KR00-06乗船研究者ほか 11:15-11:30 K1-009 海洋地殻第3層における高温流体相移動の岩石学的根拠:南西インド洋海嶺Hole 735Bコアの検討 前田 仁一郎 11:30-11:45 K1-010 北部オマーン・オフィオライトに湧出する高アルカリ泉と流體物の地球化学 佐藤 努, 秋田 奈生子, 荒井 章司 11:45-12:06 ポスター概要発表 12:06-12:15 休憩時間	10:45-11:10 P4-004 火星ランパート・クレーターにみられるロープの異方性について 栗田 敬, 出村 裕英 11:10-11:35 P4-005 数値シミュレーションによる大型クレーター形成とその形態 高田 淑子 11:35-12:00 P4-006 宇宙風化作用シミュレーション実験試料の透過型電子顕微鏡を用いた観察 中村 圭子, 佐々木 晶, 濱邊 好美ほか 12:00-12:15 P4-007 地球及び火星における土石堆積物に関する比較惑星学のアプローチ 宮本 英昭, 千木良雅弘, 登坂 博行	10:45-11:00 V0-019 2000年の三宅島における火山活動に伴う傾斜変動-ステップ状傾斜変動と先行して発生した火山性地震に同期した変動- 山本 英二, 藤田 英輔, 鶴川 元雄ほか 11:00-11:15 V0-020 三宅島のマグマ供給システム:傾斜ステップから推測したシル状マグマまりの開口 藤田 英輔, 鶴川 元雄, 山本 英二ほか 11:15-11:30 V0-021 2000年三宅島火山の陥没開始から大噴火直前までの重力変化 古屋 正人, 大久保 修平, 田中 愛幸ほか 11:30-11:45 V0-022 地震波形状から推定した三宅島火山直下の地震波減衰領域 及川 純, 井田 喜明, 藤田 英輔 11:45-12:00 V0-023 伊豆諸島三宅島火山の岩石学的研究-西暦2000年噴火のマグマ供給システム- 宮坂 瑞穂, 中川 光弘, 中田 節也 12:00-12:15 V0-024 玄武岩質火山成長に伴うカルデラ形成-重力崩壊モデル- 高田 亮	10:45-10:59 Sz-007 Tomography of the Northeast Japan forearc region and its implications for interplate seismic coupling 趙 大鵬, 三田 亮平ほか 11:00-11:14 Sz-008 差分法によるトモグラフィモデルにおける理論波形の計算 趙 大鵬, 黒木 文 11:15-11:29 Sz-009 長町-利府断層周辺における中帯域連続地震観測 吉本 和生, 岡田 知己, 長谷川 昭 11:30-11:44 Sz-010 東北地方南部プレート境界地震発生地の深部構造(2) 西野 実, 日野 亮太, 篠原 雅尚 11:45-11:59 Sz-011 1973年・根室半島沖地震破壊域の地殻構造 仲西 理子, 三浦 誠一, 尾鼻 浩一郎ほか 12:00-12:14 Sz-012 大陸成長過程における衝突イベントと地質境界の探査計画 -東南極リソスフェアの構造と進化研究(SEAL)- 金尾 政紀, SEAL計画シオトランセクトグループ	10:45-11:00 Eu-025 サブストーム強度とPi2脈動の特性の関係 山口 類, 河野 英昭, 大谷 晋一ほか 11:00-11:15 Eu-026 地上観測点とオーロラ・ブレイクアップ領域の相対位置とPi 2の偏波特性の関係 魚住 禎司, 湯元 清文, 210度地磁気観測グループ 11:15-11:30 Eu-027 サブストームカレントウォッジモデルによるPi2脈動の数値シミュレーション 藤田 茂, 糸長 雅弘, 吉川 顕正ほか 11:30-11:45 Eu-028 GEOTAIL衛星で観測された外部磁気圏でのPc5型磁気波動の性質 櫻井 亨, 利根川 豊, 新海 雄一ほか 11:45-12:00 Eu-029 太陽風動圧の準周期的変動に伴うグローバルPc5の特性 元場 哲郎, 菊池 崇, 湯元 清文 12:00-12:15 Eu-030 ssc時に於ける衛星-地上高緯度磁場変動特性の比較 北村 健太郎, 湯元 清文, 長妻 努ほか	10:45-11:00 Ev-006 SuperDARN観測とMHDシミュレーションにより得られたリバー対流セル発達時のIMF依存 橋本 久美子, 菊池 崇, 荻野 竜樹 11:00-11:15 Ev-007 極冠域ボローバッチの生成と運動 小川 忠彦 11:15-11:30 Ev-008 磁気嵐回復相時、IMF Bz>では、なぜ外帯電子は増加しないのか? 小原 隆博, 三好 由純 11:30-11:45 Ev-009 磁気嵐時における放射線帯内帯粒子のダイナミクス 森岡 博, 三好 由純, 小原 隆博 11:45-12:00 Ev-010 磁気嵐時の太陽風-磁気圏相互作用の効率 長妻 努 12:00-12:15 Ev-011 ニュールネットワーク法によって求めた太陽風に対するDst応答 渡辺 成昭	10:45-11:05 Ai-005 Plume/Winter scenario for the Permo-Triassic boundary biosphere crisis 嶋崎 行雄 11:05-11:25 Ai-006 白亜紀の温暖地球と海洋無酸素環境 平朝彦 11:25-11:45 Ai-007 最終氷期の気候システムの安定性:海面変動と放射線炭素のシグナルとして記録されたメカニズム 横山 祐典 11:45-12:00 Ai-008 将来の地球規模変動に対する生命圏の応答 栗根 剛 12:00-12:15 Ai-009 氷期-間氷期サイクルにおける10万年周期の起源 多田 隆治

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会 口頭発表プログラム

第 5 日 6 月 8 日 (金) 午後

会場	IC	C102	C309	C310	C311	C401	C402	C403
13:30	Af:(地球内部科学) 座長:川本竜彦	S5:(内陸想定地震の 強震動予測) 座長:笹谷秀・岩田知孝	Ag:(衝突イベント) 座長: Rampino, Michael・ Winiarski, Deborah	A6:(生命・水・鉱物 相互作用) 座長:掛川武・長沼毅 河野元治・益田晴恵	S6:(広帯域地震学) 座長:山中佳子・大海壽樹 久保規規	Ah:(地球惑星科学の 新概念) 座長:中村匡	K3:(マントルプロセス) 座長:高澤栄一・森下知晃	Aj:(スケールモデル 実験) 座長:小室裕明・小塚口剛博
	13:30-13:48 Af-026 熱力学データによる Mg4Si4O12-Mg3Al2Si3O12 系ガーネット-イルメンナイ ト-ペロブスカイト転移の 相平衡関係 赤荻正樹, 田中玲, 伊藤英司 13:48-14:06 Af-027 ガーネット-ペロブスカイト 相転移と660km不連続面 付近のダイナミクス 廣瀬敬 14:06-14:24 Af-028 高圧EXAFSによる金の 非調和有効2体間ポテン シャル 奥部真樹, 吉朝朗, 大高理ほか 14:24-15:00 総合討論	13:30-13:45 S5-011 断層の非一様すべり破壊 モデルから算定される短周 期レベルに基づく強震動予 測のための震源モデルと既 往の震源モデルとの比較 堀一男, 渡辺基史, 佐藤俊明ほか 13:45-14:00 S5-012 名古屋地域の強震動予測の 試み:協議会方式による設 計用地震動策定の現状 福和伸夫, 山岡耕春, 鈴木康弘ほか 14:00-14:15 S5-013 名古屋地域の強震動予測 の試み:想定地震の適定 宮腰淳一, 奥村俊彦, 福和伸夫 14:15-14:30 S5-014 名古屋地域の強震動予測 の試み:想定地震の断層 モデルの設定 石井透, 佐藤俊明, 堀一男ほか 14:30-14:45 S5-015 強震動予測のためのレシビ の有効性の検証 "特性化" 震源モデルから計算される 2000年鳥取県西部地震の 強震動と観測記録との比 較 古村美津子, 浜田和郎, 佐藤俊明ほか 14:45-15:00 S5-016 強震動予測技術が直面す る問題と現実的活用法 武村雅之	13:40-14:10 Ag-005 水中石灰岩からのレーザ 照射による炭素生成 Kedves, Miklos, 三浦保範 14:10-14:30 Ag-006 仁保隕石の球粒とメルト 破片の回収とその重要性 三浦保範, 植戸祐貴 14:40-15:00 Ag-007 End-Permian catastrophe by a bolide impact: evidence of a gigantic release of sulfur from the oceanic crust or mantle 海保邦夫, 中野孝教, 三浦保範ほか 14:10-14:30 A6-011 広瀬川河原の砂粒内部に 存在する細菌と鉱物結晶 服部黎子, 笠原康裕, 服部勉 14:30-14:50 A6-012 西表島の海岸堆積物中の 珪素の挙動 益田晴恵, 岡崎 蒼生里	13:30-13:50 A6-009 宮城県鳴子温泉の地下熱水 貯留層中での硫酸イオン硫 黄同位体ゾーニング:地下 微生物による硫酸還元の前 可能性 掛川武, 三上真 13:50-14:10 A6-010 中房温泉および中の湯温 泉パイオマットにおける 新規発見光合成細菌HL08 の存在形態の記載:野外 分光分析による記載 戸田勝巳, 高野雅夫, 川上紳一 14:10-14:30 A6-011 広瀬川河原の砂粒内部に 存在する細菌と鉱物結晶 服部黎子, 笠原康裕, 服部勉 14:30-14:50 A6-012 西表島の海岸堆積物中の 珪素の挙動 益田晴恵, 岡崎 蒼生里	13:30-13:45 S6-011 レーザ開数解析による 東北日本弧の地殻・最 上部マントル速度構造 宗田 靖恵, 松澤 暢, 長谷川 昭 13:45-14:00 S6-012 東太平洋における群速度 の方位異方性とレイリー 波・ラブ波カップリング: 海洋上部マントルの大規 模異方性の証拠 吉光 淳子, 川崎 一朗 14:00-14:15 S6-013 広帯域波形データを用い たグローバルスケール地球 内部3次元構造推定の現状 原辰彦 14:15-14:30 S6-014 波形インバージョンによ る示唆されるマントル不 均質構造のスケトル 竹内希, 小林 稔 14:30-14:40 ポスター 概要説明 (P01-P02)	13:30-14:15 Ah-005 プラズマ物理におけるトポ ロジの問題 吉田 善章 14:15-15:00 Ah-006 水面の波に見られるさま ざまな非線形現象 田中光宏	13:30-13:45 K3-001 マントル物質からマント ルプロセスを読むー2002 年日本開催第4回国際レル ゾライト会議に向けて 小畑 正明, 荒井 章司, 新井田 清信ほか 13:45-14:00 K3-002 幔溝カンラン岩体のコラ ンダムを含む塩基性岩の 成因ー地球化学的改変を 受けていないリサイクリ ング物質の物証ー 荒井 章司, Green, David H. 14:00-14:15 K3-003 幔溝かんらん岩のマグマ チャネルシステム:スピ ネルからの検証 新井田 清信 14:15-14:30 K3-004 幔溝カンラン岩体の上 昇・定置モデル 澤口 隆 14:30-14:45 K3-005 幔溝岩体 - ニカンベツ岩 体の起源マントルの復元 高橋 奈津子 14:45-15:00 ポスター 概要発表	13:30-13:35 主旨説明 13:35-13:50 Aj-001 上昇するストークス球の 周囲の3次元変形に關す るアナログ実験 安間了 13:50-14:05 Aj-002 気泡を含む粘弾性流体の 破碎実験: マグマ破碎過 程のモデル化に向けて 市原 美恵, Sturtevant, Bradford, Rittel, Daniel 14:05-14:20 Aj-003 ゼラチン中の液体で満た されたクラックの挙動ー 利点と欠点の評価ー 高田 亮 14:20-14:35 Aj-004 潜在円頂丘形成に伴なう 断層系のアナログ実験 小室 裕明 14:35-14:50 Aj-005 スケールモデル実験によ る三次元インバージョン 構造の形成過程の検討 山田 泰広 14:50-14:54 ポスター紹介
15:15	S5:(内陸想定地震の 強震動予測) 座長:笹谷秀・岩田知孝	Ag:(衝突イベント) 座長: Rampino, Michael	A6:(生命・水・鉱物 相互作用) 座長:河野元治・益田晴恵	A6-013 Serpentinites as a capsule of deep biosphere and proposal of Serpentine biosphere 藤岡 換太郎, 福垣 栄生, 高井 研ほか 15:35-15:55 A6-014 火砕堆積物中でのパイ オミネラリゼーション 河野 元治, 富田 克利 15:55-16:15 A6-015 西オーストラリア・ジェ ライナ層 (27億年) スト ロマトライトの起源 南里 英幸, 掛川 武 16:15-16:35 A6-016 Ferrihydrite 過飽和溶液に おける鉄沈殿速度促進への 微生物の影響 空間 文史, 村上 隆	15:15-15:30 K3-006 ハワイオアフ島ガーネット パイロクシナイトの起源 ーハワイホットブルーム の活動を探るー 市坪 七美, 高橋 栄一 15:30-15:45 K3-007 ソロモン諸島, マライタ 島に産するガ・ネット・ パイロキシナイト捕獲岩 の成因 石川 晃, 丸山 茂徳, 小宮 剛 15:45-16:00 K3-008 マントル捕獲岩に包有さ れた液体二酸化炭素の振 動に残された深さの記憶 山本 順司, 兼岡 一郎, 鍵 裕之ほか 16:00-16:15 K3-009 海洋プレート断片に残さ れたマントル最上部カン ラン岩の結晶構造とその 改変過程 道林 克禎 16:15-16:30 K3-010 幔溝かんらん岩体の層状 構造と微量元素存在度の 対応:ハルツバーチャイト とレルゾライトの岩相境 界における高不適合元素 の濃集 高澤 栄一, 小畑 正明 16:30-16:45 K3-011 開放的マグマ系における エネルギー保存則:1次元 定常融解モデルへの適用 小澤 一仁			

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。

会場	C405	C409	C416	C417	C501	C510	C513
	<p>K1:(オフィオライトと海洋地殻) 座長:石川剛志</p>	<p>P4:(惑星表層の科学) 座長:高田源子</p>	<p>V0:(三宅島噴火) 座長:渡辺秀文・大場武高木朗充</p>	<p>Sz:(地殻構造) 座長:森谷武男</p>	<p>Eu:(磁気圏電離圏結合) 座長:吉川顕正・熊本篤志</p>	<p>Ev:(宇宙天気) 座長:島津浩哲・石井守</p>	<p>Ak:(振動・波動・周期的現象) 座長:伊賀啓大</p>
13:30	<p>13:30-13:45 K1-011 オマーンオフィオライトにおける海嶺火成活動史-フィズ地域の例 宮下 純夫, 足立 佳子, 岡沢 志樹</p> <p>13:45-14:00 K1-012 オマーンオフィオライト北部ワジ・スクバアイズ地域における斑れい岩の变成岩脈群(複輝石グラニュライト)の意義 足立 佳子, 宮下 純夫</p> <p>14:00-14:15 K1-013 オマーンオフィオライトサラヒ火山岩類の大規模シート溶岩流の形成過程 海野 進, 高橋 洋二郎, 千野 裕之</p> <p>14:15-14:30 K1-014 結晶化, 再溶融, 圧密-オマーンオフィオライトのマグマ溜まり天井部の火成作用- 堀田 史子, 海野 進</p> <p>14:30-14:45 K1-015 オマーン・オフィオライトAtley volcanicsの地球化学的特徴 永石 一弥, 石川 剛志, 海野 進</p> <p>14:45-15:00 K1-016 オマーン, ワジタイン地域のメタチャートの構造解析 増田 俊明, 小野寺 久美子, 青島 逸子ほか</p>	<p>13:30-13:55 P4-008 エウロパの表層地形 荒川 政彦</p> <p>13:55-14:20 P4-009 BepiColombo MMOによる水星表層観測計画 本田 理恵, 安部 正真, 岡田 達明ほか</p> <p>14:20-14:45 P4-010 火星探査用の精密地図について Oberst, Juergen</p> <p>14:45-14:50 ポスター 概要発表(P4-P001)</p> <p>14:50-15:00 まとめ</p>	<p>13:30-13:45 V0-025 三宅島2000年山頂噴火に伴う自然電位変化について 上嶋 誠, 笹井 洋一, 三宅島火山観測班(熱・電磁気グループ)</p> <p>13:45-14:00 V0-026 三宅島火山のカルデラ陥没過程と噴火のメカニズム 渡辺 秀文</p> <p>14:00-14:15 V0-027 三宅島におけるASTERによるSO2放出量の観測 浦井 稔</p> <p>14:15-14:30 V0-028 三宅島火山ガスの動態と危険性評価 木下 紀正</p> <p>14:30-14:45 V0-029 三宅島火山噴煙中の火山ガス化学組成の遠隔測定 森 俊哉, 角野 浩史, 野津 憲治</p> <p>14:45-15:00 V0-030 三宅島火山2000年噴火で大気中に拡散した硫黄成分の濃度と同位体比 大場 武, 平林 順一, 野上 健治</p>	<p>13:30-13:44 Sz-013 広帯域MT法による北海道日高山脈周辺地域における比抵抗構造探査(序報) 佐藤 秀幸, 2000年日高電磁気共同観測データ解析ワーキンググループ</p> <p>13:45-13:59 Sz-014 北海道日高衝突帯横断屈折法・広角反射法地殻構造探査 岩崎 貴哉, 足立 啓二, 森谷 武男ほか</p> <p>14:00-14:14 Sz-015 馬追丘陵における反射法地震探査; 日高衝突帯系前縁の地質構造 加藤 直子, 佐藤 比呂志, 松多 信尚ほか</p> <p>14:15-14:29 Sz-016 北海道日高衝突帯における地殻短縮総量 伊藤 谷生, 香東 卓郎, 鈴木 和子ほか</p> <p>14:30-14:44 Sz-017 北海道南方沖における大規模海底地震観測から得られた地震活動と3次元P波速度構造 村井 芳夫, 秋山 諭, 高波 貴夫ほか</p> <p>14:45-14:59 Sz-018 北海道日高衝突帯大学合同地震観測で見えてきた太平洋スラブ内フラクチャーゾーン 勝俣 啓, 和田 直人, 笠原 啓</p>	<p>13:30-13:45 Eu-031 Plasmapause detection by analysis of high-latitude Pc 4-5 spectral patterns obtained at the CPMN stations 阿部 修司, 湯元 清文, 河野 英昭ほか</p> <p>13:45-14:00 Eu-032 Investigation of field-line resonance structure by using the dual station H ratio and the phase gradient techniques at L 1.3 高崎 聡子, 河野 英昭, 吉川 顕正ほか</p> <p>14:00-14:15 Eu-033 A Study of the Characteristics of ULF Waves Observed at the Geomagnetic Conjugate Stations 尾花 由紀, 吉川 顕正, 湯元 清文ほか</p> <p>14:15-14:30 Eu-034 Solar Cycle Dependence of Auroral Kilometric Radiation 熊本 篤志, 小野 高幸, 大家 寛</p> <p>14:30-14:45 Eu-035 オーロラキロメートル電波の伝搬モード毎の伝搬特性と電波源分布 細谷 亮, 小野 高幸, 熊本 篤志</p> <p>14:45-15:00 Eu-036 あけぼの衛星で観測された強い地球ヘクトメートル電波の起源 飯島 雅英, 大家 寛</p>	<p>13:30-13:45 Ev-012 太陽風磁気ロープの宇宙天気における役割 丸橋 克英</p> <p>13:45-14:00 Ev-013 惑星間空間シンチレーション観測による宇宙天気の研究 徳丸 宗利, 小島 正宜, 藤本 謙一ほか</p> <p>14:00-14:15 Ev-014 バスターニョ・ストーム時のGeotail観測 寺沢 敏夫</p> <p>14:15-14:30 Ev-015 2000年7月14日に発生したXクラスフレアのX線観測 増田 智</p> <p>14:30-14:45 Ev-016 フィラメント消失現象におけるコロナ活動、太陽風の反応について 森本 太郎</p> <p>14:45-15:00 Ev-017 第23期太陽活動上昇期におけるMagnetic Cloudの特徴 竹内 智彦, 荒木 徹, 丸橋 克英</p>	<p>13:30-14:00 Ak-001 成層回転乱流における拡散問題 木村 芳文</p> <p>14:00-14:20 Ak-002 回転球面上の円領域における2次元流体運動 谷口 由紀, 山田 道夫, 石岡 圭一</p> <p>14:20-14:40 Ak-003 局所的な熱源に対する大気の応答とその中緯度への影響 櫻本 剛, 松田 佳久, Hoskins, Brian J.</p> <p>14:40-15:00 Ak-004 大気と固体地球の音響共鳴 西田 賢一, 深尾 良夫, 小林 直樹</p>
15:15			<p>V0:(三宅島噴火) 座長:渡辺秀文・大場武高木朗充</p>		<p>Eu:(磁気圏電離圏結合) 座長:吉川顕正・熊本篤志</p>	<p>Ev:(宇宙天気) 座長:石井守・島津浩哲</p>	<p>Ak:(振動・波動・周期的現象) 座長:柳澤孝寿</p>
			<p>15:15-15:30 V0-031 三宅島火山2000年噴火における噴出物の硫黄同位体比の変動 今井 亮, 下司 信夫, 嶋野 岳人ほか</p> <p>15:30-15:45 V0-032 三宅島の最近の地震活動 高木 朗充, 山星 平</p> <p>15:45-16:00 V0-033 2000年9月以降の三宅島の収縮とガス放出との関係 村上 亮, 西村 卓也, 小沢 慎三郎</p> <p>16:00-16:15 V0-034 GPS測量でとらえた2000年8月以降の三宅島における地殻変動 三宅島火山総合観測班(GPS観測グループ)</p> <p>16:15-16:30 V0-035 地磁気変化から推定される三宅島2000年火山活動のエネルギー 鍵山 恒臣, 笹井 洋一, 歌田 久司ほか</p> <p>16:30-16:45 V0-036 ピストンモデルに基づく三宅島噴火における脱ガス量の見積もり 大湊 隆雄, 渡辺 秀文</p>		<p>15:15-15:30 Eu-037 エールステッド衛星磁場観測データに見られる南北両半球を結ぶ中低緯度沿磁力線電流の経度依存性 山下 哲, 家森 俊彦, 竹田 雅彦</p> <p>15:30-15:45 Eu-038 夜側中緯度地上磁場東西変動の経度依存性 中野 慎也, 家森 俊彦</p> <p>15:45-16:00 Eu-039 HF赤道横断電波による赤道電離圏不安定の研究 丸山 隆, 野崎 憲朗, 五十嵐 喜良</p> <p>16:00-16:15 Eu-040 磁気圏尾部・電離層間の電場マッピングに関する問題 松岡 彩子, 早川 基, 鶴田 浩一郎</p> <p>16:15-16:30 Eu-041 オーロラ粒子加速領域の高度分布構造と沿磁力線電流電圧関係 諸岡 倫子, 向井 利典, 町田 忍ほか</p> <p>16:30-16:45 Eu-042 有限の電流キャリアをもつミラー磁場における沿磁力線電位差の生成 堀川 和夫</p>	<p>15:15-15:45 Ev-018 三双極子モデル: Solar PhysicsからSTE Physicsへ 斎藤 尚生</p> <p>15:30-15:45 Ev-019 EISCATレーダーを用いた下部熱圏風の太陽活動度依存性 野澤 悟徳, 藤井 良一, Brekke, Asgeir</p> <p>15:45-16:00 Ev-020 HF赤道横断電波による赤道電離圏不安定の研究 丸山 隆, 野崎 憲朗, 五十嵐 喜良</p> <p>16:00-16:15 Ev-021 EISCATレーダー同時観測から得られる高温極冠帯と低温極光帯の描像 前田 佐和子</p> <p>16:15-16:30 Ev-022 熱圏変動のモデリングと大気変動が低軌道衛星へ与える影響 藤原 均</p>	<p>15:15-15:45 Ak-005 原始惑星系円盤におけるMHD乱流による角運動量輸送過程について 犬塚 修一郎, 佐野 孝好</p> <p>15:45-16:05 Ak-006 地球流体核内の小スケール流の構造 清水 久芳</p> <p>16:05-16:35 Ak-007 火山の振動に見られる気泡の影響 市原 美恵</p>

注)発表者が著者に含まれていない場合は、筆頭著者として扱っています。投稿者が著者に含まれていない場合は、代理投稿とみなし著者に含まれていません。 演題番号に 印の付いている演題は、招待講演です。